SONY

VGC-RMシリーズ

SONY

パーソナルコンピューター

VGC-RMシリーズ
取扱説明書

VAIO

マニュアルの活用法

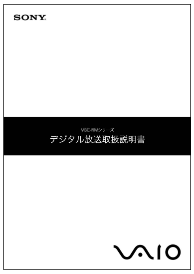
本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、イラストを見ながら知ることができます。

デジタル放送取扱説明書



（デジタルテレビチューナー搭載モデルのみ）

デジタル放送のセットアップや基本的な視聴方法を解説しています。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

見るには

［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書（本書）よりもすばやく目的の操作を探せます。

VAIOナビ

見るには

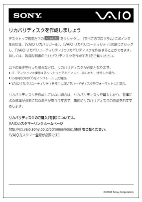
［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］→［VAIOナビ］をクリックする。

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

重要なお知らせ

見るには

［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］→［重要なお知らせ］をクリックする。



バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

ヘルプ

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

SONY

パーソナルコンピューター

VGC-RMシリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル
Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

本機をセットアップする

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

インターネット

増設／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／主な仕様／注意事項

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

i.LINK S400

MEMORY STICK ™

はじめにお読みください

本機の仕様については、「主な仕様」（188ページ）をご確認ください。

ソニースタイルでご購入の場合は、お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されていますので、そちらもあわせてご確認ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。特に記載のない場合、本体のイラストはVGC-RM50を使用しています。

VGC-RM90PS・RM90S・RM90CPSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  本書では、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。たとえば「アナログテレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、アナログテレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  本書では、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。たとえば「ジョグコントローラー付属モデル」と書かれているときは、ジョグコントローラーが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **メモリースティックスロット**
  “メモリースティック”を挿入するスロットのことです。マジックゲート対応モデルについては、MEMORY STICK（マジックゲート対応メモリースティック）スロットのことを指します。
- **ダブル録画対応モデル**
  アナログテレビチューナーが2つ搭載されているモデルのことです。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」（190ページ）をご覧ください。

目次

マニュアルの活用法 …… 2
はじめにお読みください …… 4
安全規制について …… 8
安全のために …… 10

本機をセットアップする

VAIOを使うための8つの準備 …… 14

準備1 付属品を確かめる …… 16

準備2 設置する …… 18

- 設置場所 …… 18
- 設置方法 …… 19
- 設置に適さない場所 …… 20
- 設置時のご注意 …… 20

準備3 接続する …… 21

- ディスプレイを接続する …… 21
- アクティブスピーカーを接続する …… 23
- キーボードとマウスを接続する …… 24
- インターネット接続用機器／一般電話回線に接続する …… 26
- リモコン用受光ユニットを接続する（テレビチューナー搭載モデル） …… 28
- リモコンを準備する（テレビチューナー搭載モデル） …… 29
- アンテナにつなぐ（テレビチューナー搭載モデル） …… 30
- B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れる（デジタルテレビチューナー搭載モデル） …… 32
- ビデオデッキやCS・BSチューナーを接続する（アナログテレビチューナー搭載モデル） …… 33
- テレビを接続する …… 35
- ジョグコントローラーを接続する（ジョグコントローラー付属モデル） …… 35
- メインユニットとアクセスユニットを接続する …… 36
- 電源コードを接続する …… 37

準備4 電源を入れる …… 38

- 電源を切るには …… 39
- 省電力機能について …… 41

準備5 Windowsを準備する …… 42

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアについて …… 48

準備6 カスタマー登録する …… 51

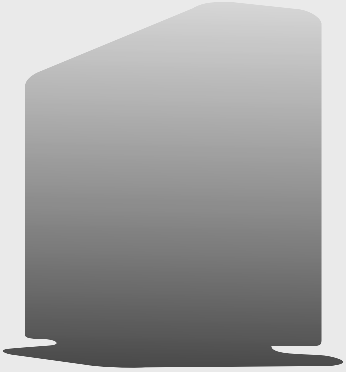
- VAIOカスタマー登録について …… 51
- VAIOカスタマー登録の方法 …… 52

準備7 基本設定を行う …… 53

- Do VAIOの設定をする …… 53

準備8 バイオをはじめる前の準備を行う …… 57

画面で見るマニュアル（バイオ電子マニュアル） …… 58



テレビ／ミュージック／フォト／DVD

テレビ・ビデオ（アナログテレビチューナー搭載モデル） …… 59
テレビ番組を見る …… 59
録画予約する …… 60
録画したテレビ番組を見る …… 62
ミュージック …… 64
音楽を取り込む …… 64
音楽を聞く …… 65
音楽CDを作る …… 66
フォト …… 68
写真を取り込む …… 68
写真を見る …… 70
フォトアルバムを作る …… 71
DVD …… 73
DVDを見る …… 73
録画したテレビ番組をDVDにする（アナログテレビチューナー搭載モデル） …… 74
撮影した素材からDVDを作る …… 77

インターネット

インターネットを始める …… 79
インターネットとは …… 79
インターネット接続サービスの種類 …… 79
プロバイダと契約する …… 80
インターネットに接続できないときは… …… 81
セキュリティについて …… 82
コンピュータウイルスについて …… 82
ファイアウォール機能について …… 83
詐欺について …… 83
個人情報の管理について …… 83
その他セキュリティについて …… 83

増設／リカバリ

増設する …… 84
拡張ボードを増設する …… 84
メモリを増設する …… 86
ハードディスクを増設する …… 91
IDEデバイスを増設する …… 96
リカバリする …… 99
リカバリについて …… 99
リカバリディスクを作成する …… 104
リカバリする …… 106
パーティションサイズを変更する …… 111
RAID構成を変更してリカバリする …… 113

困ったときは／サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの? 118
よくあるトラブルと解決方法 120
Q&A一覧 120
その他のQ&A 122
電源／起動 123
パスワード 126
画面／ディスプレイ 127
文字入力／キーボード 128
マウス 129
ハードディスク 129
CD ／ DVDドライブ 130
テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル） 131
外部機器からの録画 135
FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター） 136
エラーメッセージ 137
VAIOの最新情報を自動的に入手する 139
バイオ内の情報を調べる 141
VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する 144
電話で問い合わせる 157
メールで問い合わせる 160
修理を依頼されるときは 161
その他のサービスとサポート 164
保証書とアフターサービス 167
付属ソフトウェアのお問い合わせ先 168

各部名称／主な仕様／注意事項

各部の説明 174
前面 174
後面 177
キーボードの各部名称 181
マウスの各部名称 183
スピーカーの各部名称 184
リモコンの各部名称（テレビチューナー搭載モデル） 184
ジョグコントローラーの各部名称
（ジョグコントローラー付属モデル） 187
主な仕様 188
本機に付属されているソフトウェア 190
注意事項 192
使用上のご注意 192
お手入れ 195
廃棄時などのデータ消去について 196
使用できるディスクとご注意 197

索引 200
ソニーが提供する情報一覧 206

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCV-A71N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

漏洩電流について（付属のアクティブスピーカー用ACアダプタ）

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

付属のマウスについて

付属のマウスは、レーザーに関する安全基準（JIS・C6802）クラス1適合品です。
マウス底面に下記適合ラベルを表示しています。

クラス1レーザー製品

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について

キーボードに内蔵されているFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
使用周波数は、13.56 MHz帯です。
キーボードに内蔵されているFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）を分解、改造したり、型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。周囲で複数のリーダー /ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

マクロビジョンについて

本機は、米国特許およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。
NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GT グラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合、HDCP規格に対応したディスプレイはDVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタへ接続してください。本機DVI-I（ディーブイアイ アイ）コネクタは、HDCP規格に対応しておりません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。

詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター

電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100

受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ご注意／その他]→「その他」の[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログテレビ放送から、デジタルテレビ放送への移行について（アナログテレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータ消去破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修または補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水ぬれ禁止

ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号

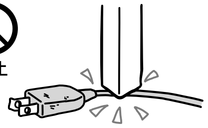
指示　アース線を接続せよ　プラグをコンセントから抜く

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。
- 各種の拡張ボード（基板）を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコード、電源プラグ、ネットワーク（LAN）ケーブル、アンテナケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

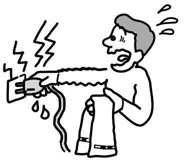
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

レーザーマウス底面のレンズ部を直接見ない(レーザー光は目には見えません)

注意

マウス底面から発せられるレーザー光により、目を傷める可能性がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

注意

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を接続せよ

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

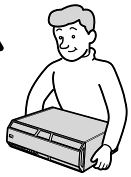
安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意



コンピュータを運搬するときは、側面下部に左右から手を入れて持ち、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重い物を乗せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

注意

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

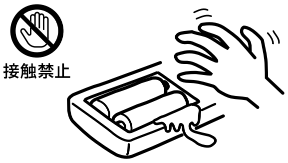
電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

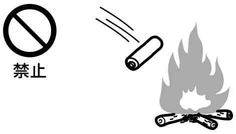
必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

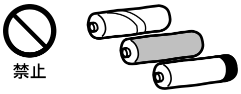
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない



破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

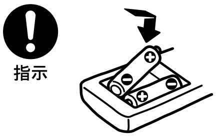
⚠注意

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



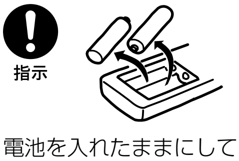
使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる



＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

16ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

18ページ

準備3 接続する

▶ マウスやキーボード、ネットワークケーブル、電源コードなどの接続
▶ 外部機器の接続

21ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

38ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定
42ページ

準備6
カスタマー登録する
▶ ユーザー情報の登録
51ページ

準備7
基本設定を行う
▶ Do VAIOの設定
▶ チャンネルの設定
53ページ

準備8
バイオをはじめる前の準備を行う
57ページ

付属品を確かめる

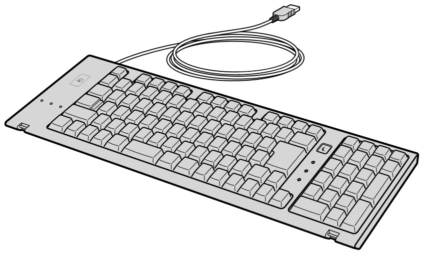
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VGC-RM90PS・RM90S・RM90CPSをご購入のお客様へ

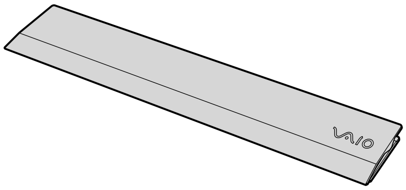
お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ **コンピュータ本体**

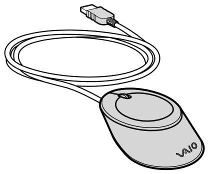
❑ **キーボード**



❑ **パームレスト**



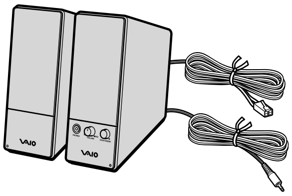
❑ **マウス**



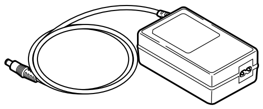
❑ **ディスプレイおよびその付属品**

お買い求めの機種によって、付属しているディスプレイが異なります。また、ディスプレイが付属していない機種もあります。
ディスプレイによっては別売りのディスプレイケーブルが必要になることがあります。
ディスプレイについて詳しくは、別冊のディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

❑ **アクティブスピーカー**

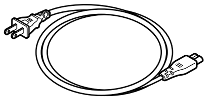


❑ **アクティブスピーカー用ACアダプタ**



電気的定格
INPUT：AC100-240V 50/60Hz 1.0A
OUTPUT：DC12V 1.6A

❑ **アクティブスピーカー用電源コード**



アクティブスピーカーとアクティブスピーカー用ACアダプタおよび電源コードは、同じ箱に入っています。

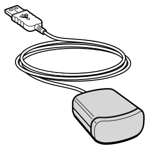
!ご注意

この電源コードは、AC100V用です。

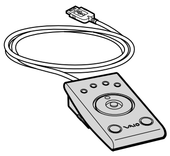
❑ **リモコン**
（テレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ **単3形乾電池（2）**
（テレビチューナー搭載モデルに付属）

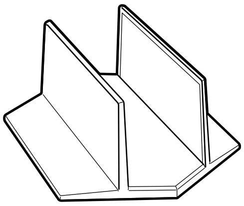
❑ **リモコン用受光ユニット**
（テレビチューナー搭載モデルに付属）



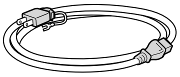
❑ **ジョグコントローラー**
（ジョグコントローラー付属モデルに付属）



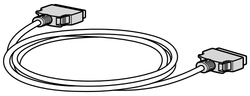
❑ スタンド



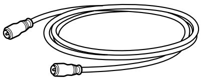
❑ 電源コード



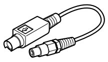
❑ メインユニット-アクセスユニット接続ケーブル



❑ アンテナ接続ケーブル
（デジタルテレビチューナー用1本、アナログテレビチューナー用1本）



❑ ビデオ接続用変換ケーブル



説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ デジタル放送取扱説明書
（デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ B-CASカード
（デジタルテレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ セットアップガイド

❑ 保証書

❑ VAIOカルテ

❑ シール
（設置用足を取りはずしたあとのネジ穴をふさぐ場合に使用します）

❑ ご注意・お知らせ
本機に関する大切な情報を、記載した紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ その他のパンフレット類
大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ 「Microsoft® Office Personal Edition 2003*」プレインストールパッケージCD-ROMまたは「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003*」プレインストールパッケージ CD-ROM
（「Microsoft Office」ソフトウェアプリインストールモデルに付属）
お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（171ページ）をご覧ください。
* この説明書では以降、「Microsoft Office」または「Office Personal 2003」または「Office Professional Enterprise 2003」と略します。
特に必要な場合は正式名称を記載します。

❑ VAIOでビデオ編集を始めよう CD-ROM

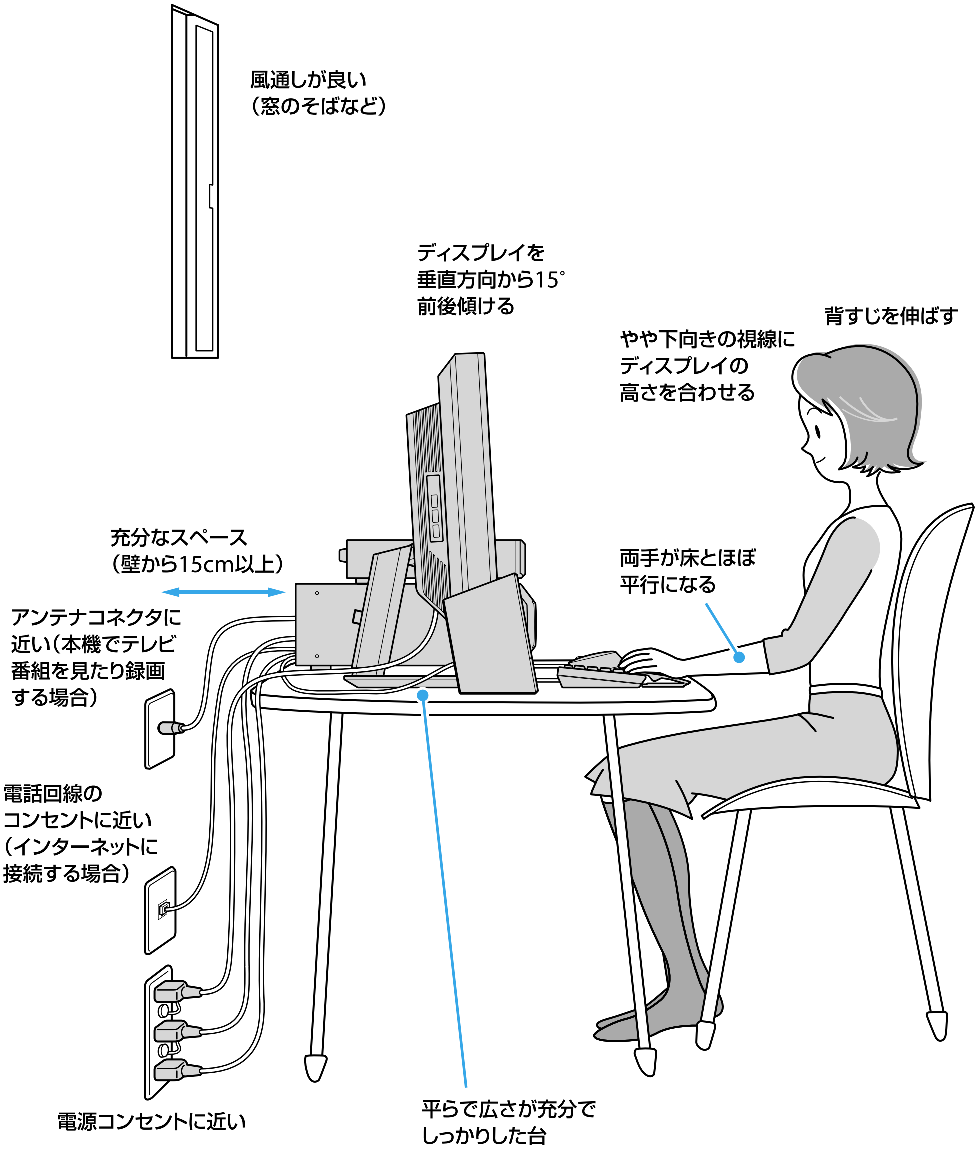
ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（168ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリについて」（99ページ）をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



!ご注意

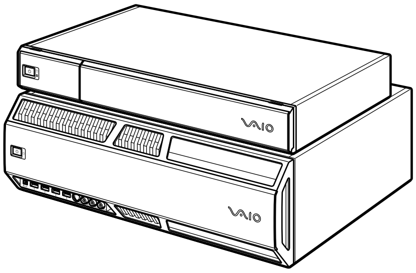
- 必ず壁から15cm以上離して設置してください。
- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。通風孔からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- レーザーマウスは、透明な素材、光を反射する素材、網点模様・縞模様や柄のもの、光沢があるマウスパッドや机の上では正しく動作しない場合があります。
- 通風孔には物を置いたり、ふさいだりしないでください。
- 本機後面の一部が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

設置方法

メインユニットとアクセスユニットは通常の横置き以外にも、縦置きにして設置することもできます。

横置きにする

メインユニットとアクセスユニットは重ねて設置することができます。



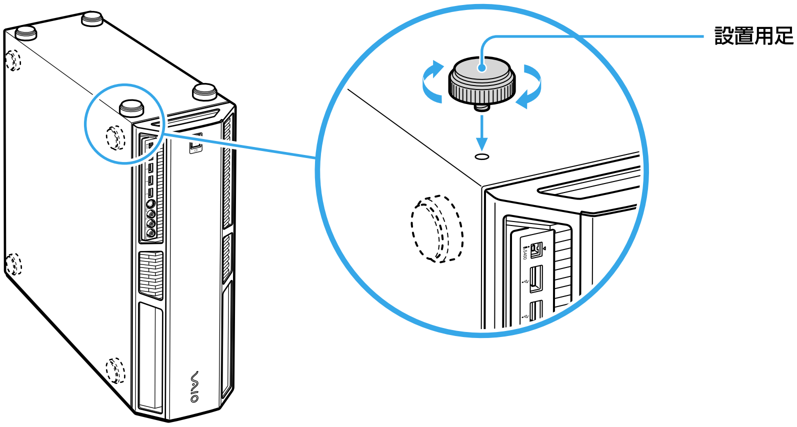
!ご注意

アクセスユニットを下にしないでください。

縦置きにする

メインユニット

メインユニットを縦置きにする場合は、底面に取り付けられている4か所の設置用足を取りはずし、左側面に取り付けます。

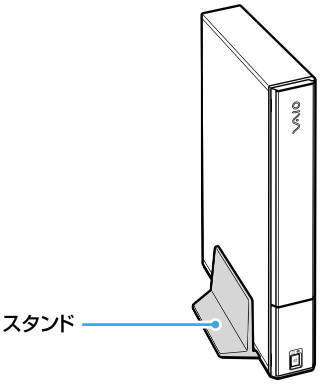


ヒント

設置用足を取りはずしたあとのネジ穴をふさぐ場合は、同梱のシールをご使用ください。

アクセスユニット

アクセスユニットを縦置きにする場合は、付属のスタンドを取り付けてください。



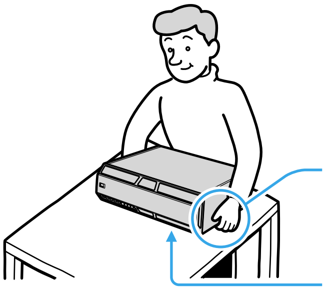
設置に適さない場所

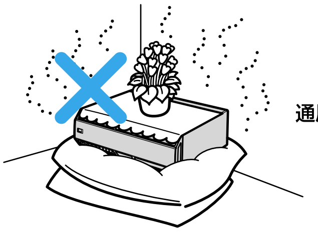
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置時のご注意

次のことをお守りください。





！ご注意

前面パネル部分を持って運ぶのは危険なのでおやめください。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。
- 通風孔に物を置かない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（10ページ）。

接続する

ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、リモコン用受光ユニット(テレビチューナー搭載モデル)、アンテナ(テレビチューナー搭載モデル)、AV機器(テレビチューナー搭載モデル)、ジョグコントローラー(ジョグコントローラー付属モデル)、電源コードを接続し、リモコン(テレビチューナー搭載モデル)を使えるように準備します。

ヒント

特に記載のない場合、ディスプレイのイラストはSDM-P246Wです。

ディスプレイを接続する

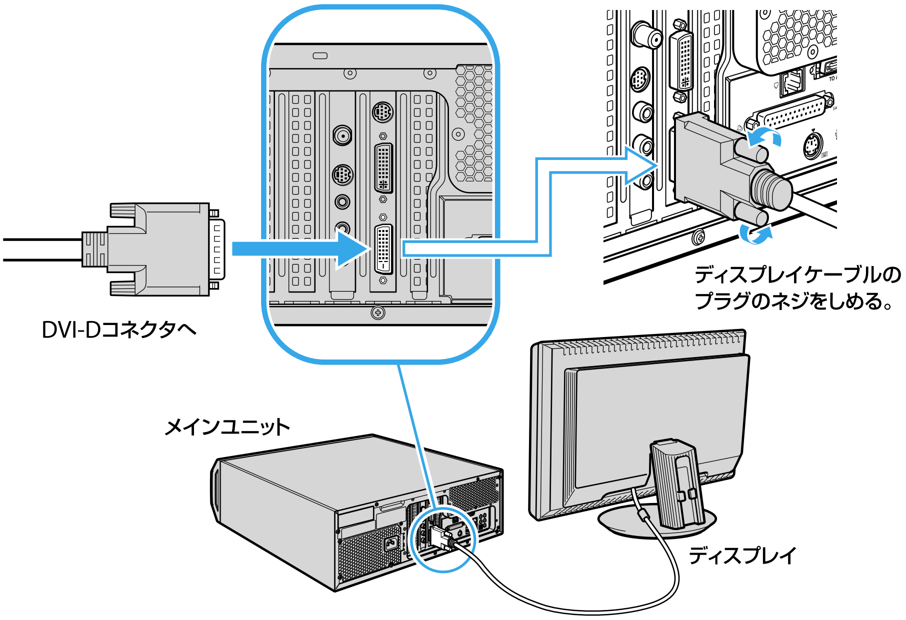
!ご注意

本機のディスプレイ接続用コネクタには、モニタコネクタとDVI-D(ディーブイアイ ディー)コネクタ、DVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタの3種類があります(実際に搭載されているコネクタは機種により異なります(177ページ))。接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

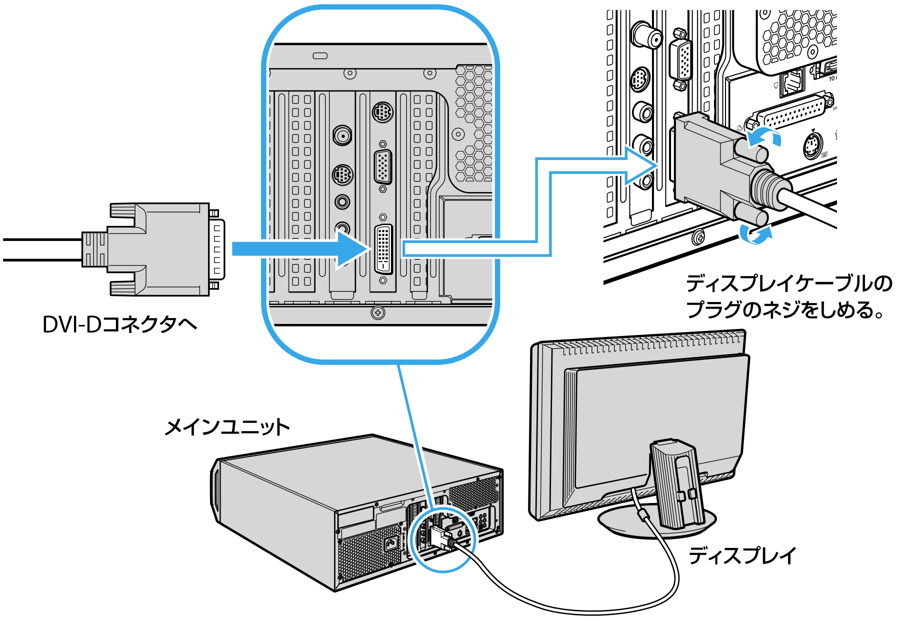
DVI(ディーブイアイ)ディスプレイを接続する場合

付属ディスプレイSDM-P246WのDVI-D(ディーブイアイ ディー)入力コネクタを、メインユニット後面のDVI-D(ディーブイアイ ディー)コネクタまたはDVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタに差し込んでください。

NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GTグラフィックアクセラレータモデル



NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GSグラフィックアクセラレータモデル



！ご注意

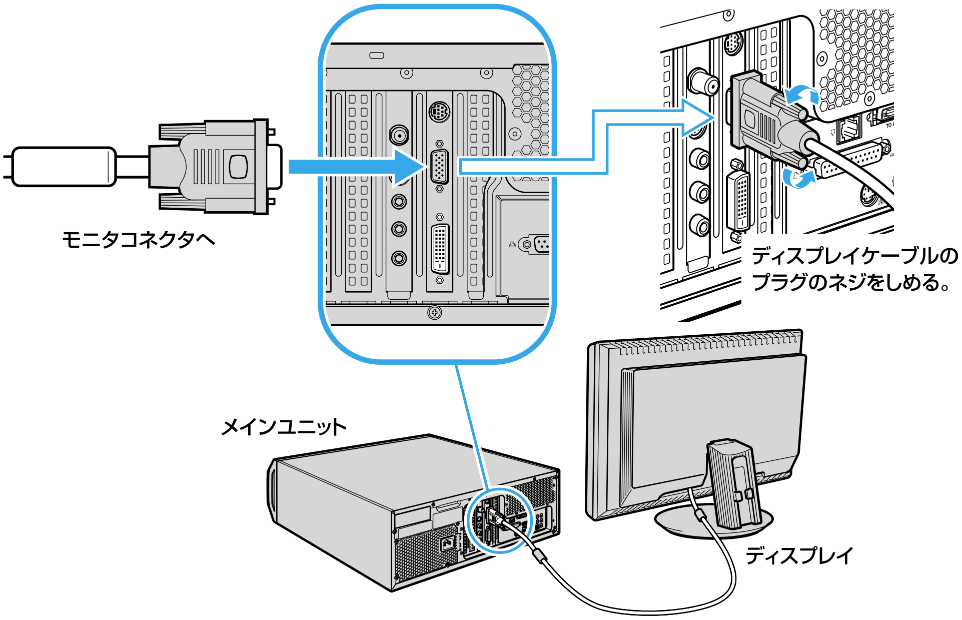
- 本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しています。HDCP規格対応が再生または出力の要件になっているコンテンツを利用される場合は、HDCP規格対応のディスプレイとあわせてご利用ください（8ページ）。
- NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GTグラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合、HDCP規格に対応したディスプレイはDVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタへ接続してください。DVI-I（ディーブイアイ アイ）コネクタは、HDCP規格に対応しておりません。

アナログディスプレイを接続する場合

！ご注意

NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GTグラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合は、DVI-I-RGB変換アダプタ（別売り）を取り付けると、DVI-Iコネクタにアナログディスプレイを接続することができます。

NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GSグラフィックアクセラレータモデル



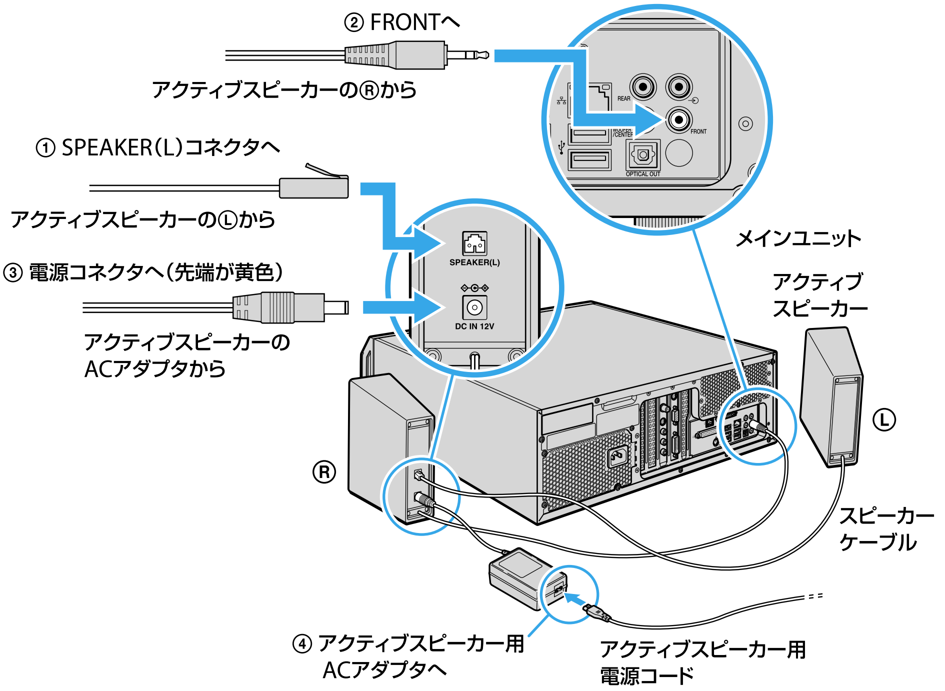
アクティブスピーカーを接続する

ヒント

別売りの5.1chスピーカーなどを接続する方法については、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

Ⓛ：本機の左側に設置します。
Ⓡ：本機の右側に設置します。

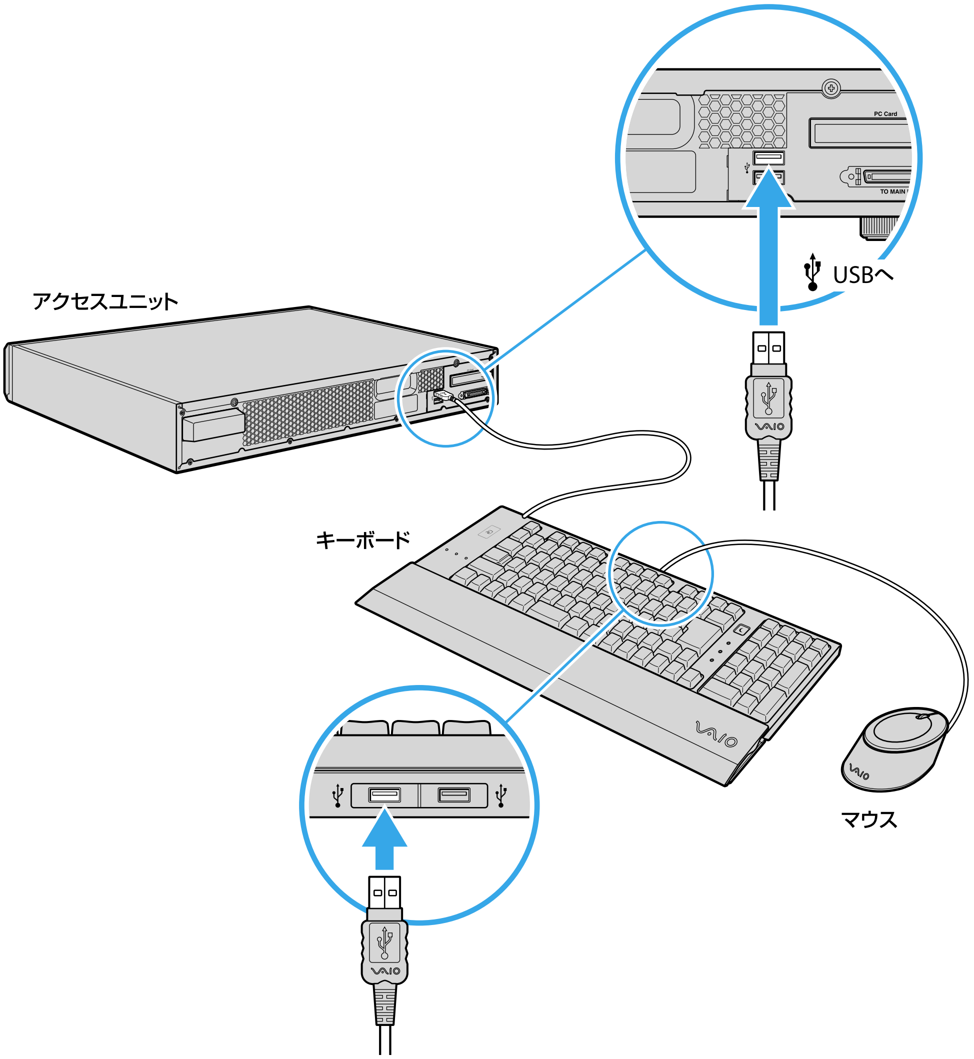
① 左側Ⓛのアクティブスピーカーのケーブルのプラグを右側Ⓡのアクティブスピーカーの SPEAKER(L)コネクタへ接続します。
② 右側Ⓡのアクティブスピーカーのケーブルのプラグ(緑色)をメインユニット後面のFRONT(フロント)コネクタへ接続します。
③ アクティブスピーカーのACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに接続する。
④ アクティブスピーカーのACアダプタにアクティブスピーカー付属の電源コードのプラグを差し込む。



ご注意

- アクティブスピーカーには、付属のACアダプタ以外は接続しないでください。
- ACアダプタと電源コードはアクティブスピーカーの箱に入っています。

キーボードとマウスを接続する

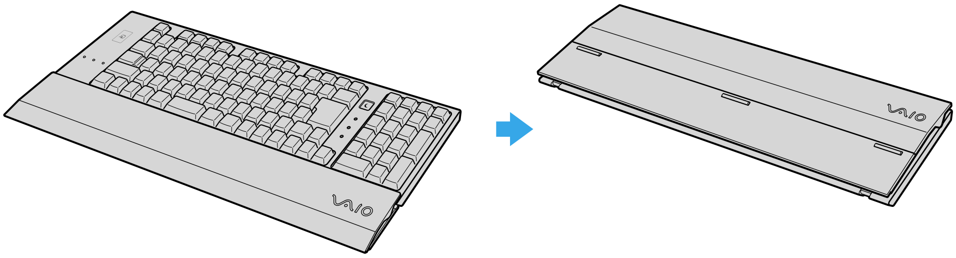


！ご注意

キーボード背面のUSBコネクタは、USB2.0規格のHigh-speedに対応していません。USB2.0規格のHigh-speed機器を使用する場合は、本体側のUSBコネクタに接続してください。

キーボードのパームレストについて

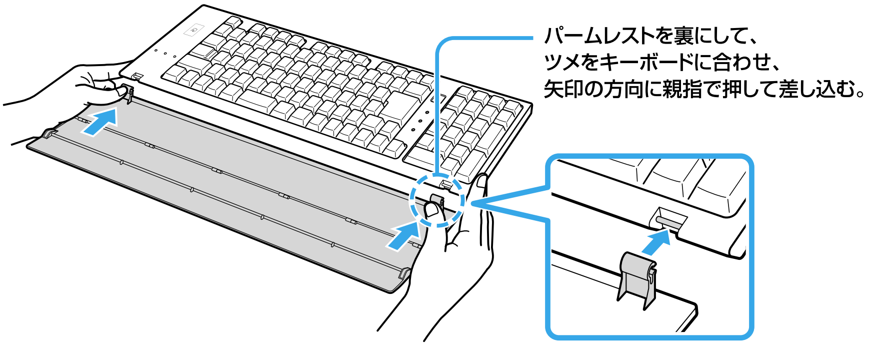
パームレストを手前に折りたたむと、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。
パームレストは、キーボードを使わないときにキーボードの上にかぶせると、ふたとして使うことができます。



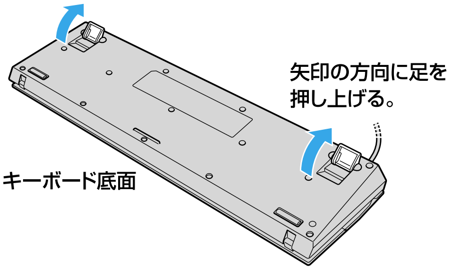
！ご注意

- 持ち運ぶときは、パームレストを持たずにキーボード本体を持ってください。
- パームレストを無理に逆側に回転させないでください。
- 机の上で使用する際は、平らなところで、パームレストがはみ出ないように設置してください。

キーボードにパームレストを取り付けるには



キーボードの足を立てるには



ヒント

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

インターネット接続用機器／一般電話回線に接続する

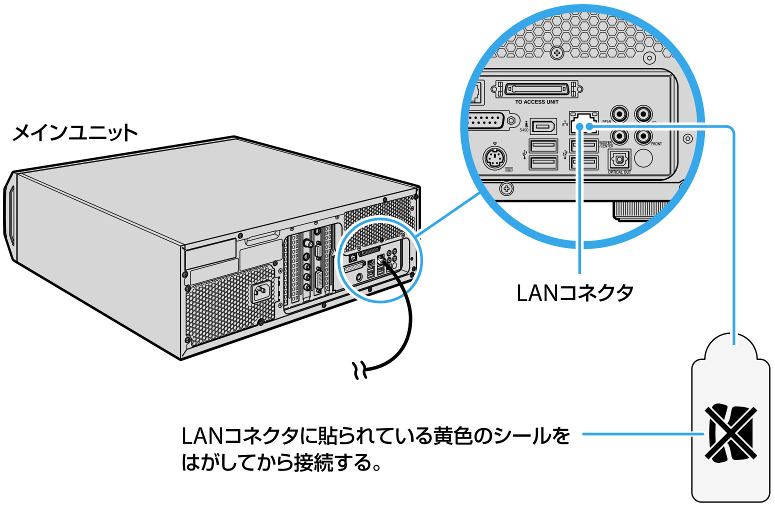
インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。

！ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

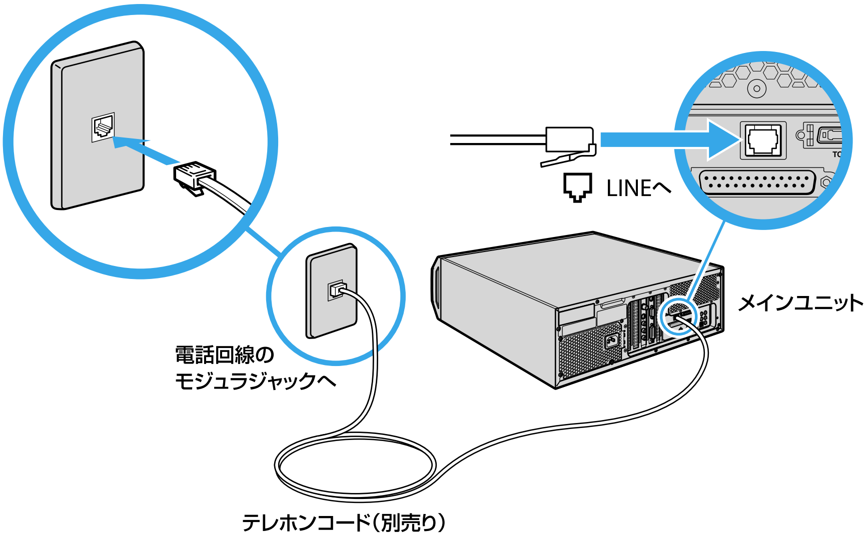


！ご注意

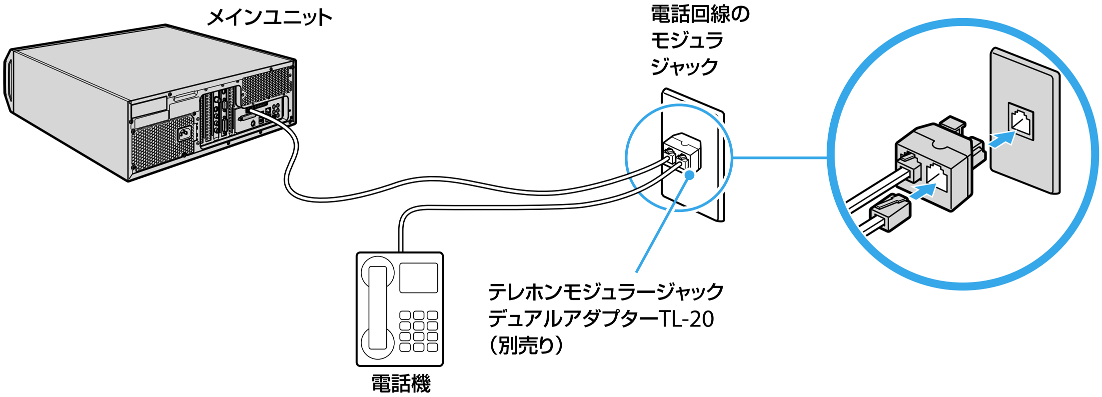
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードの一方をメインユニット後面の LINE（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。



電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプター TL-20（別売り）など）を使って接続します。



!ご注意

テレホンコードはメインユニット後面のLANコネクタに接続しないでください。

ヒント

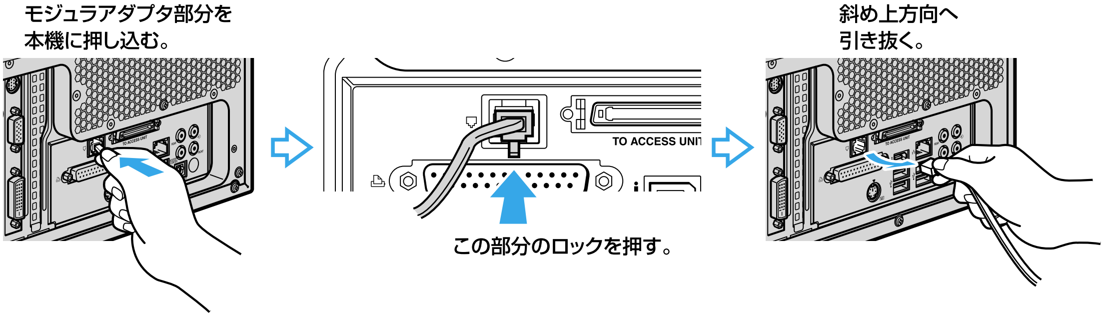
ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

本機からテレホンコードを取りはずすには

① LINE（電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

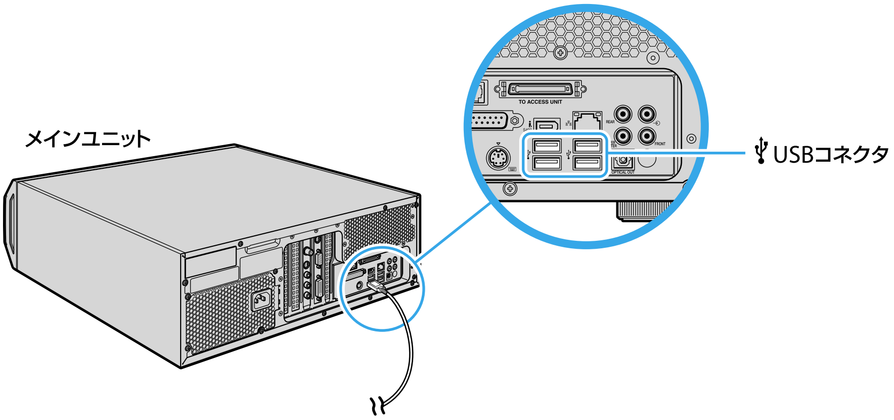
② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら、斜め上方向へ引き抜く。



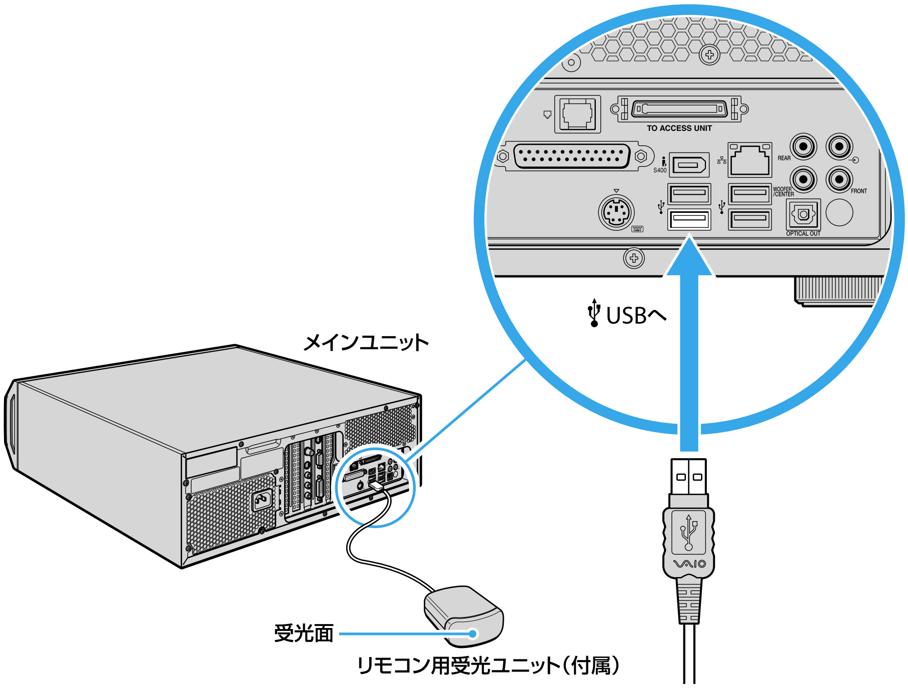
ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。



リモコン用受光ユニットを接続する
(テレビチューナー搭載モデル)

付属のリモコン用受光ユニットをメインユニット後面またはアクセスユニット後面のUSBコネクタに接続します。



!ご注意

- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

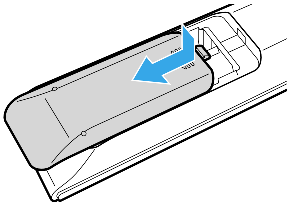
ヒント

- リモコン用受光ユニットをつなぐと、付属のリモコンを使って、Do VAIOを操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機の上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防げます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。
- リモコン用受光ユニットはアクセスユニット後面のUSBコネクタに接続することもできます。
- USB機器の接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「インターネット/ネットワーク」の[USB]→[USB機器をつなぐ]の順にクリックする。)

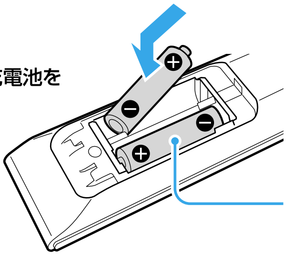
リモコンを準備する（テレビチューナー搭載モデル）

① リモコンを裏返す。

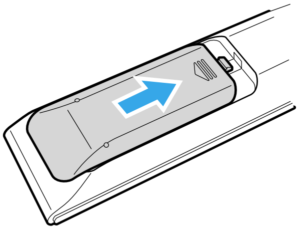
② リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。



③ ＋と－の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。



④ 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。



！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

アンテナにつなぐ（テレビチューナー搭載モデル）

アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

テレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。

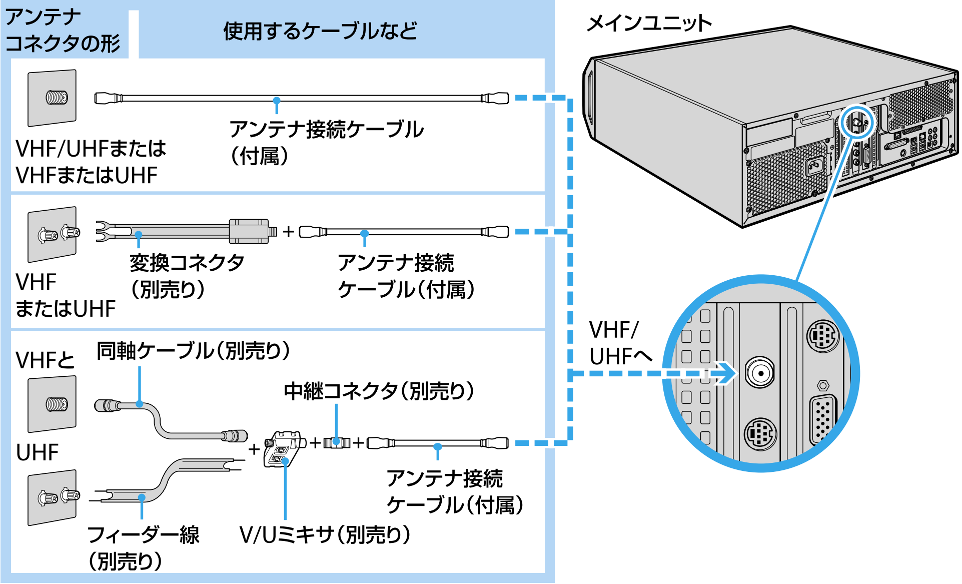
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

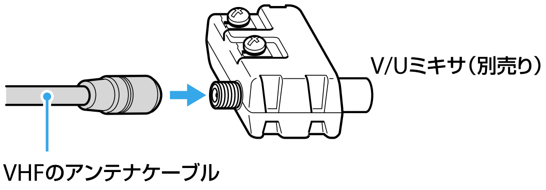


！ご注意

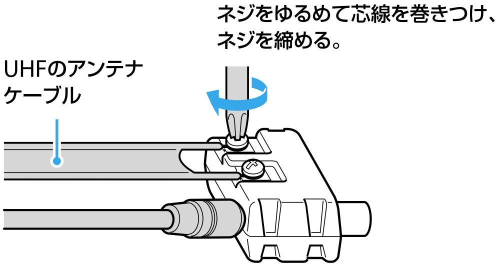
- フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

❶ VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。



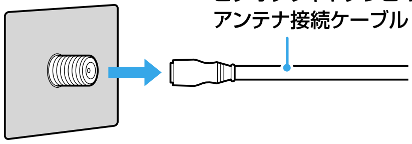
❷ UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。



❑ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

① 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



② アンテナを接続する。
別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

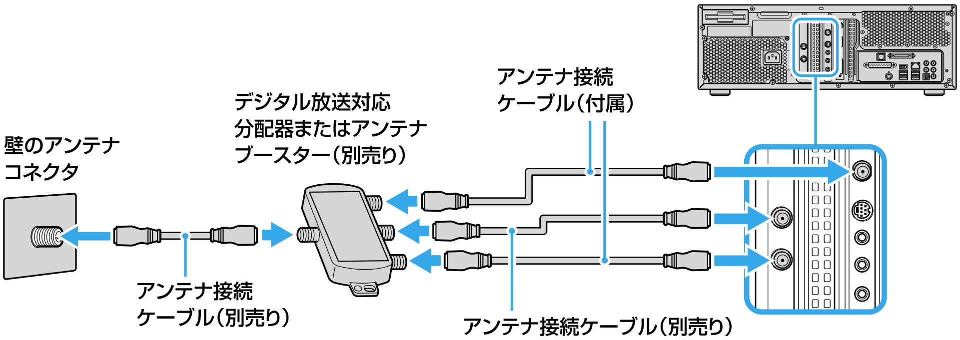
ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

デジタルテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

本機は、地上アナログ放送を受信するVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタ、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力コネクタ、BSデジタル放送／ 110度CSデジタル放送を受信するBS ／ 110度CS IF入力コネクタの3つのコネクタを搭載しています。
本機を使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、これら3つのコネクタをすべてつないでください。
それぞれのコネクタの接続方法は、以下の場合で異なりますので使用環境に合わせて接続してください。

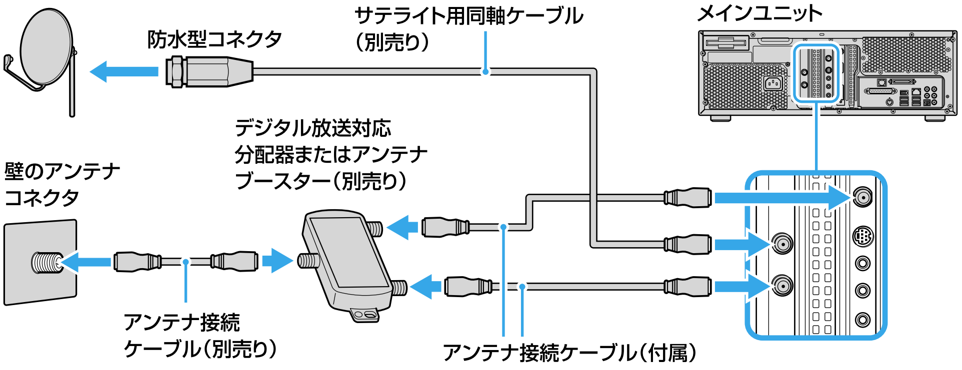
- VHF ／ UHF ／ BS ／ 110度CS混合の共同受信システムをつなぐ場合
- VHF ／ UHF（地上波）のアンテナとBS ／ 110度CSのアンテナをそれぞれつなぐ場合

❑ VHF ／ UHF ／ BS ／ 110度CS混合の共同受信システムをつなぐ場合



ヒント
テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器またはアンテナブースターをお使いください。

❑ VHF ／ UHF（地上波）のアンテナとBS ／ 110度CSのアンテナをそれぞれつなぐ場合



ヒント

- 壁にBS ／ 110度CS用のアンテナコネクタが用意されている場合は、付属のアンテナ接続ケーブルを使用して、BS ／ 110度CS用のアンテナコネクタと本機のBS ／ 110度CS IF入力コネクタをつないでください。
- テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器またはアンテナブースターをお使いください。

！ご注意

- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機から電源を供給する必要がある場合があるので、サテライト用同軸ケーブル（別売り）で接続してください。
- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機の電源を入れたまま接続しようとすると、発火するおそれがあります。危険ですので、必ず本機の電源を切ってからアンテナを接続してください。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を入れる
（デジタルテレビチューナー搭載モデル）

B-CAS*カード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

> 2004年4月より、B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
> デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。

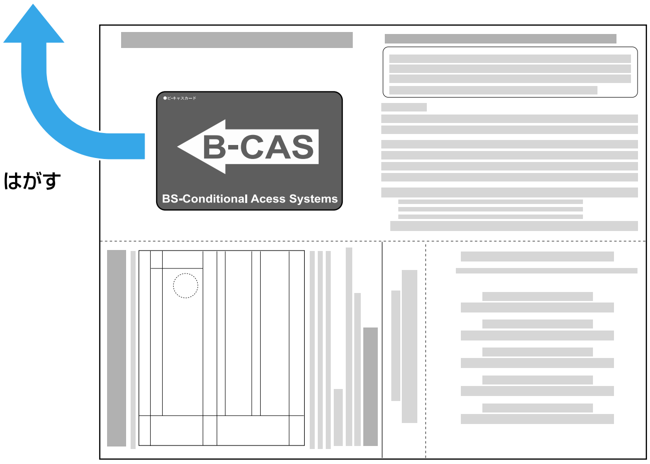
デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

＊ B-CASは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

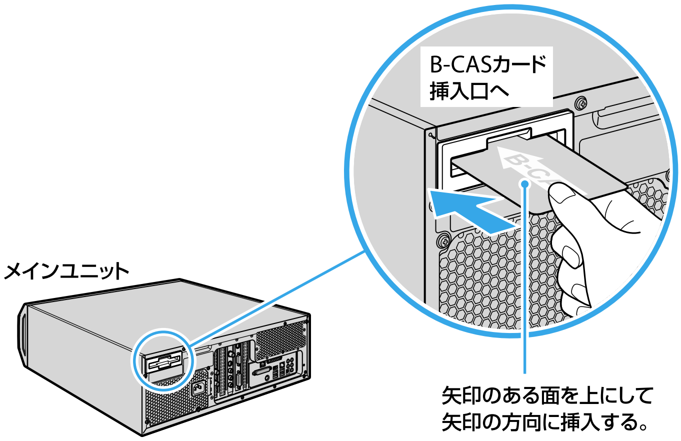
！ご注意

ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

① 同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。



② B-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入する。



③ 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。
B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

!ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ビデオデッキやCS・BSチューナーを接続する（アナログテレビチューナー搭載モデル）

ヒント

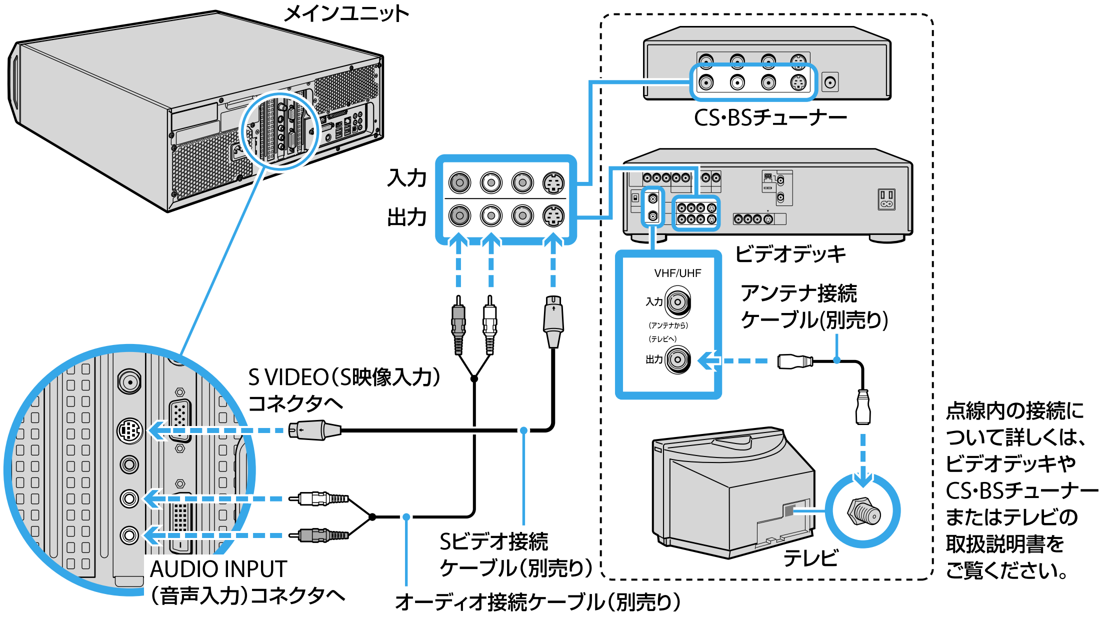
ビデオデッキやCS・BSチューナーは必要に応じて接続してください。

本機とビデオデッキやCS・BSチューナーの映像／音声の入出力コネクタ同士をつなぐと、以下のことができるようになります。

- ビデオデッキやCS・BSチューナーで再生する映像を本機につないだディスプレイで見る。
- ビデオデッキやCS・BSチューナーで再生する映像を本機に録画する。

!ご注意

著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。

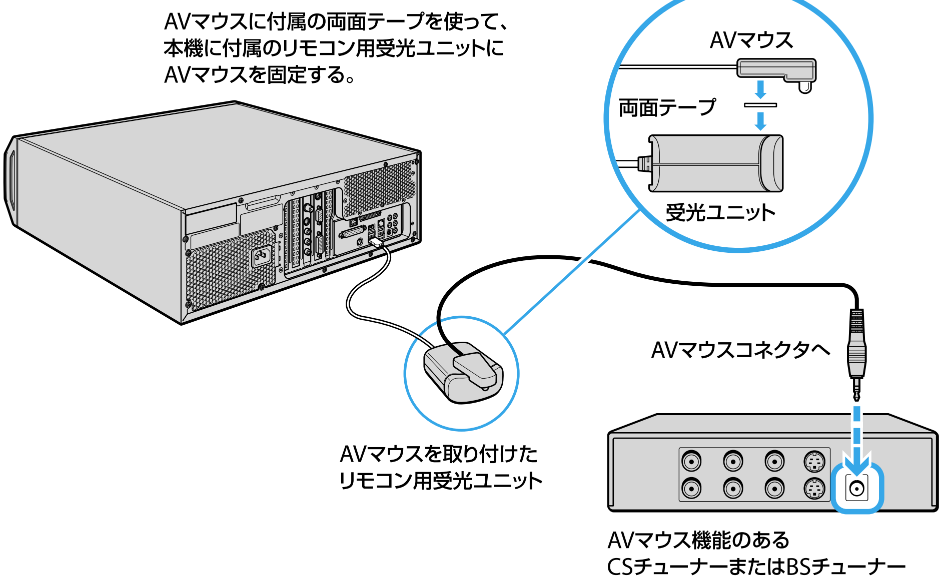


ヒント

- S映像出力コネクタのあるビデオデッキやCS・BSチューナーをおもちの場合は、S端子コネクタでつなぐことができます。S端子コネクタでつなぐと、よりきれいな画質で見たり録画したりすることができます。
- S映像出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、本機のVIDEO（映像入力）コネクタにビデオ接続ケーブル（別売り）をつないでください。

AVマウス機能付きCS・BSチューナーをつなぐときは

AVマウス機能のあるCS・BSチューナーに付属のAVマウスを取り付けると、CS・BSチューナーの予約録画機能を使ってDo VAIOに番組の予約録画を行うことができます。
AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、Do VAIOのヘルプ、およびCS・BSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

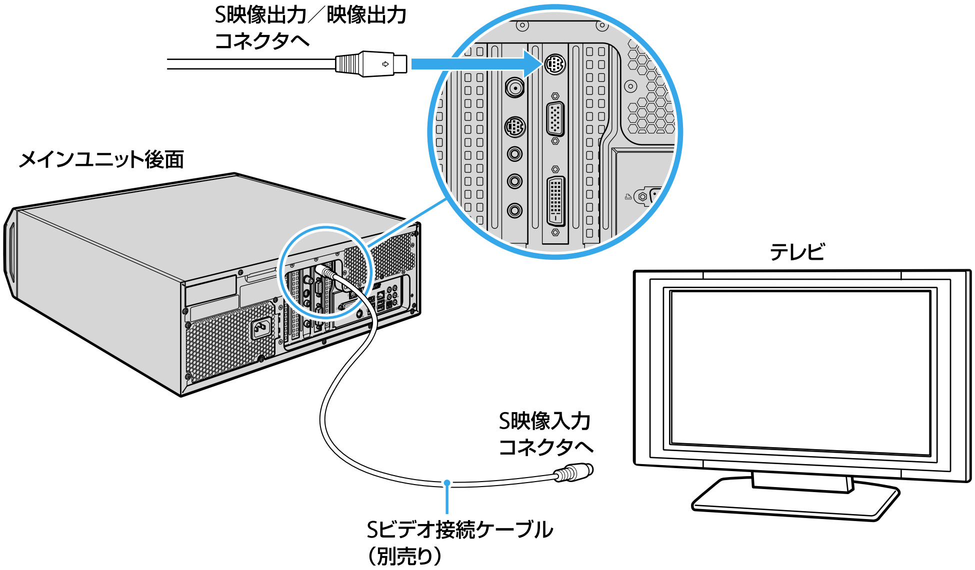


!ご注意

- 本機の電源を切った状態や休止状態ではDo VAIOは実行されません。Do VAIOを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモード（41ページ）にしてください。詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合してDo VAIOでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

テレビを接続する

テレビを接続すると、本機の映像をテレビに表示することができます。



！ご注意

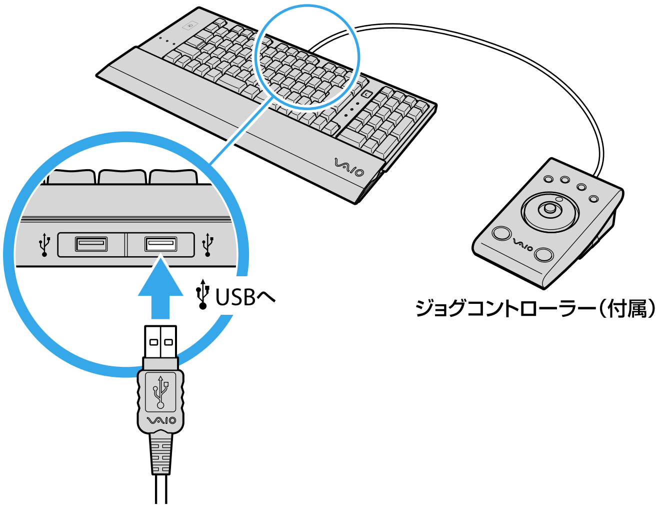
- S映像出力／映像出力コネクタにテレビを接続して映像を表示する場合、「StationTV Digital」ソフトウェアの映像は表示できません。
- S映像出力／映像出力コネクタにテレビを接続して映像を表示する場合、音声はテレビから出力されません。本機のスピーカーから出力される音声をお楽しみください。なお、音声ケーブル（別売り）をメインユニット後面のFRONT（フロント）コネクタとテレビ側の音声入力端子につなぐと、音声をテレビに出力することができます。

ヒント

ビデオ接続用変換ケーブル（付属）を取り付けると、S映像出力／映像出力コネクタに映像ケーブルを接続することができます。

ジョグコントローラーを接続する
（ジョグコントローラー付属モデル）

付属のジョグコントローラーをキーボード背面のUSBコネクタに接続します。

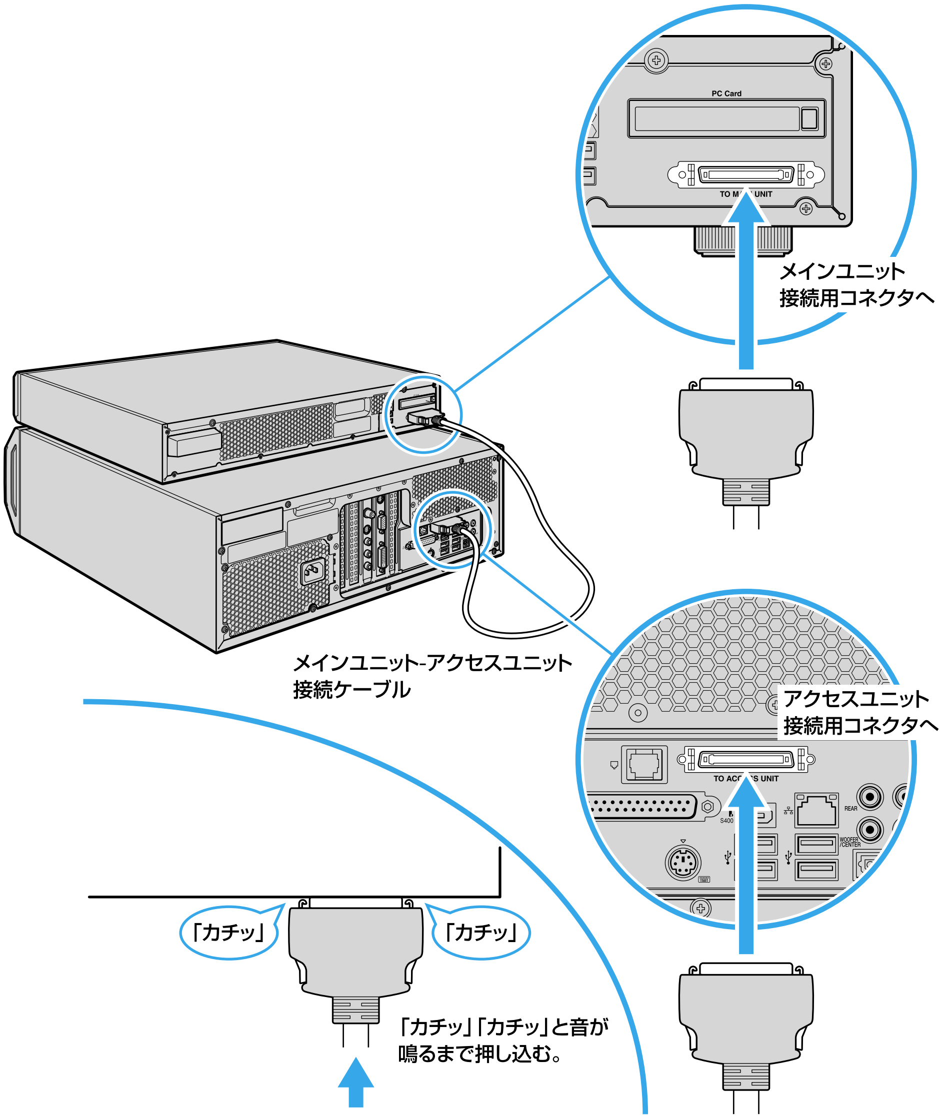


ヒント

ジョグコントローラーをつなぐと、「Adobe Premiere」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェアを使ってビデオ編集などを手軽に行えるようになります。

メインユニットとアクセスユニットを接続する

メインユニットとアクセスユニットをメインユニット-アクセスユニット接続ケーブルで接続します。



!ご注意

- メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルは、本機の電源コードを抜いた状態で接続してください。
- メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルがしっかり接続されているか確認するときは、本機の電源コードを抜いた状態でご確認ください。
- 本機に電源コードが接続された状態でメインユニット-アクセスユニット接続ケーブルを接続すると、故障や誤動作の原因となります。
- メインユニットを床に置いて使用する場合、メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルに足などを引っ掛けないように注意してください。

電源コードを接続する

本機、ディスプレイ、アクティブスピーカーを電源コンセントに接続します。

!ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。AC100Vでお使いください。

① 付属の電源コードのプラグを本体にしっかりと奥まで差し込む。

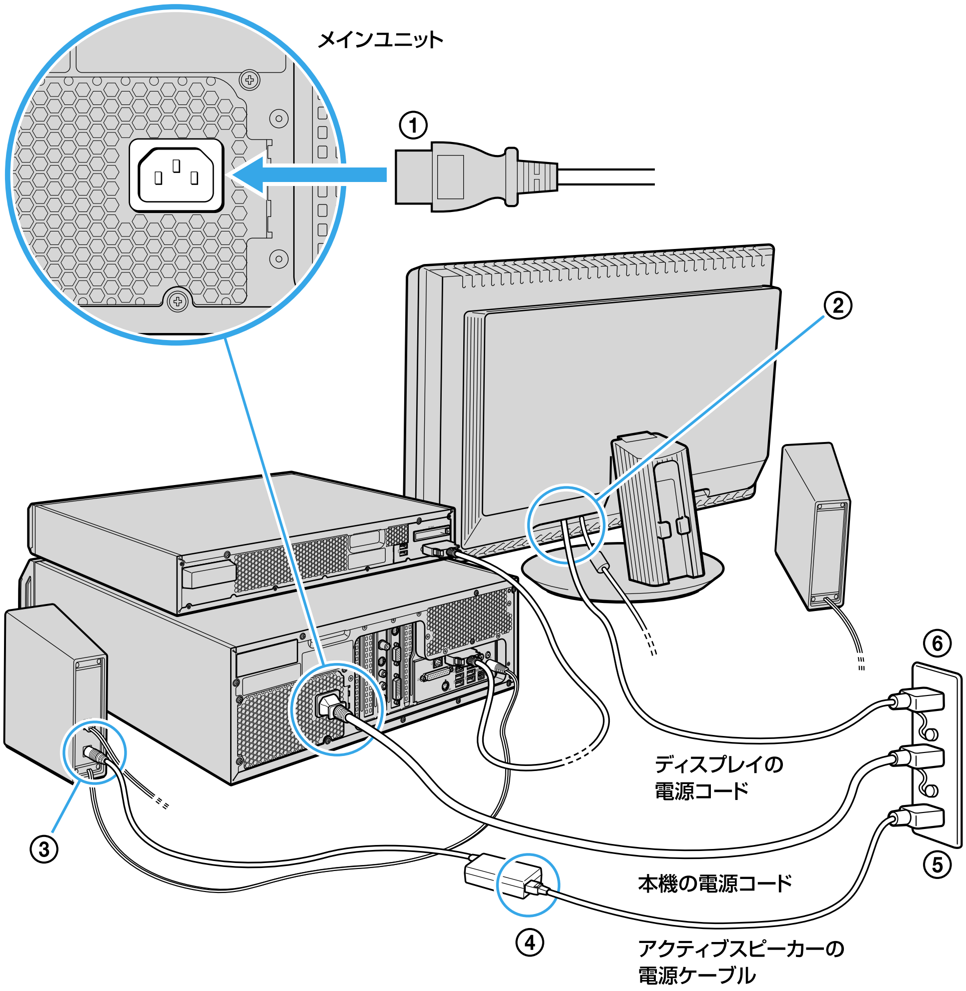
② ディスプレイの電源コードのプラグをディスプレイに接続する。

③ アクティブスピーカーのACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに接続する。

④ アクティブスピーカーのACアダプタにアクティブスピーカー付属の電源コードのプラグを差し込む。

⑤ アクティブスピーカーの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。

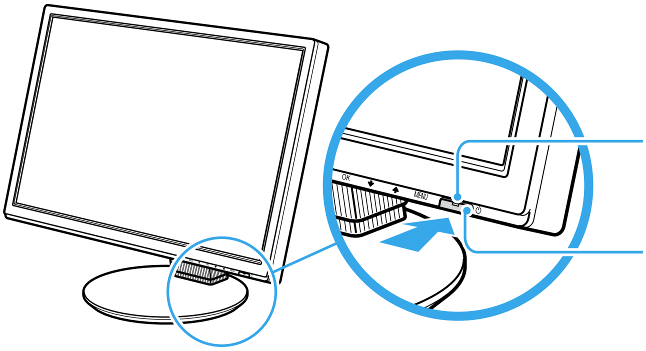
⑥ 本機の電源コードのアースを接続し、本機の電源プラグとディスプレイの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。



電源を入れる

ディスプレイと本機の電源を入れます。

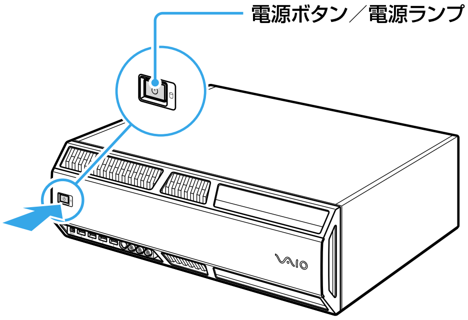
1 ディスプレイの電源ボタンを押す。



ヒント

電源ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源ボタンを押す。



本機の電源が入り、電源ランプが点灯して、Windowsが起動します。
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。

ヒント

電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機のスタンバイランプとディスプレイの電源ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(41ページ)をご覧ください。

3 アクティブスピーカーの電源を入れる。

① ON/STANDBYボタンを押して、アクティブスピーカーの電源を入れる。
② VOLUMEつまみを回して、音量を調節する。

!ご注意

アクティブスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。突然大きな音がしないように、VOLUMEつまみで調節してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!ご注意

- Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるには、大切なデータを失わないための対策や、第三者から本機を守るための対策が必要です。詳しくは、「セキュリティについて」(82ページ)をご覧ください。

2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
  ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「「Norton Internet Security」ソフトウェアについて」(48ページ)をご覧ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

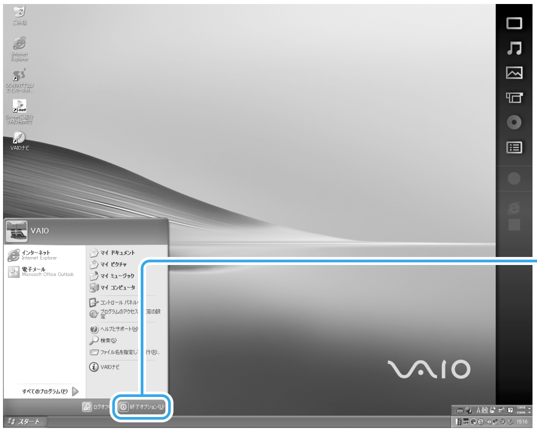
ヒント

デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2 [終了オプション]をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。



しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

ヒント

ソニー製のコンピューターディスプレイをお使いのときは、手順2で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

3 ディスプレイの電源ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

ヒント

電源ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

4 アクティブスピーカーのON/STANDBYボタンを押す。

アクティブスピーカーの電源が切れます。

！ご注意

- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する」の手順10(46ページ)で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

省電力機能について

本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スタンバイモード」と「休止状態」の2つのモードが用意されています。
モードごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて設定をしてください。

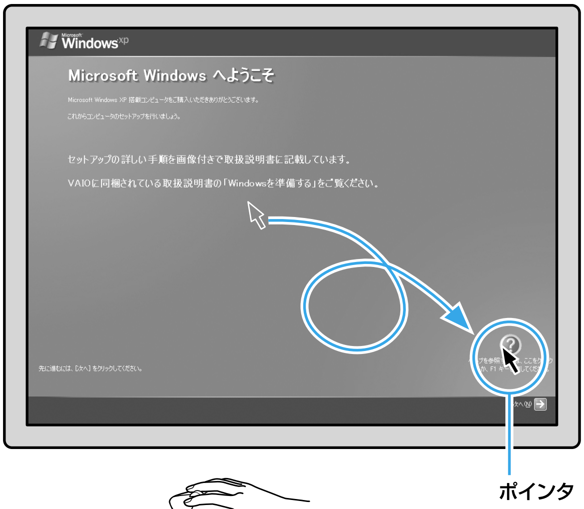
	スタンバイモード	休止状態
本機の電源ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
ディスプレイの電源ランプ*	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。また、通常動作モードへ短時間で復帰できるので、Do VAIOを常時使用しているときなどに便利です。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	• キーボードのスタンバイキーを押す。 • [スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す（テレビチューナー搭載モデル）。	• 本機の電源ボタンを押す。 • [スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[休止状態]をクリックする。
通常の動作モードに戻すには	• キーボードのスペースキーまたはスタンバイキーを押すか、本機の電源ボタンを押す。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す（テレビチューナー搭載モデル）。	本機の電源ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードを電源コンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	• 休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。 • 休止状態に入った場合は、キーボードのスタンバイキーを押しても通常のモードには戻りません。

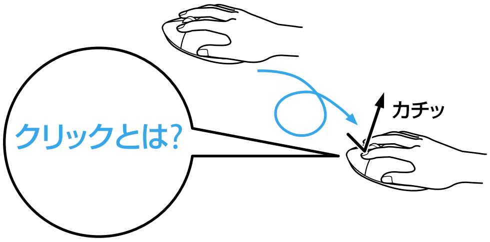
* お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[省電力]の順にクリックする。）

Windowsを準備する

電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。





マウスを動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

ヒント

取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

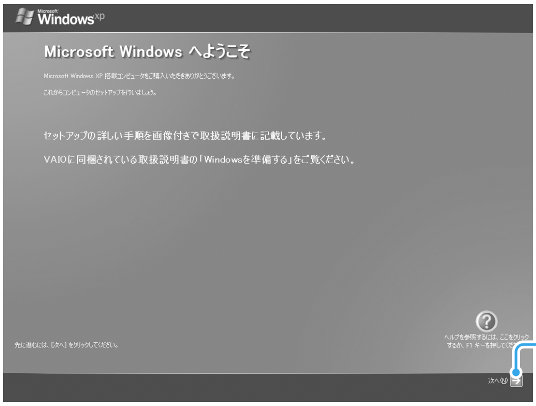
1 電源を入れる。

電源ボタンを押し、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで待ちます（38ページ）。

!ご注意

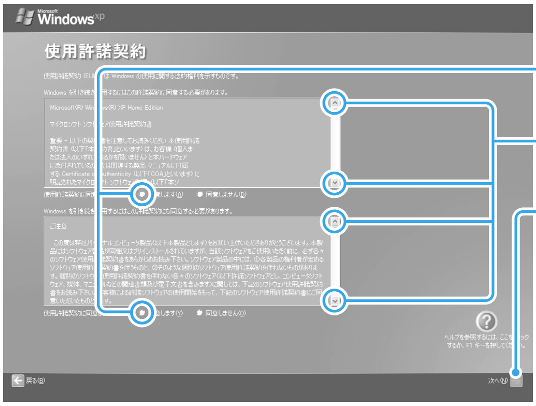
Windowsロゴ画面の表示後、上記の画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。



① ➡（次へ）をクリックする。

3 「使用許諾契約」の内容を確認する。



① 2 か所の［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にする。

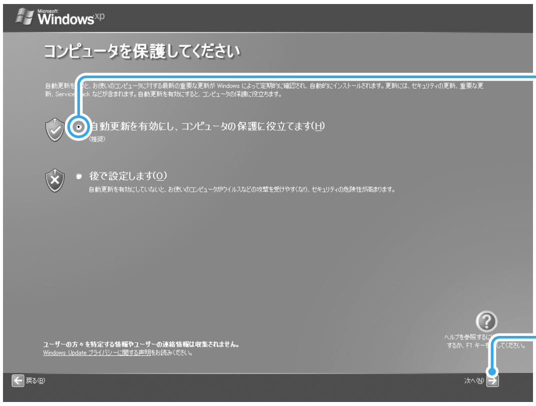
ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら ➡（次へ）をクリックする。

！ご注意

どちらか一方でも［同意しません］の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

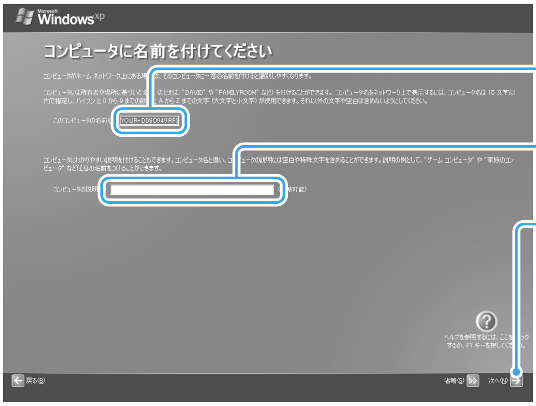
4 コンピュータを保護するための設定をする。



① ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の ◯ をクリックして ◉ にする。

② ➡（次へ）をクリックする。

5 コンピュータの名前を確認する。



① **自動的に表示されますが、変更する場合はわかりやすい名前に変更してください。**

わかりやすい説明をコンピュータにつけることもできます。

② **（次へ）をクリックする。**

ヒント

- 名前の入力は省略してもかまいません。
- コンピュータの名前やコンピュータの説明は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 管理者パスワードを設定する。

① **パスワードを入力する。**

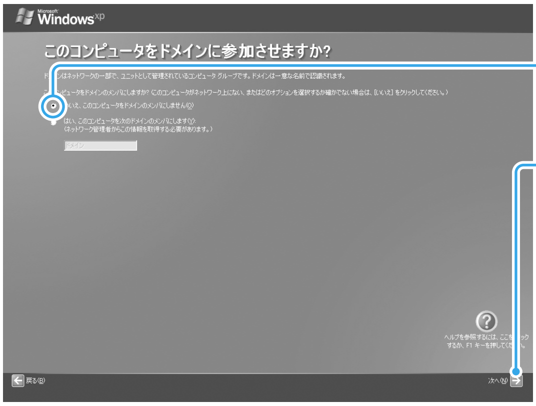
② **（次へ）をクリックする。**

！ご注意

入力したパスワードは忘れないようにしてください。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

7 ネットワーク環境に合わせて設定する。



① ご家庭でお使いの場合は、
［いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません］
の◯をクリックして◉にする。

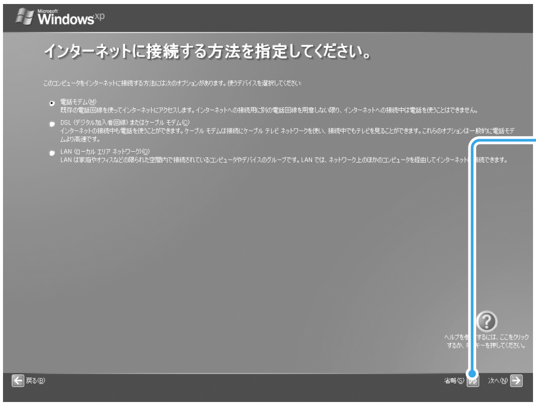
② ➡（次へ）をクリックする。

ヒント

ドメインとは、企業などで用いられるコンピュータの管理単位のことです。ご家庭以外でお使いの場合は、コンピュータの管理者にお問い合わせください。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

8 インターネットに接続する方法の設定を省略する。



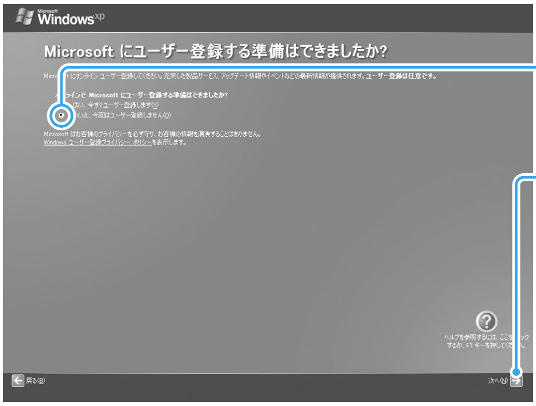
⏩（省略）をクリックする。

ヒント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いの接続方法を選んで［次へ］をクリックすると、接続方法によってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。その場合は画面の指示に従って操作してください。
また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは「インターネットを始める」（79ページ）をご覧ください。

- この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。
- 「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示された場合は、［次へ］をクリックして次の手順に進んでください。

9 ユーザー登録を省略する。



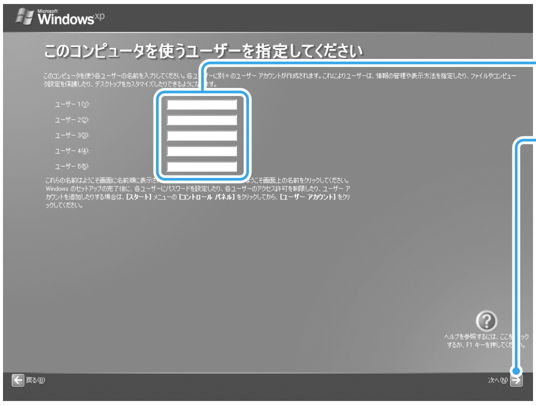
① まだユーザー登録する準備ができていないので、[いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にする。

② (次へ)をクリックする。

ヒント

まだインターネット接続の準備が終わっていないので、ここではユーザー登録を行いません。Windowsのユーザー登録について詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」については、「ヘルプとサポートセンターを見る」(143ページ)をご覧ください。

10 ユーザーの名前を入力する。



① お使いになる方の名前などをユーザーとして入力する。

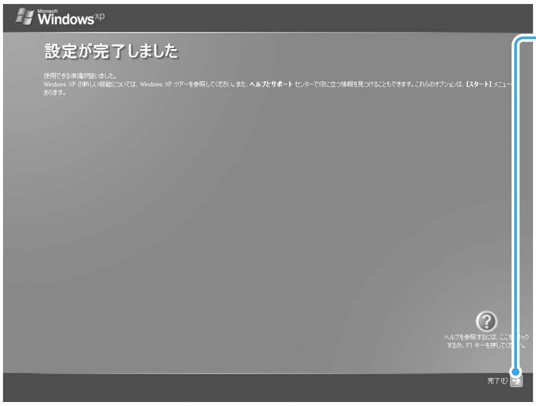
② (次へ)をクリックする。

ヒント

- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り替えられます)。
  ユーザー名の例：
  SONY太郎
  hanakoのパソコン
  など
- Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。
- 複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは表示された名前をクリックします。

ユーザーの追加や文字の入力方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

11 設定を完了する。



[完了]をクリックする。

ヒント

起動後、日時が合っていない場合は以下の手順で合わせてください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

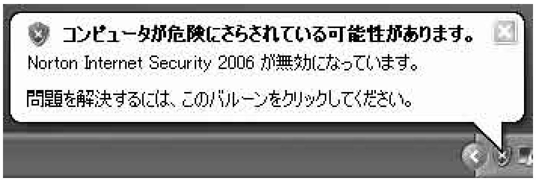
これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(39ページ)をご覧ください。

!ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告について



Windowsのセットアップの完了後に、「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告が表示されることがあります。この警告は、コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続といった危険からコンピュータを守るソフトウェアがインストールまたはセットアップされていなかったり、無効に設定されていたりするときに表示されます。
本機には、コンピュータを危険から守るソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされていますが、初期設定が行われるまでは動作しないため、前述の警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security（ノートン・インターネット セキュリティ）」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う

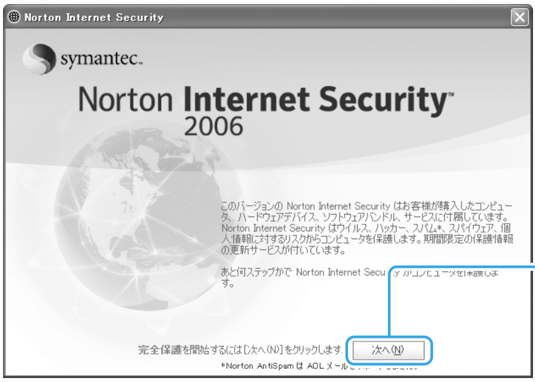
「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ、[Norton Internet Security]をクリックすると表示される「Norton Internet Security」画面で行えます。

ヒント

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」画面が表示されます。この画面が表示されたら、画面の指示に従って「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

1 「Norton Internet Security」画面での設定

使用許諾契約や更新サービス有効期間の確認が行われます。設定が終わると、「ホームネットワークウィザード」に進みます。



以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

2 「ホームネットワークウィザード」画面での設定

本機にLANケーブルを接続していると表示されます。本機が接続されているネットワークの環境について設定します。設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

［次へ］をクリックして、次に進む。

以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定時にホームネットワークウィザードが行われなかった場合は、ネットワークに接続後、以下の手順でホームネットワークウィザードを実行してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］の順にポインタを合わせ、［Norton Internet Security］をクリックする。
「Norton Internet Security」画面が表示されます。

② 中央の［ファイアウォール］をクリックして右下の［設定］ボタンをクリックする。
ファイアウォールの設定画面が表示されます。

③ ［ネットワーク］をクリックして［ウィザード］をクリックする。
「ホームネットワークウィザード」画面が表示されるので画面の指示に従って設定してください。

3 「LiveUpdate」画面での最新版への更新

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。

［次へ］をクリックして、次に進む。

以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定をしていると、LiveUpdateの実行前後に「緊急の注意」、「ウイルス定義ファイルの警告」などが表示されます。これらについて、いったん無視してLiveUpdateを完了してください。詳しくは「「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について」(50ページ)をご覧ください。

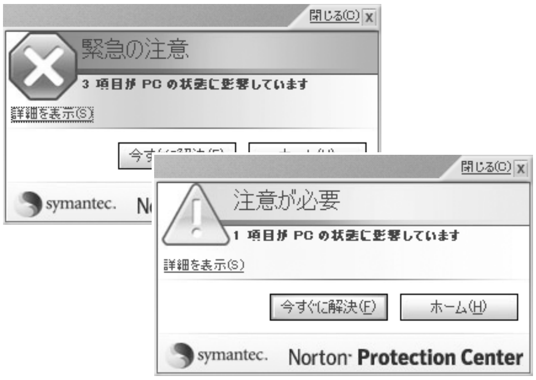
！ご注意

LiveUpdateによって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。インターネット接続サービスを提供する会社(インターネットサービスプロバイダ)との契約を行っていないなどの理由でインターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

❏ 「緊急の注意」画面、「注意が必要」画面



「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。初期設定時に表示された場合は[閉じる]をクリックしていったん閉じてください。

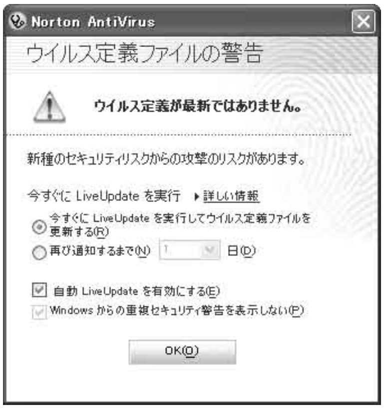
ヒント

初期設定時のLiveUpdateが終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左の[Norton Protection Center]をクリックすると表示される画面で「保護の状態」が「緊急の注意」または「注意が必要」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

❏ 「アウトブレーク警告」画面

被害報告が増えているコンピュータウイルスなどがあるときに表示されます。内容を確認して[閉じる]をクリックしてください。

❏ 「ウイルス定義ファイルの警告」画面



「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新が長期間行われていないと表示される警告です。初期設定時に表示された場合は、LiveUpdateの完了後、「ウイルス定義ファイルの警告」画面の[OK]をクリックして指示に従ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ(ユーザ登録・サポート登録・更新方法)
ホームページ：http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。
なお、保証については「保証書とアフターサービス」（167ページ）をご覧ください。
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」（157ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供および発行します。

① セキュリティや品質などに関する重要な情報をご提供

② 充実したサービス・サポートをご提供

③ My Sony IDを発行

❑ ご利用いただける有償サービス

- 大切なバイオを安心してお使いいただくために、「VAIO延長保証サービス」（165ページ）をご用意しております。
- 海外で安心してお使いいただくために「VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）」（165ページ）をご用意しております。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」（166ページ）がご利用できます。
- 「部品提供サービス」（166ページ）および「VAIOカスタマイズサービス」（166ページ）をWebサイトからお申し込みいただけます。

❑ ご利用いただけるサポート

- お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」（147ページ）をご利用いただけます。
  マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。
  - バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信する「テクニカルWebサポート」
    詳しくは、「メールで問い合わせる」（160ページ）をご覧ください。
  - ホームページから、電話サポートのご予約をしていただける「VAIOコールバック予約サービス」
    詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）をご覧ください。
  - オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただく「VAIOリモートサービス」
    詳しくは、「VAIOリモートサービス」（154ページ）をご覧ください。
- バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイト「VAIO Hot Street（バイオホットストリート）」（155ページ）をご利用いただけます。

※2006年8月現在

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証（ログイン＝ご本人様であることの確認）に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。
このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、インターネット経由で行うことができます。

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、VAIOホームページ内(http://www.vaio.sony.co.jp/)のページ上で行うことができます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」と「お客様サポート番号」が表示されます。

!ご注意

表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

!ご注意

VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

基本設定を行う

Do VAIOの設定をする

Do VAIOとは

Do VAIOは、映像や音楽、デジタル写真などをコンピュータで楽しむための統合プレーヤーです。

はじめてDo VAIOを使うときは、次の手順に従ってテレビを見るためのチャンネル設定（アナログテレビチューナー搭載モデル）や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。
基本設定を行う前に、アンテナ接続（アナログテレビチューナー搭載モデル）を行ってください（30ページ）。

！ご注意

Do VAIOの準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

❑ アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

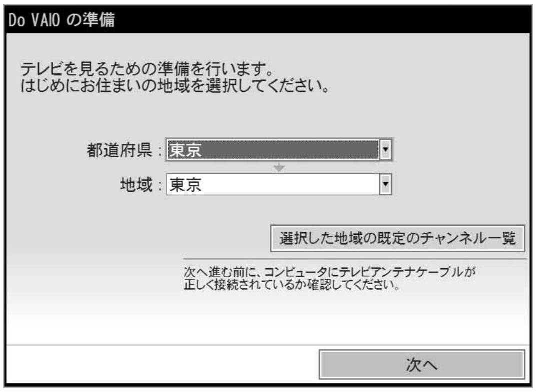
1 リモコンのVAIOボタンを押すか、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「テレビを見るための準備を行います。はじめにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。



「制限付きアカウント」をもつユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

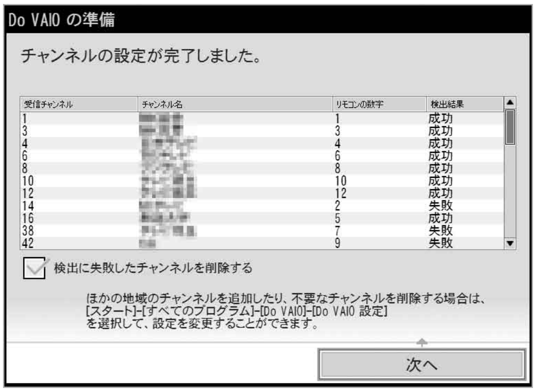
ヒント

［選択した地域の既定のチャンネル一覧］をクリックすると、選択した地域にあらかじめ登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

4 ［次へ］をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

5 ［検出に失敗したチャンネルを削除する］がチェックされていることを確認して［次へ］をクリックする。



「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。

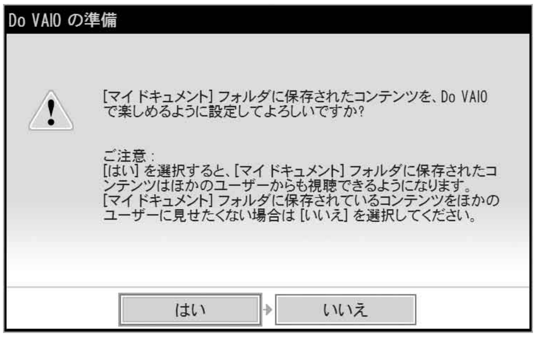
ヒント

- ［検出に失敗したチャンネルを削除する］のチェックをはずすと、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。チャンネルの追加や削除はあとで行うことができるため、通常はチェックしたままにしておくことをおすすめします。
- 「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 ［完了］をクリックする。

「［マイ ドキュメント］フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。



「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

ヒント

[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。）またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

❑ アナログテレビチューナー非搭載モデルをお使いの場合

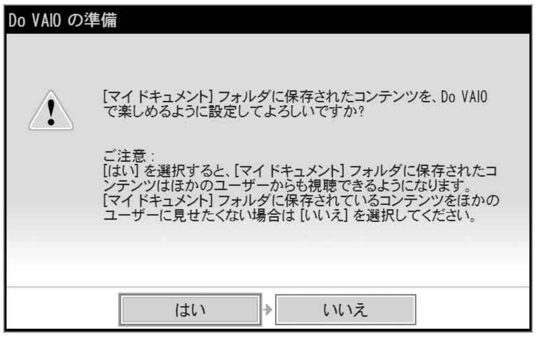
1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする。



「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。）またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

ヒント

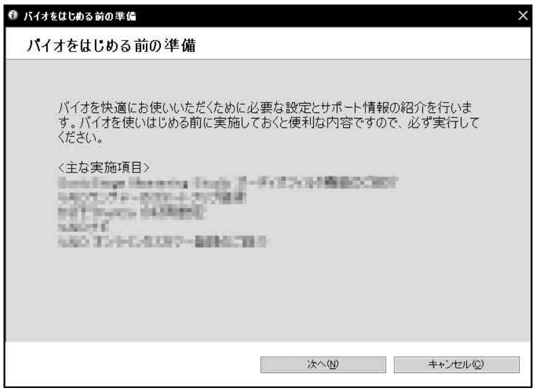
[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

バイオをはじめる前の準備を行う

引き続き、「バイオをはじめる前の準備」で設定を行います。
「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[バイオをはじめる前の準備]をクリックする。

「バイオをはじめる前の準備」が表示されます。



ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ **インターネットに接続したい。**
→79ページをご覧ください。

❑ **電子メールをやりとりしたい。**
→「バイオ電子マニュアル」をご覧ください(58ページ)。
([バイオの使いかた]→[インターネット/ネットワーク]の[インターネット/電子メール]→[インターネット/電子メールを使う]→[電子メールをやりとりする]の順にクリックする。)

❑ **Windowsの基本操作を知りたい。**
→「できるWindows for VAIO」をご覧ください。
(「バイオ電子マニュアル」の[できるWindows for VAIO]をクリックする(58ページ)。)

画面で見るマニュアル
（バイオ電子マニュアル）

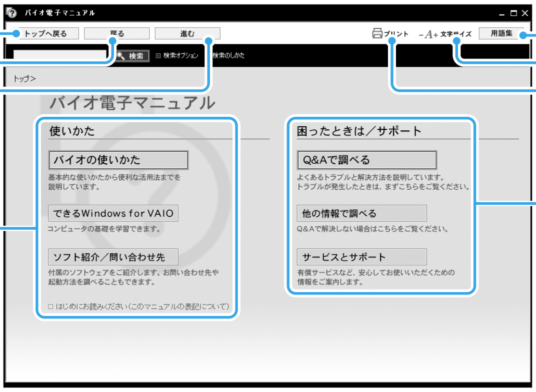
本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。「バイオ電子マニュアル」では、さらに詳しく紹介していますので、ぜひご活用ください。

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 見たい項目をクリックする。

画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（141ページ）をご覧ください。

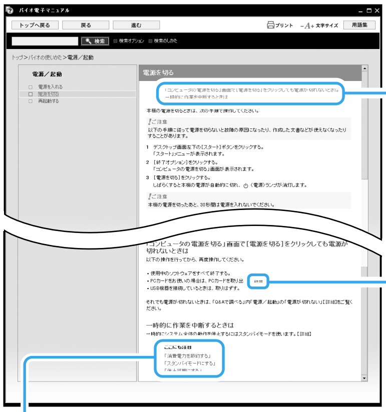


起動画面

例：電源の切りかたについて知りたいとき

起動画面の[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[電源を切る]の順にクリックする。

画面右側に情報が表示されます。



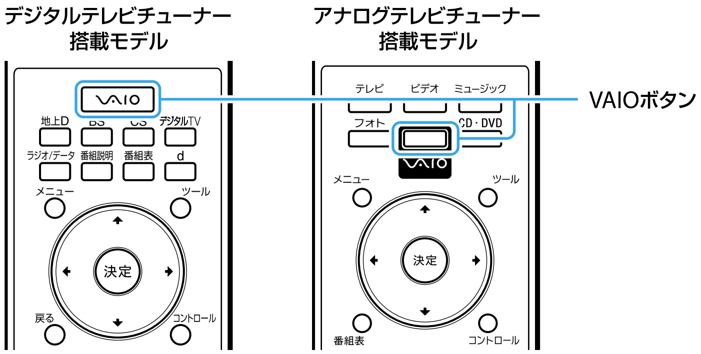
* ポインタをあてると下線が引かれる文字

テレビ・ビデオ
(アナログテレビチューナー搭載モデル)

テレビ番組を見る

地上アナログ放送のテレビ番組の視聴はDo VAIOで行います。
起動も選局もリモコンで操作できます。

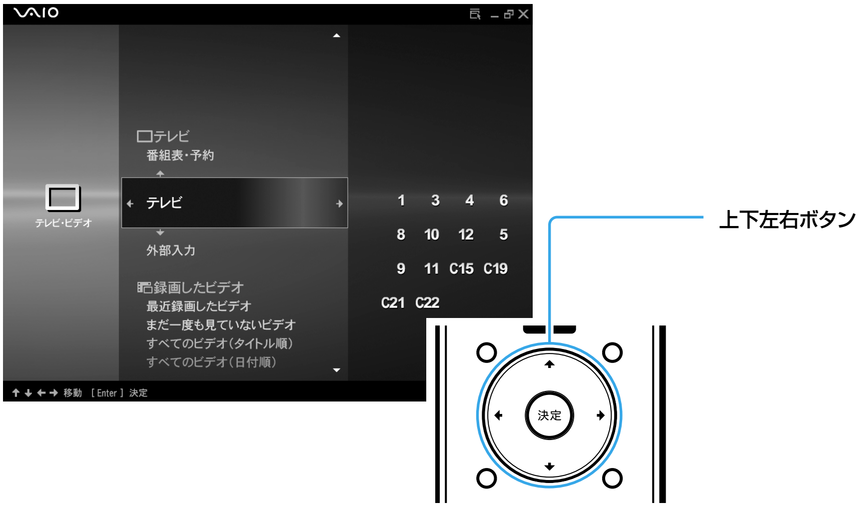
1 リモコンのVAIOボタンを押す。



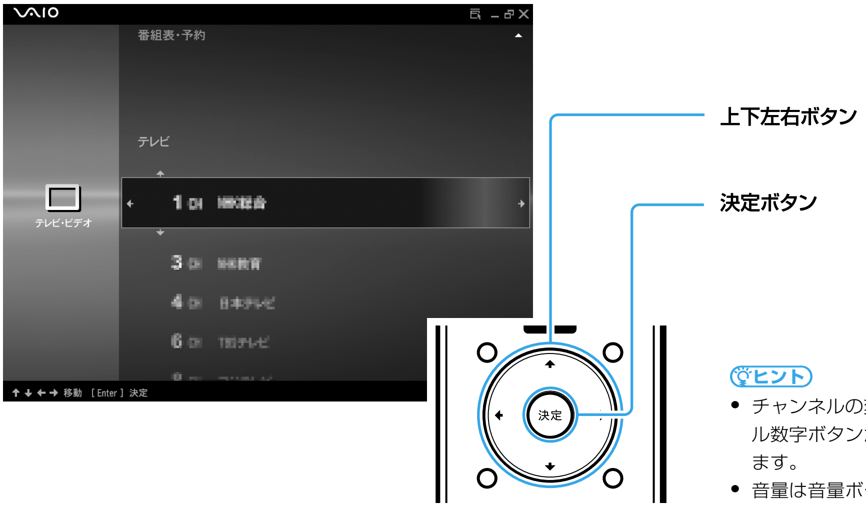
Do VAIOが起動し、メニューが表示されます。

ヒント
デジタルテレビチューナー非搭載モデルをお使いの場合は、テレビボタンでテレビ画面を直接表示できます。

2 [テレビ・ビデオ]をリモコンの上下ボタンで選んで右ボタンを押し、次に[テレビ]を上下ボタンで選んで右ボタンを押す。



3 見たいチャンネルをリモコンの上下ボタンで選び決定ボタンを押す。

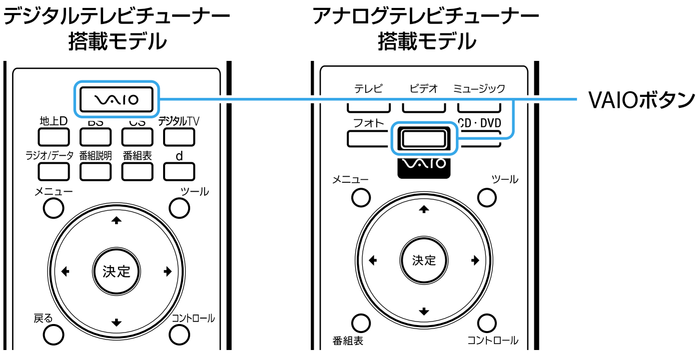


![ヒント]
- チャンネルの変更は、リモコンのチャンネル数字ボタンかチャンネルボタンでも行えます。
- 音量は音量ボタンで調節できます。

録画予約する

テレビ番組の録画予約はインターネット電子番組表から行います。

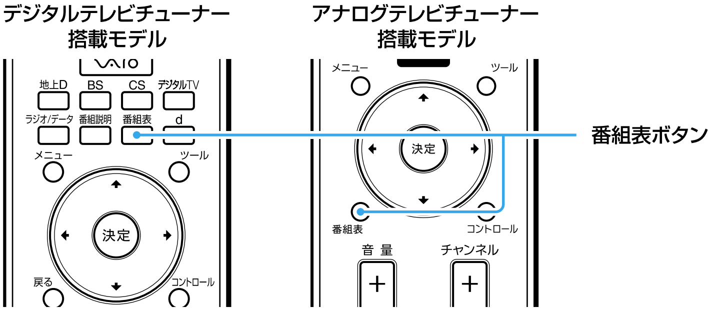
1 リモコンのVAIOボタンを押す。



Do VAIOが起動し、メニューが表示されます。

![ヒント]
デジタルテレビチューナー非搭載モデルをお使いの場合は、番組表ボタンでインターネット電子番組表を直接表示できます。

2 リモコンの番組表ボタンを押す。

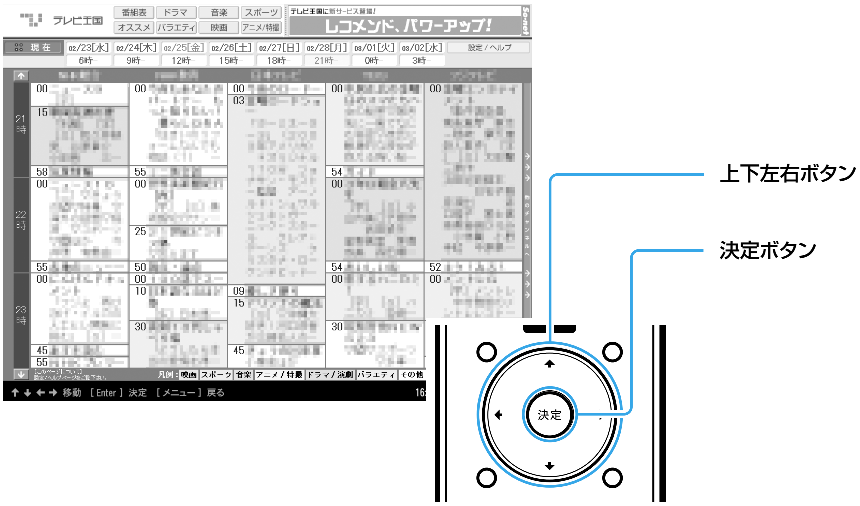


インターネット電子番組表が表示されます。

!ご注意

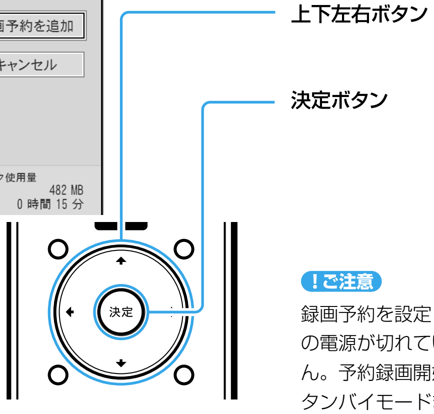
- この操作を行うときは、インターネットに接続している必要があります。
- この操作を行うためには、画面の解像度を1024×768 以上にしている必要があります。

3 録画したい番組をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。



「録画の設定」画面が表示されます。

4 ［録画予約を追加］をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。



録画予約が設定されます。

！ご注意

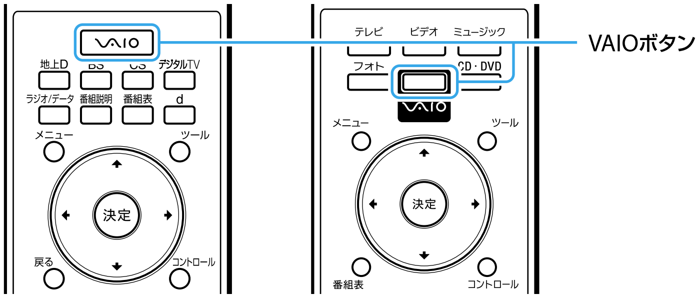
録画予約を設定しても、予約録画開始時に本機の電源が切れていると予約録画は行われません。予約録画開始前は本機の電源を切らず、スタンバイモードまたは休止状態にしてください。

録画したテレビ番組を見る

録画したテレビ番組の再生もリモコンから操作できます。サムネイルを使って一覧表示されるので目的のテレビ番組を簡単に見つけられます。

1 リモコンのVAIOボタンを押す。

デジタルテレビチューナー搭載モデル　　アナログテレビチューナー搭載モデル



Do VAIOが起動し、メニューが表示されます。

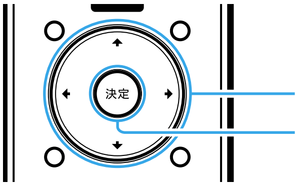
2 [テレビ・ビデオ]をリモコンの上下ボタンで選んで右ボタンを押し、次に[すべてのビデオ]を上下ボタンで選んで右ボタンを押す。

上下左右ボタン

ヒント

すでにDo VAIOが表示されている場合は、メニューボタンでメニューを表示できます。

3 見たいテレビ番組をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



上下左右ボタン

決定ボタン

テレビ番組の再生が始まります。

ヒント

録画したテレビ番組をすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
先頭から再生したい場合は、見たい番組を選んだあとに[ツール]ボタンを押して表示されるメニューから[先頭から再生]を選んでください。

ミュージック

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。
自分だけの音楽ライブラリができあがります。

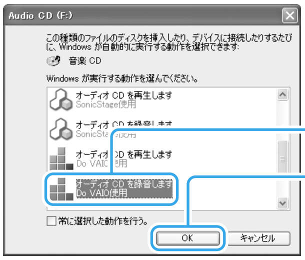
!ご注意

音楽CDの曲情報の取得にはCDDBサービスを利用しています。CDDBサービスの利用にはインターネット接続環境が必要です。インターネット接続については、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。

1 取り込みたい音楽CDを、本機のドライブに入れる。

音楽CDを取り込むソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

2 [オーディオCDを録音します Do VAIO使用]を選んで[OK]をクリックする。



① ここを選択する。

② ここをクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント

コンピュータの設定によっては、音楽CDを入れてもソフトウェアを選ぶ画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を取り込む]の順にクリックする。)

3 音楽の取り込みが自動的に始まります。

ヒント

- はじめてCDDBサービスを利用するときは、CDDBへの登録確認画面が表示されます。画面の指示に従って、CDDBへの登録を行ってください。
- 以前曲を取り込んだことがある音楽CDをドライブに入れている場合、録音を開始してよいかどうかを確認するメッセージ画面が表示されます。

音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。
音楽CDを交換する手間はありません。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
音楽を聞くときにリモコンで操作する方法（テレビチューナー搭載モデル）や、音楽CDを再生する方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を聞く]の順にクリックする。）

2 [ミュージック]→[すべてのアルバム]の順にクリックする。

3 再生したいアルバムをクリックする。

音楽コンテンツの再生が始まります。

音楽CDを作る

音楽CDの作成はSonicStageで行います。
曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 データの書き込まれていないCD-R ／ CD-RWを、本機のドライブに入れる。

3 [音楽を転送する]にポインタを合わせ、[音楽CDの作成]をクリックする。

① ここにポインタを合わせる。

② ここをクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、をクリックする。

① 曲を選択する。

② ここをクリックする。

「音楽CD」に曲が登録されます。

ヒント

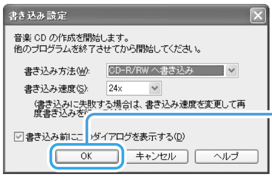
- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R ／ CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

5 CDにしたい曲やアルバムをすべて登録したら、をクリックする。

① ここをクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。



①ここをクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

フォト

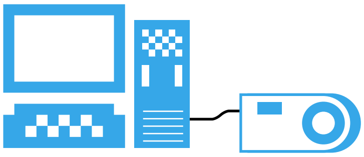
写真を取り込む

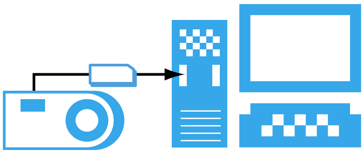
デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。スライドショーやフォトアルバム作成で楽しめます。

ご注意

写真を取り込むには、Do VAIOで楽しむコンテンツを保存するためのフォルダとして「マイ ピクチャ」フォルダが登録されている必要があります。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。



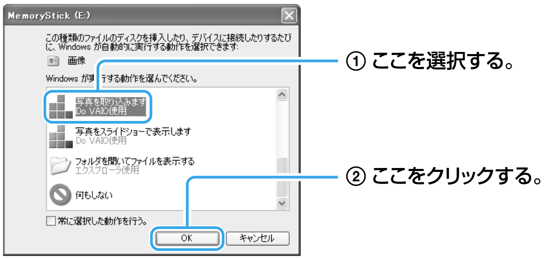


Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- ご利用可能なメモリーカードの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- デジタルスチルカメラやメモリーカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。

2 [写真を取り込みます Do VAIO使用]をクリックし、[OK]をクリックする。



ヒント

コンピュータの設定によっては、メモリーカードを入れてもWindowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

3 [取り込み開始]をクリックする。

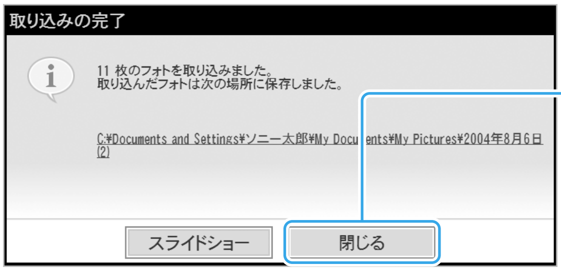
① ここをクリックする。

写真の取り込みが始まります。取り込みが終わると、取り込み結果を知らせるメッセージ画面が表示されます。

ヒント

写真の取り込み先や方法を設定することができます。
設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

4 [閉じる]をクリックする。



① ここをクリックする。

ヒント

「取り込みの完了」画面で[スライドショー]をクリックすると、取り込んだフォトのスライドショーが始まります。

写真を見る

取り込んだ写真をDo VAIOで見ることができます。
簡単な操作でスライドショーを楽しめます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
写真を見るときにリモコンで操作する方法(テレビチューナー搭載モデル)については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[写真を見る]の順にクリックする。)

2 [フォト]→[フォルダ]の順にクリックする。

ヒント
手順2で[フォルダ]ではなく、[年]、[月]、[日]、[時間]、[曜日]を選ぶと、選んだ方法で並び替えられたデジタル写真がスライドショーで表示されるので、その中からデジタル写真を選ぶことができます。

3 見たいデジタル写真があるフォルダをクリックする。

スライドショーが開始されます。

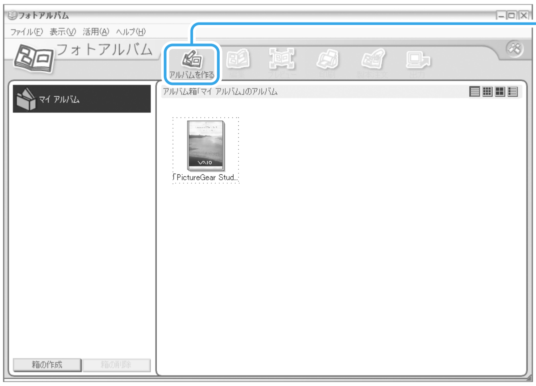
フォトアルバムを作る

思い出の写真をフォトアルバムとしてまとめられます。
作成はPictureGear Studioで行います。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「フォトアルバム」画面が表示されます。

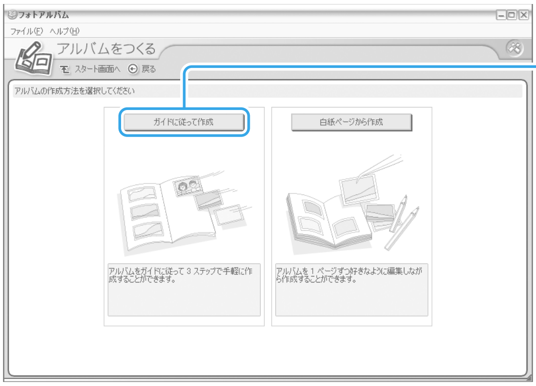
2 [アルバムを作る]をクリックする。



① ここをクリックする。

「アルバムをつくる」画面が表示されます。

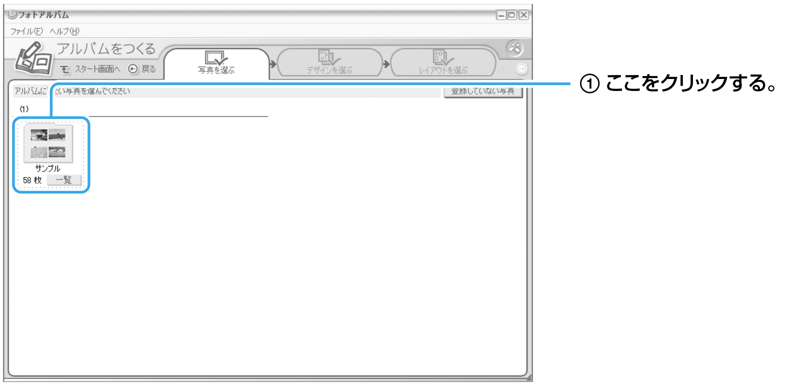
3 [ガイドに従って作成]をクリックする。



① ここをクリックする。

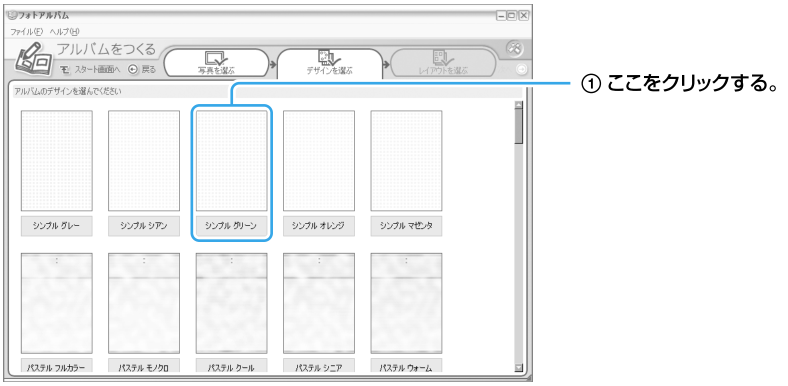
「写真を選ぶ」画面が表示されます。

4 アルバムにしたいカテゴリをクリックする。



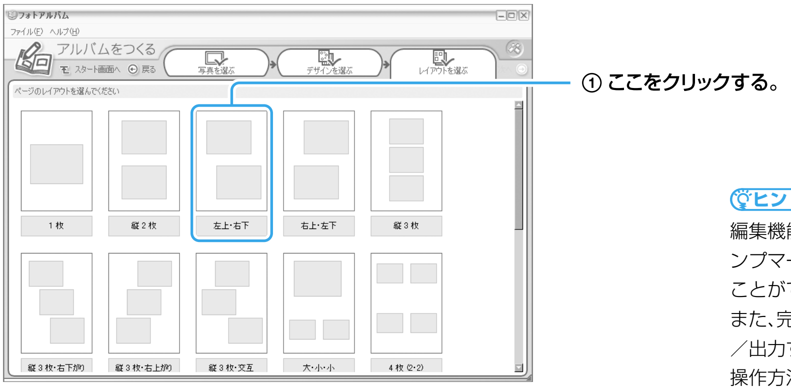
「デザインを選ぶ」画面が表示されます。

5 アルバムのデザインを選んでクリックする。



「レイアウトを選ぶ」画面が表示されます。

6 アルバムのレイアウトを選んでクリックする。



フォトアルバムが完成します。

ヒント

編集機能を使用して、文字を入力したり、スタンプマーク／図形／カレンダーを貼り付けることができます。
また、完成したフォトアルバムは、保存／印刷／出力することもできます。
操作方法については「PictureGear Studio」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

DVD

DVDを見る

DVDの再生もDo VAIOで行えます。
Do VAIOを起動してDVDをセットすれば
すぐに再生が始まります。

1　[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント

DVDを見るときにリモコンで操作する方法（テレビチューナー搭載モデル）については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[映像]→[Do VAIOでDVDを見る]の順にクリックする。）

2　再生したいDVDを、本機のドライブに入れる。

DVDの再生が始まります。

ご注意

ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、[CD・DVD]→[DVD]の順にクリックし、DVDを入れたドライブ名をクリックしてください。

ヒント

DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、マウスを動かすと表示される画面下部の操作メニューから[ツール]をクリックし、表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックしてください。先頭から再生されます。

録画したテレビ番組をDVDにする

バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。
直感的な操作で簡単にDVDを作れます。

（アナログテレビチューナー搭載モデル）

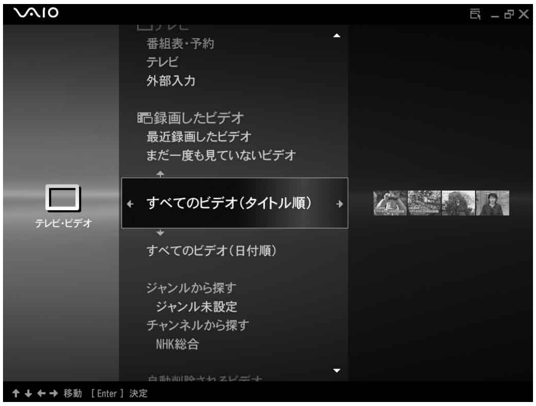
1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント

DVDへの記録方法をあらかじめ設定することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。）

2 [テレビ・ビデオ]→[すべてのビデオ]の順にクリックする。



録画したビデオの一覧が表示されます。

ヒント

[すべてのビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に1度も見たことがないテレビ番組から選んでDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3 DVDに書き込みたいテレビ番組を選択し、▸をクリックする。

① ここをクリックする。

録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4 [DVDへ書き込む]をクリックする。

5 データの書き込まれていない記録用DVDを、本機のドライブに入れる。

「DVD へ書き込み」画面が表示されます。

！ご注意

ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。

6 [DVD作成開始]をクリックする。

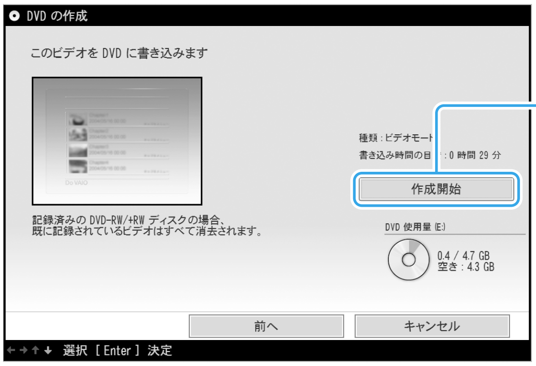
① ここをクリックする。

「DVD の作成」画面が表示されます。

ヒント

他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択]をクリックして「複数のビデオを DVD へ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。）

7 [作成開始]をクリックする。



選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。
書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

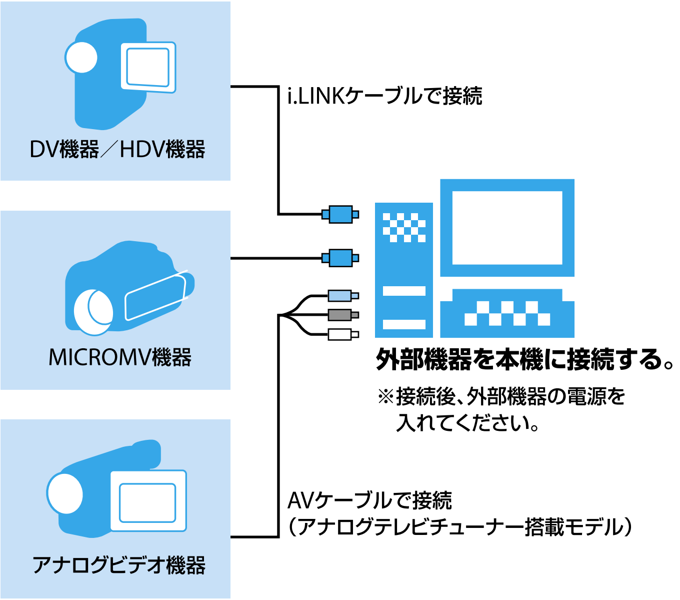
8 同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときは[もう1枚作成]を選択し、DVDの作成を終了するときは[終了]を選択する。

[もう1枚作成]を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。[終了]を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

撮影した素材からDVDを作る

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影した思い出の映像や、アナログビデオテープに録りためた映像は、Click to DVDでオリジナルDVDにすることができます。

1 本機に外部機器を接続し、外部機器の電源を入れる。



ヒント

- アナログビデオ機器の接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください（アナログテレビチューナー搭載モデル）。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→[接続／準備]→[ビデオデッキやCS・BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）
- DVD-Videoフォーマット、DVD+VR・DVD-VRフォーマットで記録されたDVDからもデータを読み込むことができます。
- 外部機器を接続したとき、「デジタル ビデオ デバイス」画面が表示された場合は、[撮ったビデオでDVD作成！]をクリックし、[OK]をクリックします。「Click to DVD」画面が表示されるので手順3に進んでください。

！ご注意

市販のDVDなど、コピー制御信号を含むDVDから読み込むことはできません。

2 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Click to DVD]の順にポインタを合わせ、[Click to DVD]をクリックする。

「Click to DVD」画面が表示されます。

3 画面左下の[ビデオモード]タブをクリックして、基本的な設定を行う。

アナログビデオ機器から
取り込むときはここをクリックする。

① ここをクリックする。

② DVDの名前（作品名）を入力する。

③ メニュー画面のデザインを選ぶ。

ヒント

ここでは、「DVDおまかせ作成」のビデオモードでDVDに書き込むときの手順を説明します。その他の方法については、「Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れ、[作成開始]をクリックする。

DVDの作成が始まります。

!ご注意

- ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- DVD-RAMへの書き込みは、VRモードでDVDおまかせ作成をするときのみ可能です。

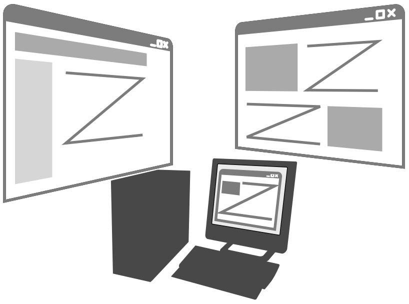
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などと呼びます）と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

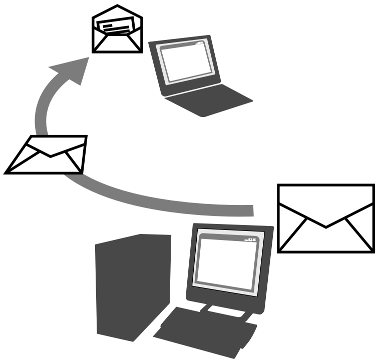
インターネットでできること

ホームページを見る



ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする



インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

こんなこともできます

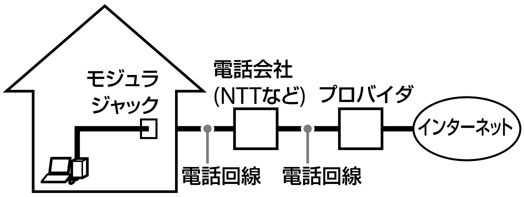
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー（IM）というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット（文字による会話）などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

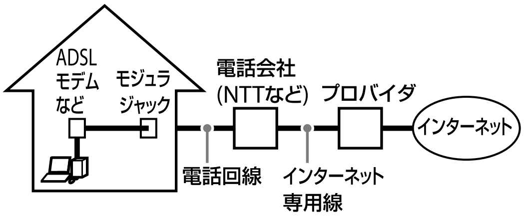
❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。



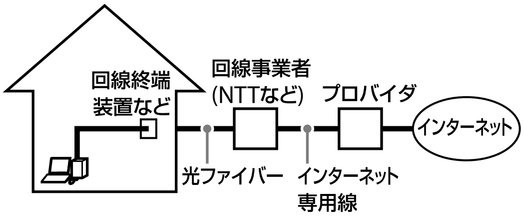
❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。



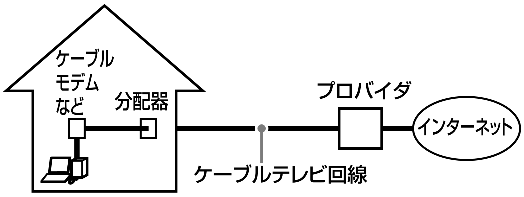
❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

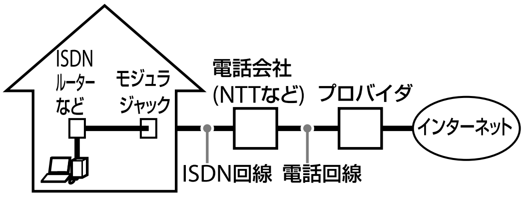


❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。



- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。



その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○/◎	◎
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」(171ページ)をご覧ください。
また、契約の際に本機を電話回線に接続する必要がある場合は、「インターネット接続用機器/一般電話回線に接続する」の「一般の電話回線につなぐときは」(26ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。
なお、本機のコネクタ部分については、「インターネット接続用機器/一般電話回線に接続する」(26ページ)でご確認いただけます。

インターネットに接続できないときは…

インターネット接続ができないときは、次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります（80ページ）。

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。本機とLANケーブルやテレホンコードの接続は26ページをご覧ください。

❑「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、インターネットに関する情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。

- 使いかたについては
  [バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[インターネット／電子メール]の順にクリックして表示された情報をご覧ください。
- モデムがダイヤルしないなど、困ったときは
  [Q&Aで調べる]をクリックして表示された項目から「インターネット／ネットワーク」→「インターネット接続」の各項目や[インターネット閲覧]をクリックして表示された情報をご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、48ページをご覧ください。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

「Windowsを準備する」（42ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

Windows XPサービスパック関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。
  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号:（0466）30-3016
受付時間:平日 10:00 ～ 20:00
土・日・祝日 10:00 ～ 17:00

増設する

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

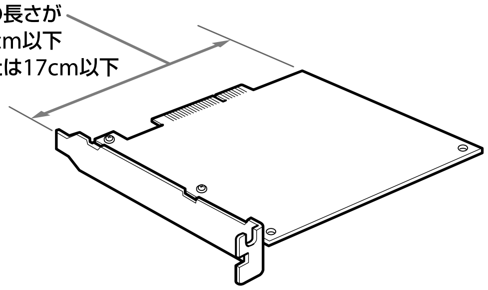
❑ 拡張ボードの種類

本機では「PCI」および「PCI Express x4」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格およびPCI Express x4規格に対応していることをご確認ください。
本機には、PCI規格に対応した空きスロット（拡張ボードを増設できる場所）が1か所、PCI Express x4規格に対応した空きスロットが1か所あり、それぞれの規格に対応した拡張ボードを1枚ずつ取り付けることができます。

ヒント
PCI Express x4スロットにはPCI Express x1およびPCI Express x2規格に対応した拡張ボードを取り付けることもできます。

❑ 空きスロットに取り付けられる拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、31cmまでです。ただし、PCIスロット2（電源側）は17cmまでです。



❑ 増設できる拡張ボードについて

ご購入されるメーカーまたは販売店にお問い合わせください。VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

❑ ドライバについて

拡張ボードが本機に認識されると、メッセージが表示されて、ドライバのインストールや設定が必要になる場合があります。拡張ボードの取扱説明書などをご覧になり、画面の指示に従って操作してください。
ドライバとは、どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付けるには

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

！ご注意

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が壊れることがあります。

- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

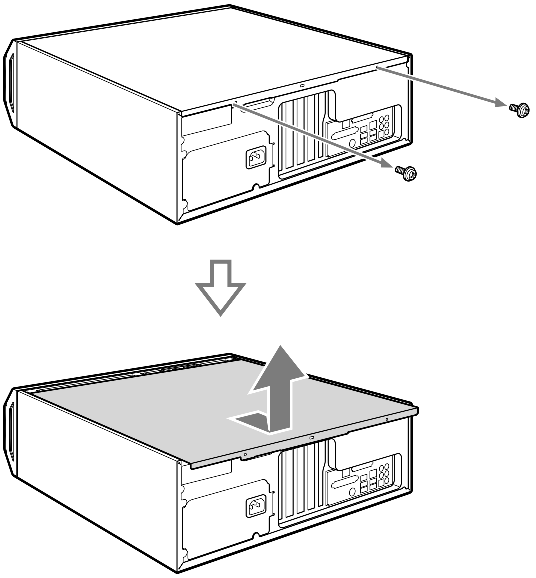
1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

！ご注意
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2　メインユニットを横にして置く。

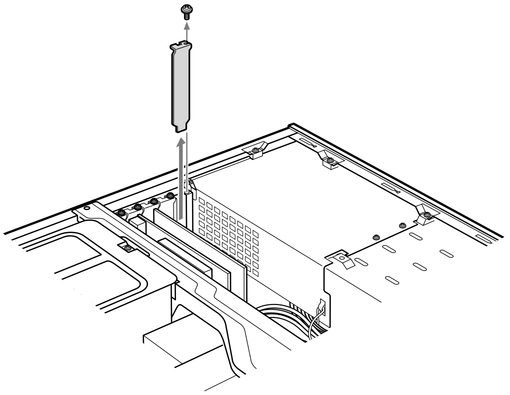
3　カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせます。



4　拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずします。

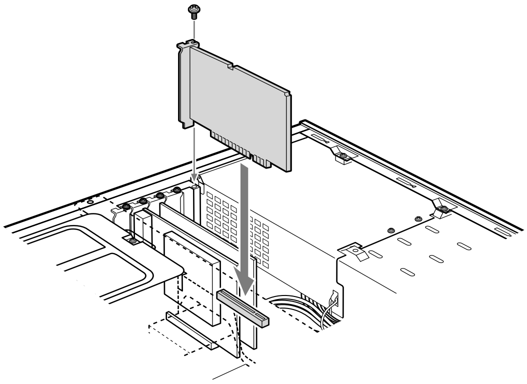


！ご注意

- 内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。
- イラストは、実際のものと一部異なる場合があります。

5　拡張ボードを取り付ける。

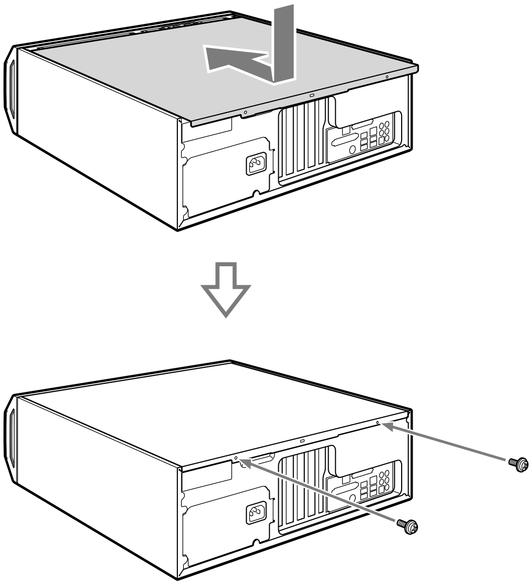
拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。



！ご注意

拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

6　カバーを取り付ける。



カバーを取り付け、後面のネジをとめます。

7 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設するときのご注意

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

！ご注意

- **メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。**
- **メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。**
- **ソニー製のメモリを購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。**
- **本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっておりやけどをするおそれがあります。**
- **ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。

有償でメモリを増設するには

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）で画面右側から有償サービスの項目を選んで表示される画面よりご依頼ください。

VAIOカスタマー修理窓口、または販売店でもメモリの増設サービス（有料）をご依頼いただけます。

詳しくは、「VAIOカスタマイズサービス」（166ページ）をご覧ください。

取り付けられるメモリモジュール

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4か所あり、最大3Gバイトまで増設することができます。
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。

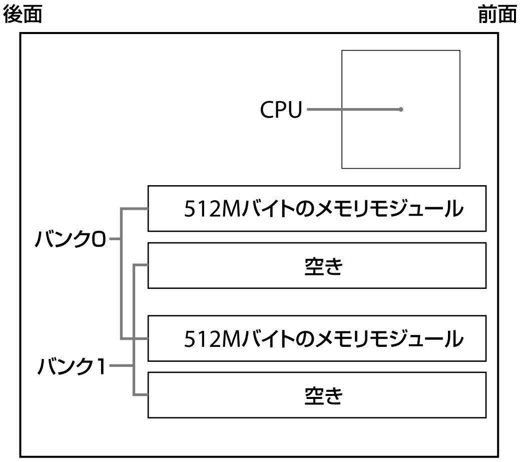
!ご注意

取り付けるメモリモジュールは、以下のサービスにて提供しています。以下のサービスのご利用にはMy Sony IDもしくはVAIOカスタマー IDが必要となります。

- VAIO カスタマイズサービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/
  – 本機をお預かりし、ソニーでメモリモジュールを増設したあとに返却するサービスです。
- 部品提供サービス
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/index.html
  – 所有の機種に応じた部品や付属品の一部を有償で送付するサービスです。お客様ご自身でメモリモジュールを増設できます。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4か所あります。
本機のメモリスロットは2か所のバンクに分かれていますので、メモリを増設するときは、以下の点にご注意ください。

- メモリを取り付ける場合には必ずバンク0から取り付けてください。
- 同一バンク内の各スロットには同じ容量のメモリモジュールを取り付けてください。
- 取り付けるメモリモジュールは、すべて同じスピードのメモリモジュールを取り付けてください。
- メモリモジュールは2枚1組で取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。



増設後の容量は以下の表のとおりです。

❑ 推奨増設一覧表

総容量	標準 バンク0	増設 バンク1	スピード（メモリ帯域幅理論値）
標準（1024Mバイト）	512Mバイト ×2 DDR2 667	-	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル
2048Mバイト	512Mバイト ×2 DDR2 667	512Mバイト ×2 DDR2 667	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル
3072Mバイト	512Mバイト ×2 DDR2 667	1Gバイト×2 DDR2 667	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

!ご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント

デュアルチャンネルとは、同じスピードで同じ容量のDDRメモリを2枚1組で装着することによって、64ビット幅DDRメモリインターフェイスを2チャンネル、合計128ビット幅のデュアルチャンネルDDRメモリインターフェイスを実現し、128ビットアクセス転送を行い、2倍のメモリ帯域幅を実現した技術です。

メモリを取り付けるには

!ご注意

メモリモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  – 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  – 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  – メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。
- メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。
- 無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

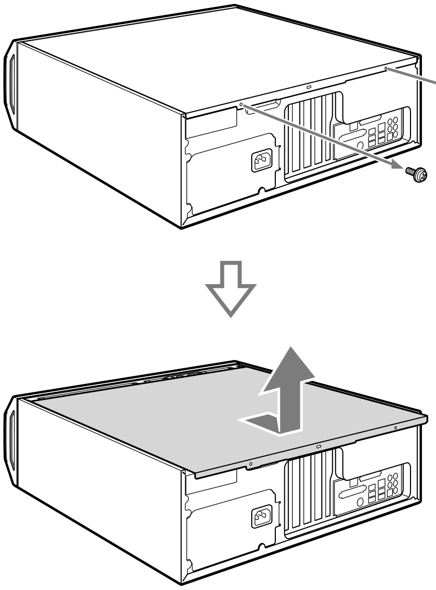
!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部やメモリモジュールが熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 メインユニットを横にして置く。

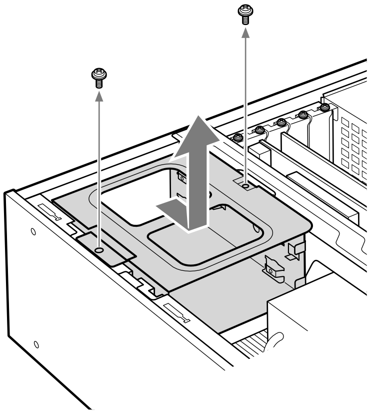
3 カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせます。



4 拡張ケースを取りはずす。

ネジをはずして拡張ケースを取りはずします。



5 メモリモジュールを梱包から取り出す。

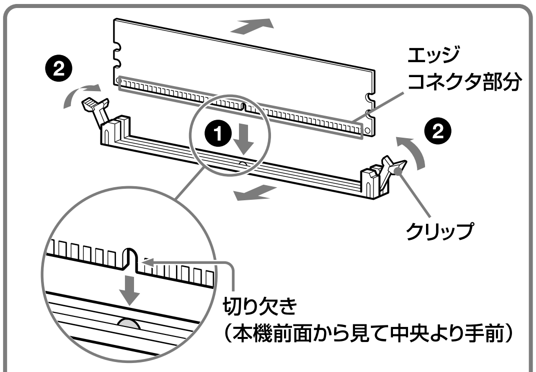
本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

6 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

❶ 次のイラストのとおりに、切り欠き方向に注意してメモリモジュールをスロットに合わせる。

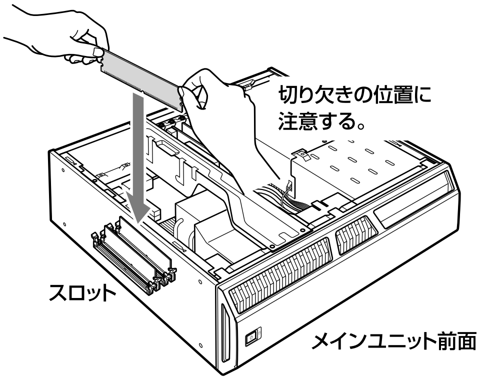
❷ クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。



メモリモジュールの切り欠き部分とスロットのコネクタ部分の突起を合わせる（本機前面から見て、切り欠きは中央より手前にあります）。

取り付けるときは、以下の点にご注意ください。正しい方法で取り付けないと故障の原因となります。

- 切り欠きの位置を確認して正しい方向に差し込む。
- 垂直に差し込む。
- 両方のクリップが起き上がるまで押し込む。



！ご注意

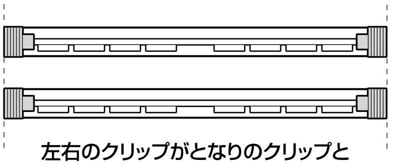
- メモリモジュールは2枚1組で取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。また、同じバンクに取り付ける2枚のメモリモジュールは同じ容量のものをお使いください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際、ハーネスのコネクタが浮くことがあります。ハーネスのコネクタを押して、浮きがないことを確認してください。
- メモリ増設の際には、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。

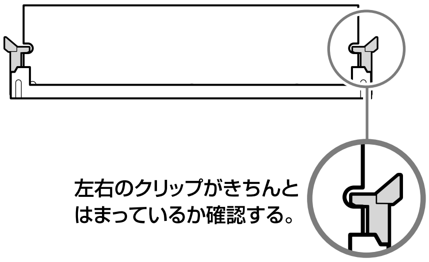
7 メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

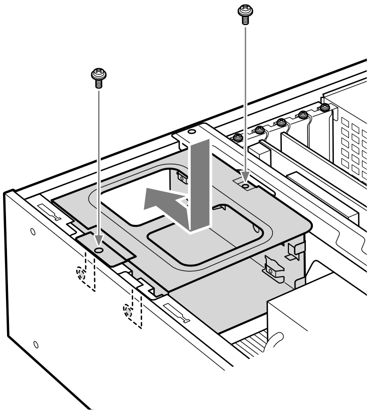
① 左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。

② 左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。

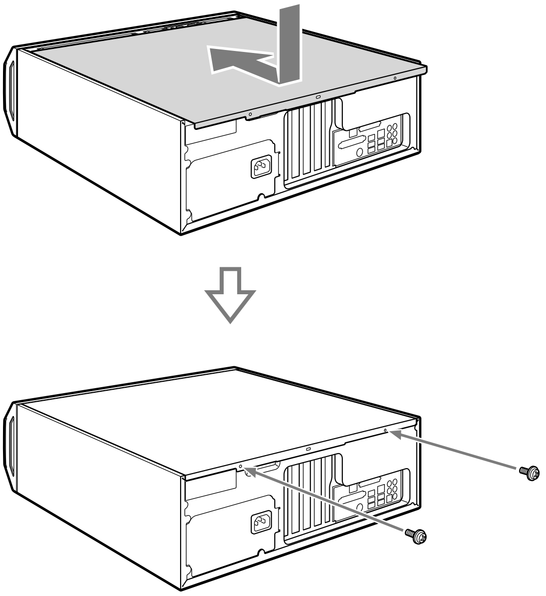




8 拡張ケースを取り付ける。



9 カバーを取り付ける。



カバーを取り付け、後面のネジをとめます。

10 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

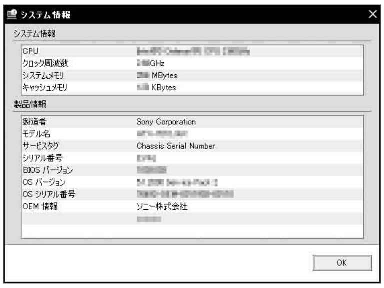
11 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

12 [システム情報]をダブルクリックする。

13 [システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます

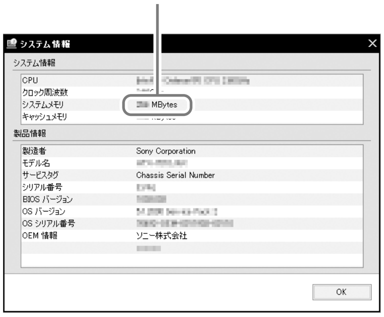


14「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。

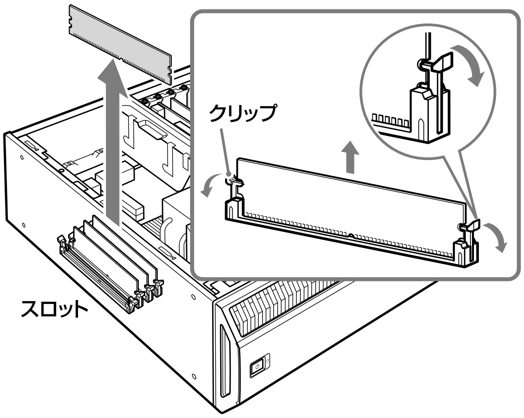
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。



メモリモジュールを取りはずすには

メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。



!ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

ハードディスクを増設する

メインユニット内部のハードディスクドライブベイに、Serial ATA（シリアルATA）に対応したハードディスクを4台まで搭載することができます。

!ご注意

- **ハードディスクの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクを取り付けたり取りはずしたりすると、ハードディスクや本機、周辺機器が壊れることがあります。**
- **電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。**
- **ご自分でハードディスクの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**
- ハードディスクの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。
- ハードディスクの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- ハードディスク増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- ハードディスク増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスク増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- 増設するハードディスクによっては本機で動作しないものがあります。増設について詳しくは、増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 増設するハードディスクによってはi.LINK対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合があります。
- 増設したハードディスクのドライブ文字は、お客様の使用環境により異なります（「ローカル ディスク (E:)」または「ローカル ディスク (F:)」などと表示されます）。また、本機のリカバリを行うと、増設したハードディスクのドライブ文字が変わることがありますので、ご注意ください。
- Do VAIO（ドゥー・バイオ）でテレビ番組を録画すると、出荷時の設定では録画した映像は「D:ドライブ」（機種によって異なります）に保存されます。映像の保存先を増設したハードディスク（「E:ドライブ」など）に変更して、より多くの映像を保存することができます。増設したハードディスクに保存先を変更したあとも、映像の保存先を変更する前のハードディスクに保存しておいた番組を再生したり、削除したりすることができます。なお、i.LINKドライブなどの取りはずし可能なドライブには対応しておりません。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。
- ハードディスクを増設した場合、Boot Volumeの順番が変更され、Windowsが起動しなくなることがあります（125ページ）。

ハードディスクを増設するには

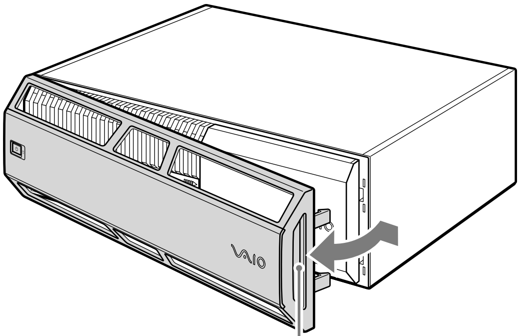
メインユニット内部のハードディスクドライブベイにSerial ATA（シリアルATA）に対応したハードディスクを4台まで搭載することができます。
ハードディスクを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。次の手順に従ってハードディスクを取り付けます。
増設するハードディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 メインユニットの前面パネルを取りはずす。

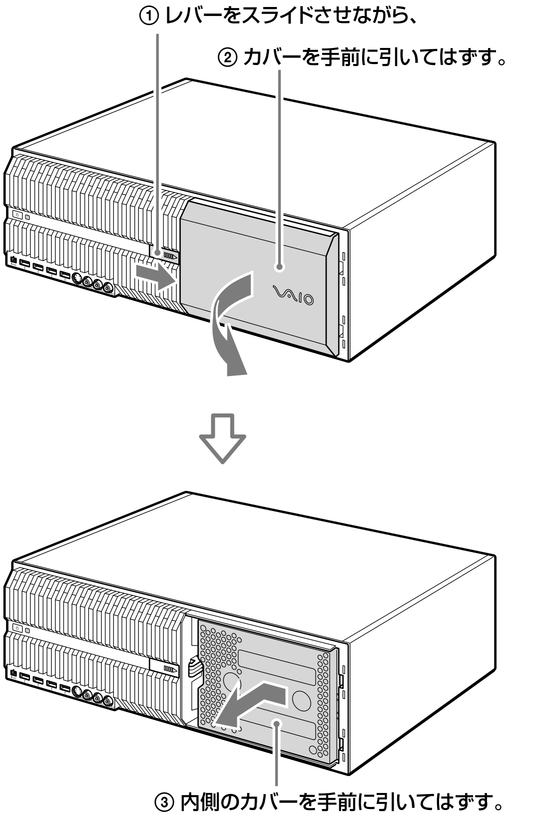


前面パネルの右端を手前に引く。

!ご注意

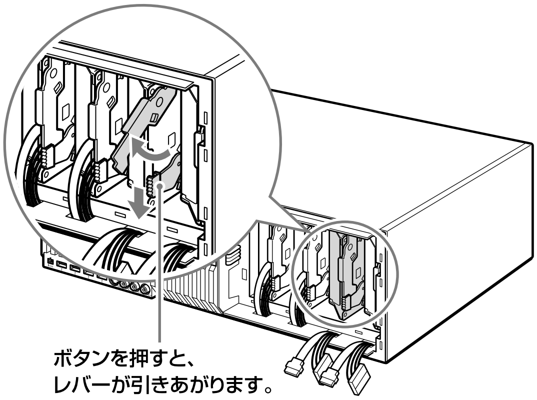
前面パネルをはずすとき、回転させすぎると左側のツメが折れる恐れがあります。前面パネルをはずすときは、右側の凹みを押した状態で手前に引きます。

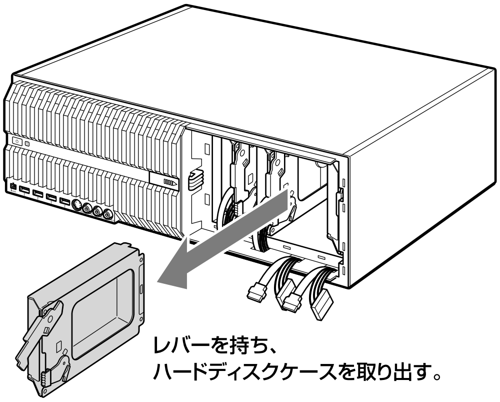
3 カバーを取りはずす。



4 ハードディスクケースを取り出す。

ボタンを押してレバーを引き、ハードディスクケースを取り出します。



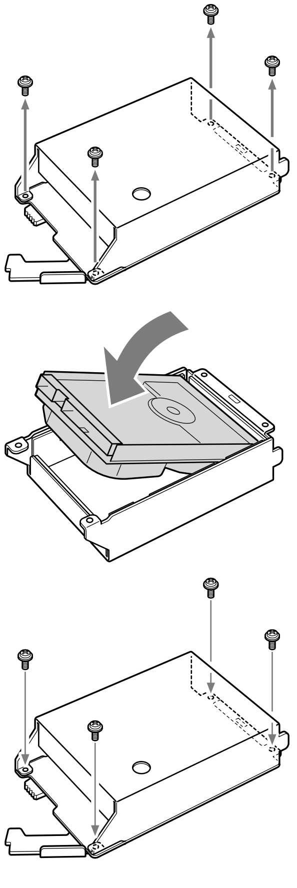


!ご注意

ハードディスクケースを取り出すとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

5 増設するハードディスクをハードディスクケースに入れる。

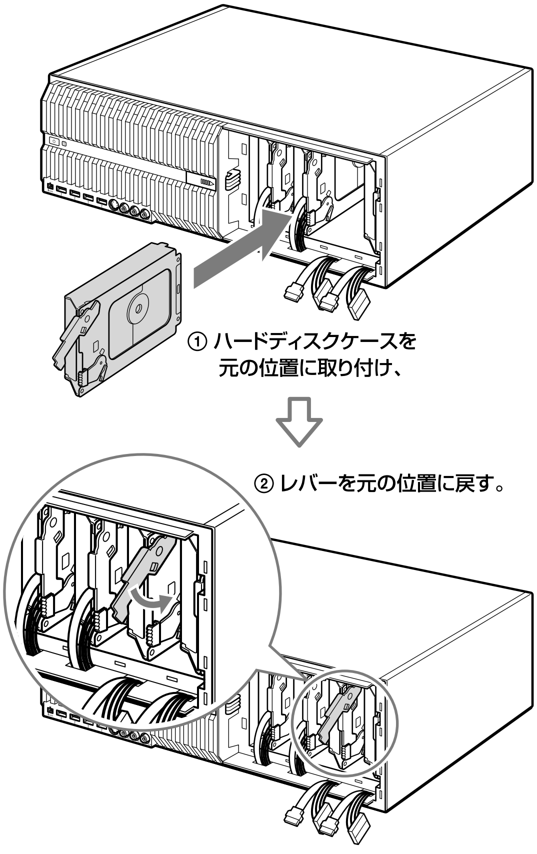
ハードディスクケースのネジをはずし、ハードディスクを入れ、再度ネジをとめます。



!ご注意

ハードディスクケースからハードディスクを取り出す場合、ハードディスクケースの穴（放熱穴）にドライバー等を挿して取り出さないでください。

6 ハードディスクケースを元の位置に取り付ける。



!ご注意

- ハードディスクケースを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。
- ハードディスクケースを取り付けるときは、レバーを開けた状態のまま取り付け、取り付けたあと、レバーを閉じてください。

7 ケーブル類をお買い上げ時に搭載のハードディスクおよび増設したハードディスクの両方に接続する。

シリアルATA専用電源ケーブルとシリアルATAケーブルは必ず取り付けてください。なお、シリアルATAケーブルは本機に内蔵する専用ケーブルで接続するハードディスクとの対応関係が次の表のとおりになるように接続してください。

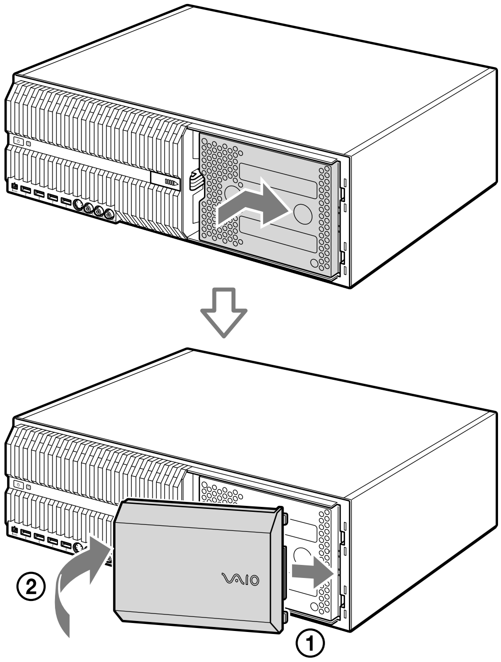
ハードディスクの取り付け位置とPORT（Serial ATA）コネクタの対応

本機に内蔵する専用ケーブル	増設するハードディスク
DRIVE0	ドライブベイの右端
DRIVE1	ドライブベイの右から2番目
DRIVE2	ドライブベイの左から2番目
DRIVE3	ドライブベイの左端

!ご注意

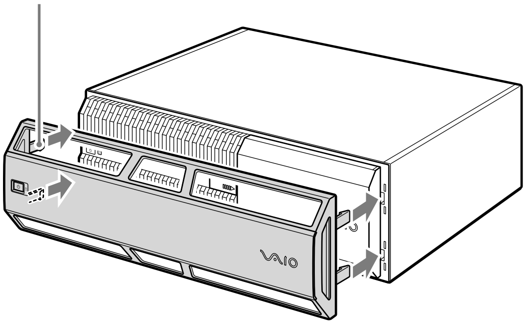
本機の構造上、市販のシリアルATAケーブル(コネクタ部がストレートになっているもの)を使用すると、カバーを開閉した際にカバーが損傷する可能性があります。必ず本機に内蔵の専用シリアルATAケーブルをご使用ください。

8 カバーを取り付ける。



9 メインユニットの前面パネルを取り付ける。

先にこちらのツメを入れてから回転させせながら取り付けます。



!ご注意

前面パネルの上下のツメが入ってるか確認してください。

10 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

増設したハードディスクを使用する前に

ハードディスクを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。
パーティションについて詳しくは、[スタート]ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして「ヘルプとサポートセンター」を表示させ、ディスクの管理の概要などの説明をご覧ください。
なお、増設されたハードディスクは拡張パーティションとして作成され、NTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(38ページ)をご覧ください。

ヒント

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

2 [スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[管理ツール]をクリックする。

「管理ツール」画面が表示されます。

4 (コンピュータの管理)をダブルクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

5 「コンピュータの管理」画面の左側のウィンドウの中の[ディスクの管理]をクリックする。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウに、接続されているディスクのパーティションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクなど、目的のハードディスクがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されます。

6 「記憶域」に表示される増設したハードディスクの[ディスクx] *を右クリックして「ディスクの初期化」を選ぶ。

* ディスクxのx部分は、1、2、3のいずれかが表示されます。

!ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

7 手順6で選んだディスクがチェックされていることを確認して、[OK]をクリックする。

!ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

8 「未割り当て」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しいパーティション]をクリックする。

「新しいパーティションウィザード」画面が表示されます。

9 ［次へ］をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

10 ［拡張パーティション］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

！ご注意

作成するパーティションは必ず［拡張パーティション］を選んでください。［プライマリパーティション］を選んだ場合は、ソフトウェアの動作に不具合が生じます。

11 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、［次へ］をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が表示されます。

12 ［完了］をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。
「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウで、パーティションの設定を行ったハードディスクの表示が「未割り当て」から「空き領域」に変わります。

13 「空き領域」の部分を右クリックして、表示されるメニューから［新しい論理ドライブの作成］をクリックする。

「新しいパーティションのウィザードの開始」画面が表示されます。

14 ［次へ］をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

15 ［論理ドライブ］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

16 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、［次へ］をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

17 「ドライブ文字の割り当て」を をクリックしてリストから選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

18 「フォーマット」の各項目を以下のように設定し、［次へ］をクリックする。

使用するファイルシステム：NTFS
アロケーションサイズ：既定値
ボリュームラベル：ボリューム
「新しいパーティションのウィザードの完了」画面が表示されます。

19 ［完了］をクリックする。

パーティションの設定を行ったハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットの状況は「コンピュータ管理」画面の右側のウィンドウにパーセントで表示されます。

フォーマットが終わると、増設したハードディスクが使えるようになります。

ヒント

ハードディスクを増設したあとに、RAID構成を変更することもできます。
詳しくは、「RAID構成を変更してリカバリする」（113ページ）をご覧ください。

！ご注意

- ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［バイオの設定］をクリックし、［電源・バッテリ］→［電源オプション］の順にダブルクリックすると表示される「電源オプションのプロパティ」画面で「ハードディスクの電源を切る」は「なし」に設定してください。
「なし」以外に設定すると、Do VAIOを使って録画を行うとき、録画に失敗することがあります。
- RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、Windowsが起動しない場合があります。この場合は、「よくあるトラブルと解決方法」の「Windowsが起動しない」（125ページ）をご覧ください。

ハードディスクを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

IDEデバイスを増設する

アクセスユニットの拡張デバイスベイにIDEデバイスを1つ増設することができます。

!ご注意

- デバイスの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- デバイスの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- デバイス増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- デバイス増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- デバイス増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張デバイスベイは5インチサイズです。
- アクセスユニットの拡張デバイスベイにはIDEのコネクタが用意されています。増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 増設する機器によっては本機で動作しないものがあります。増設について詳しくは、販売店または増設機器メーカーにお問い合わせください。
- ご自分でデバイスの増設を行い、故障や事故が起きた場合は修理はすべて有償となります。

デバイスを取り付けるには

デバイスを取り付ける際には、アクセスユニットのカバーを取りはずす必要があります。以下の手順に従ってデバイスを取り付けます。
増設するデバイスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

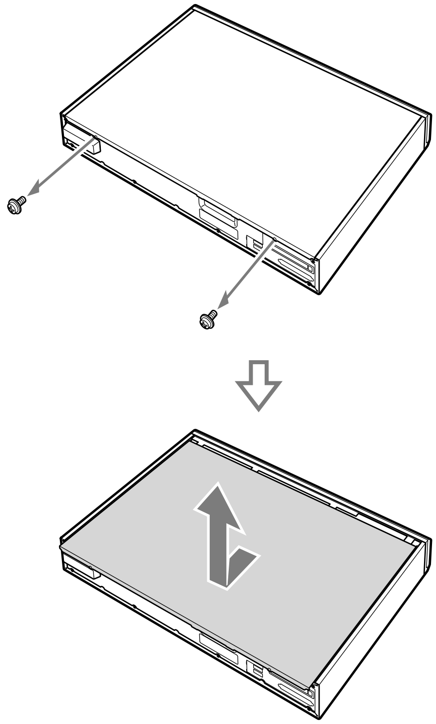
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

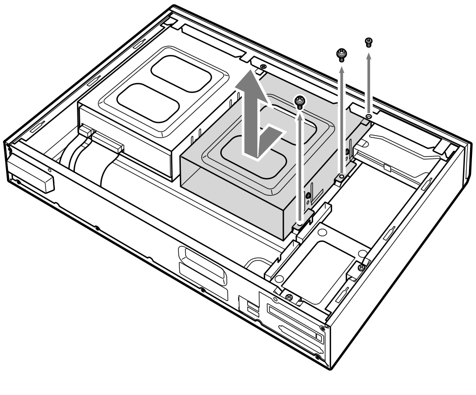
2 カバーを取りはずす。

後面のネジをはずし、カバーをスライドさせてはずします。



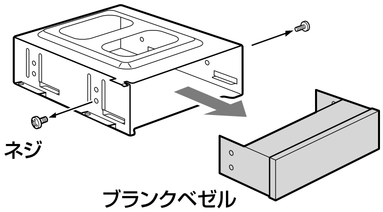
3 拡張デバイスベイを取りはずす。

ネジをはずして拡張デバイスベイを取りはずします。



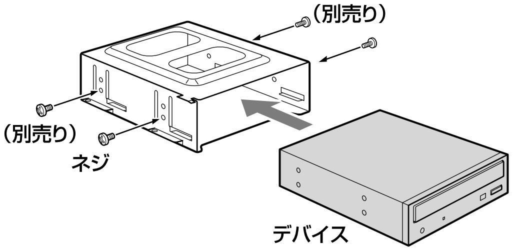
4 拡張デバイスベイからブランクベゼルを取りはずす。

ネジをはずして拡張デバイスベイからブランクベゼルを取りはずします。



5 拡張デバイスベイに増設するデバイスを取り付ける。

拡張デバイスベイに増設するデバイスをネジで固定します。



！ご注意

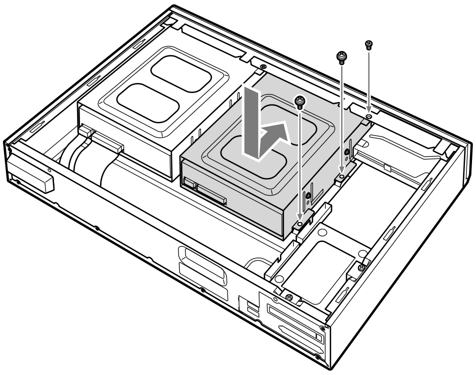
後方の2か所のネジ穴をとめるネジは本機には付属していません。購入したハードディスクに付属しているネジ、または別売りのネジをご使用ください。

ヒント

取り付けかたについて詳しくは、増設する機器の取扱説明書をご覧ください。

6 拡張デバイスベイを取り付ける。

アクセスユニットに拡張デバイスベイを取り付け、ネジをとめます。



!ご注意

- ハードディスクドライブとDVDスーパーマルチドライブを同一のIDEコネクタに接続しないでください。
- 出荷時に搭載されているDVDスーパーマルチドライブはMASTER(マスター)に設定されています。
- 取り付けるデバイスでIDEケーブルをはさまないように、ケーブルを後ろにずらしてからデバイスを取り付けてください。

ヒント

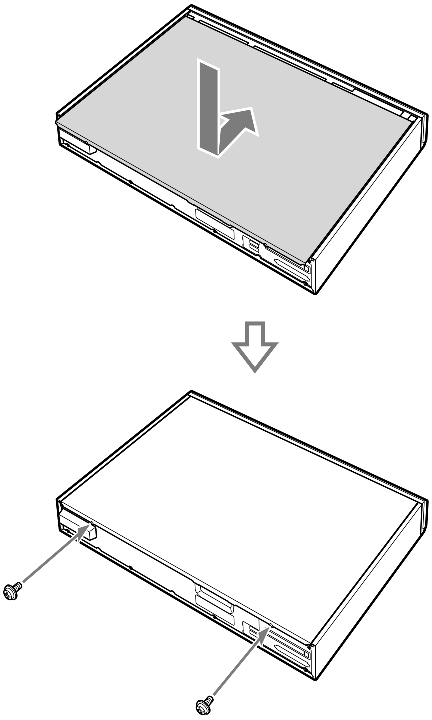
増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE(スレーブ)に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
デバイスの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

7 IDEケーブルと内蔵機器用の電源ケーブルを増設したデバイスに接続する。

!ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

8 カバーを取り付ける。



!ご注意

取り付けたデバイスによっては、次のような状態になることがあります。

- イジェクトボタンが押せない、または押しっぱなしになる。
- ディスクドライブのトレイが引っかかる、または出てこない。

デバイスを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

リカバリする

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、次の流れに従って行います。

1 リカバリの準備（バックアップ／BIOS）
データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 100ページ

↓

2 リカバリする
自分の目的に合った方法でリカバリします。 106ページ

↓

3 バックアップしたデータを戻す
リカバリの前にバックアップしておいたデータを元に戻します。 102ページ

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。

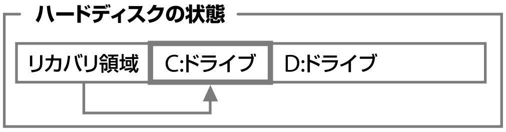
目的	方法
本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻したい：C:ドライブのみをリカバリする	Windowsからリカバリする 106ページ
本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻したい：全ドライブをお買い上げ時の状態へ戻す	本機をお買い上げ時の状態に戻す 109ページ
Windowsが起動しなくなったときの対処	Windowsが起動しない状態でリカバリする 109ページ
パーティションサイズを変更する	パーティションサイズを変更する 111ページ
リカバリ領域を作成／削除する：リカバリ領域を作成する	本機をお買い上げ時の状態に戻す 109ページ／Windowsが起動しない状態でリカバリする 109ページ
リカバリ領域を作成／削除する：リカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する 112ページ

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

- **C:ドライブをリカバリする**
  - Windowsからリカバリする
  - Windowsが起動しない状態でリカバリする

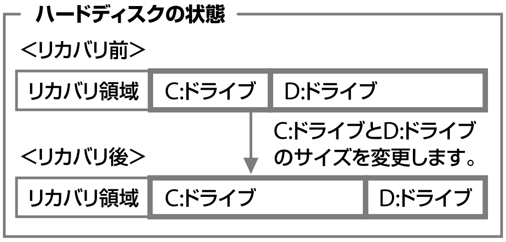
  C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。



※C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。

- **パーティションサイズを変更してリカバリする**

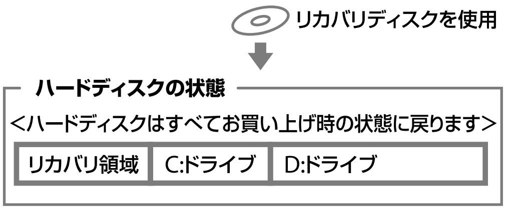
  現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。



※C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

- **お買い上げ時の状態へリカバリする**

  現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。

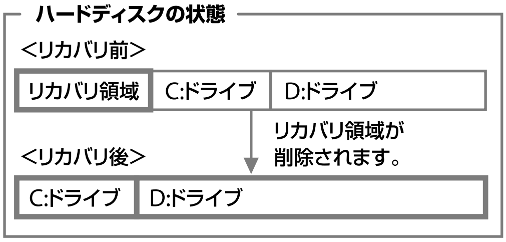


※C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

- **ハードディスク上のリカバリ領域を削除する**

  リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。



※C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備(バックアップ／ BIOS)

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用する。

  [スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]→[HD革命 BackUp(バンドル版)]の順にポインタを合わせ、[HD革命 BackUp 起動(ココから始める)]をクリックして起動します。ドライブ全体のバックアップ、またはファイル・フォルダ単位でのバックアップのどちらかを選択してバックアップが行えます。更に、ファイル・フォルダ単位でのバックアップでは、「電子メールのデータ」「マイドキュメント」などを手軽に指定できる手順が用意されています。操作方法などについて詳しくは、本ソフトウェアの起動後にヘルプをご覧ください。
- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R ／ CD-RWにコピーする。
- DVDライタブルメディアにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」(106ページ)の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ヒント

ここでは、DVD+R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R DL ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ツール]メニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

3 [メンテナンス]タブをクリックし、[保存フォルダ]をクリックします。

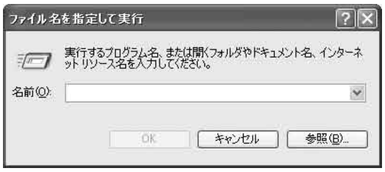
「保存場所」画面が表示されます。

4 「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。

5 再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。

6 [スタート]ボタンをクリックして[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



7 「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックします。
- CD-R ／ CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD ／

DVD]→「CDに保存」の[CDにデータを保存する]または[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD ／ DVD]→「DVDに保存」の[DVDにデータを保存する]の順にクリックする。)
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
また、録画したビデオ映像のデータ(アナログテレビチューナー搭載モデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

!ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R ／ CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、次のように操作します。

1 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。

BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

2 F5キーを押す。

「Load Defaults?(Y/N)」というメッセージが表示されます。

3 Yキーを押す。

4 F10(Save and Exit)キーを押す。

「Exit Saving Changes?(Y/N)」というメッセージが表示されます。

5 Yキーを押す。

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- 専用のUSBフロッピーディスクドライブ(別売り)を取り付けている場合は、取りはずしてください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- **本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。リカバリを行った場合は、OSのライセンス認証は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office PersonalまたはOffice Professional Enterpriseのライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります(「Microsoft Office」ソフトウェアプリインストールモデルをお使いの方のみ)。**
- **BIOSのパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。絶対にBIOSのパスワードを忘れないでください。**

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。
バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用してバックアップしたデータは、同ソフトウェアを使用して元に戻します(元に戻すことを「復元」といいます)。復元方法について詳しくはヘルプをご覧ください。

ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2 ［ファイル］メニューから［インポート］→［メッセージ］の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、［Microsoft Outlook Express 6］をクリックし、［次へ］をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 ［Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする］の○をクリックして◉にし、［OK］をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 ［参照］をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して［OK］をクリックし、［次へ］をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 ［すべてのフォルダ］の○をクリックして◉にし、［次へ］をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 ［完了］をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。
リカバリディスクは、ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリするときや、ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除するときに必要です。

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
※マイサポーターからお申し込みいただくには
VAIOカスタマー登録が必要です（51ページ）。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD+RやDVD-R、CD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスク上のデータが破損した（Windowsが起動しない）など、お買い上げ時の状態に戻したいときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 次のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。
  - パーティションを操作するソフトウェアを使用する
  - お買い上げ時以外のOSをインストールする
  - VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

  このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは
ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

ヒント
リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

1　[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2　[リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されます。

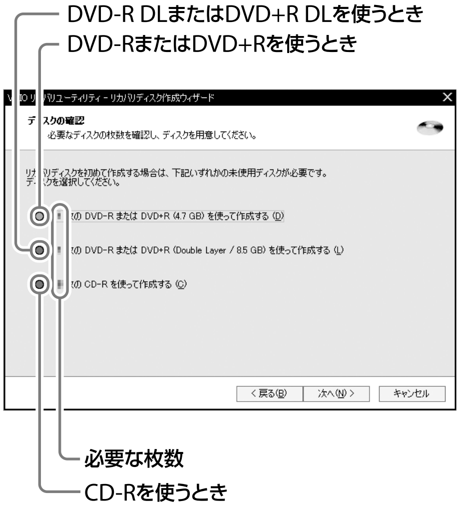
3　内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4　使用するディスクを選択する。

DVD-RまたはDVD+Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のDVD-RまたはDVD+R（4.7GB）を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
DVD-R DLまたはDVD+R DLのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[1枚のDVD-R

またはDVD+R(Double Layer ／ 8.5GB)を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のCD-Rを使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。



！ご注意

- お使いの機種によってはCD-Rを使ってリカバリディスクを作成できないものもあります。
- 複数のディスクドライブが接続されている場合、「ディスクドライブの確認」画面が表示される場合があります。利用するディスクドライブを選択してください。
- Blu-ray Disc ／ DVD+RW ／ DVD-RW ／ DVD-RAM ／ CD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

リカバリディスク作成用に必要なディスクの枚数は、手順4の画面で確認できます。
「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

5 [作成開始]をクリックする。

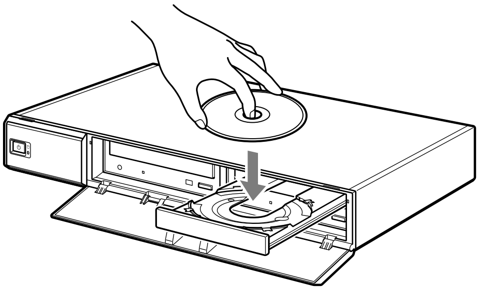
ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

リカバリディスクの作成が始まります。
未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 指示されたディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

① ディスクをトレイの中央に置く。



② ディスクトレイを軽く押して、トレイを閉める。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

ヒント

画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。
ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

7 画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」画面が表示されます。

！ご注意

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

8 [OK]をクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、次の手順で操作します。Windowsが起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(109ページ)をご覧ください。

!ご注意

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください(100ページ)。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

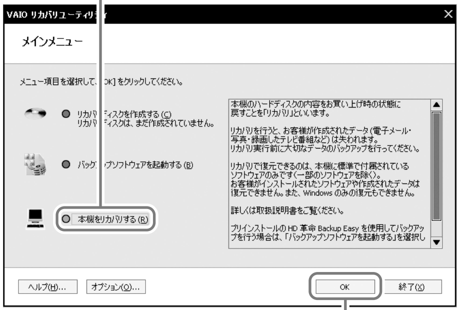
「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント

「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(109ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

① ここをクリックする。



② ここをクリックする。

バックアップされているかどうかの確認画面が表示されます。

ヒント

「HD革命/BackUp」ソフトウェアを使用してデータのバックアップを行う場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

3 [はい]をクリックする。

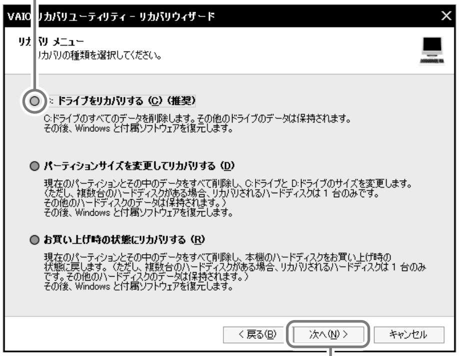
「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C:ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

① ここをクリックする。



② ここをクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 画面の内容を確認し、[リカバリ開始]をクリックする。

「リカバリを開始してもよろしいですか?」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

リカバリを中止するときは、[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。
本機が再起動して、しばらくすると「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。

8 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、(ポインタ)だけがしばらく表示されていますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(42ページ)の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「「アプリケーションリカバリ」を行います。」画面が表示されます。

!ご注意

Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。
この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

ヒント

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

11 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、アプリケーションのインストールを開始します。

ヒント

途中でディスクを挿入するようメッセージが表示された場合は、ドライブにディスクを入れてください。

12 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がプリインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

❑ Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

Office Personal 2003プリインストールモデルをお使いの場合

「Office Personal 2003 のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でOffice Personal 2003をインストールする。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合

「Office Professional Enterprise 2003のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Professional Enterprise 2003プレインストールパッケージ」でOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
② 「インストールの種類」画面が表示されたら、[完全インストール]の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。
③ 「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。
④ 「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスを□にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、[ヘルプ]メニューの[更新のチェック]をクリックする。
② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。
③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

ヒント

本機では、「C:￥Program Files ￥Office11 ￥SP2」にOffice 2003 Service Pack 2のインストール用プログラムが保存されています。リカバリ時にOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行うと自動で「Office 2003 Service Pack 2」はインストールされますのでお客様がインストールする必要はありません。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は、手順15に進んでください。

14 Office Personal 2003プレインストールパッケージで、Microsoft(R) Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Microsoft(R) Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
② 「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
③ 「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。
④ 「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。
⑤ 「Microsoft(R) Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

Office Home Style+のインストールが完了しました。

15 「Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行います」画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

16 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

これでリカバリが完了しました。

17 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：（0120）801-734

受付時間：24時間受付

！ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（79ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、次の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成（104ページ）している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。

1 電源ボタンを押して本機の電源を入れ、「VAIO」ロゴが表示されたあと、F10キーを押す（起動には数分かかる場合があります）。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクでもリカバリウィザードを起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

!ご注意

- キーボードが正しく接続されているか確認してください（24ページ）。
- F10キーを押しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合には、間をおきながら押す（連続して押す）操作をお試しください。
- ハードディスクを増設した場合など、RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、F10キー押しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合があります。増設したハードディスクを取りはずしてお試しください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスク）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  （［ソフト紹介／問い合わせ先］→［サポート・ヘルプ］→［VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2］の順にクリックする。）
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」（109ページ）をご覧ください。
- リカバリ領域を削除している方は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

2 内容をよく読み、［次へ］をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3 「Windowsからリカバリする」（106ページ）の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、次の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（38ページ）をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」（39ページ）をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

!ご注意

- ［RAID構成変更］をクリックすると、RAID構成を変更するための画面が表示されます（113ページ）。RAID構成を変更する必要がない場合は、［RAID構成変更］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  （［ソフト紹介／問い合わせ先］→［サポート・ヘルプ］→［VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2］の順にクリックする。）

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

11 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

12 「Windowsからリカバリする」(106ページ)の手順9以降の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。Windows OSやプリインストールソフトウェアはC:ドライブに保存されており、D:ドライブ（機種によって異なります）は、「SonicStage」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェア、Do VAIO（アナログテレビチューナー搭載モデル）などで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（お買い上げ時）。

本機のハードディスクのパーティションサイズについて

下記の「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより現在のパーティションサイズを確認することができます。確認後［キャンセル］をクリックしてください。
お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます（112ページ）。
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまうので、本機のご使用前にこれらの操作を行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

次の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
  バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ（アナログテレビチューナー搭載モデル）は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ（お買い上げ時の設定ではD:ドライブ（機種によって異なります））に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ（お買い上げ時の設定ではD:ドライブ（機種によって異なります））をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

1 **「Windowsからリカバリする」（106ページ）の手順1 ～ 4を行う。**

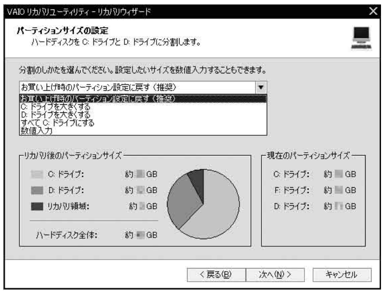
「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 **［パーティションサイズを変更してリカバリする］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。**

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 ハードディスクの分割のしかたを、▼をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント

「数値入力」を選択すると、指定された範囲のサイズを入力することができます。

!ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合にはバックアップソフトをご使用できなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを少なくした場合には、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。データ保存ドライブの変更方法は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 「Windowsからリカバリする」(106ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

次の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- 「リカバリディスクを作成するには」(104ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(38ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(39ページ)をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  ([ソフト紹介／問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2]の順にクリックする。)

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

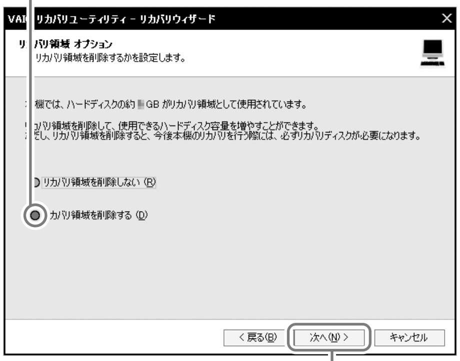
「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7 ［リカバリ領域を削除する］を選択してクリックし、［次へ］をクリックする。

① ここをクリックする。



② ここをクリックする。

「リカバリ領域を削除するように設定します。」画面が表示されます。

8 ［はい］をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 ［次へ］をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」（106ページ）の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

RAID構成を変更してリカバリする

RAIDとは

RAID（Redundant Arrays of Independent Discs）とは、複数のハードディスクを使用して、1台のハードディスクとして管理する技術のことです。
本機では、2台のハードディスクを使用したRAID 0およびRAID 1と、4台のハードディスクを使用したRAID 5およびRAID 10をサポートします。RAID 0、RAID 1、RAID 5およびRAID 10のいずれを使用するかは、お客様の用途に応じて使い分けてください。

！ご注意

ハードディスクが4台搭載されていないと、RAID 5およびRAID 10を使用することはできません。

種類	説明
ストライピング（RAID 0）	2台のハードディスクに均等にデータを振り分け、同時並行で記録する方式です。 **メリット：** データの読み書きを高速化できます。 **デメリット：** 片方のハードディスクが破損するとデータ全体が失われるため、1台のハードディスクに記録するのと比べて、信頼性が低下します。
ミラーリング（RAID 1）	2台のハードディスクに同じデータを同時に書き込む方式です。 **メリット：** 片方のハードディスクが破損しても、もう一方のハードディスクからデータを読み出せるので、システムは問題なく稼動し続けることができます。 **デメリット：** 両方のハードディスクに同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量の半分になります。

種類	説明
パリティ付きストライピング（RAID 5）	複数（4台）のハードディスクへデータを振り分け、同時並行で記録する方式です。ハードディスク1台分の容量を パリティ情報（データ検査符号）として使用し、データの冗長性を持たせています。 **メリット：** 1つのハードディスクが破損しても、他の3つのハードディスクからデータを復元し読み出せるので、システムは問題なく稼動し続けることができます。 **デメリット：** データを書き込む際に発生するパリティ計算のため、書き込み速度は速くはありません。ハードディスク1台分の容量をパリティ情報として使用するため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量（4台分）からハードディスク1台分の容量を引いた容量（3台分）になります。
RAID 0+1（RAID10）	4台のハードディスクを使用し、RAID 0とRAID 1を組み合わせた方式です。 **メリット：** ストライピング（RAID 0）の高速化とミラーリング（RAID 1）のデータ二重化の両方のメリットをあわせもちます。 **デメリット：** 両方のハードディスクに同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量の半分になります。

RAID構成を変更する（RAID 10以外）

RAID構成を変更する場合（RAID 10以外）は、次の手順に従います。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（38ページ）をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」（39ページ）をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

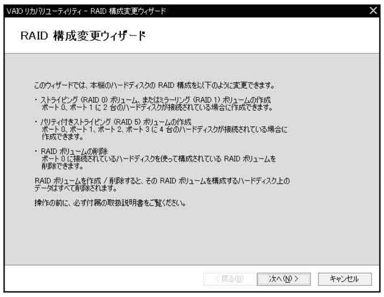
！ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスク）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  （［ソフト紹介／問い合わせ先］→［サポート・ヘルプ］→［VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2］の順にクリックする。）

4 ［RAID構成変更］をクリックする。

「RAID構成変更ウィザード」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、［次へ］をクリックする。



「現在のRAID構成確認」画面が表示されます。

6 現在のRAID構成を確認し、[次へ]をクリックする。

「RAID構成変更メニュー」画面が表示されます。

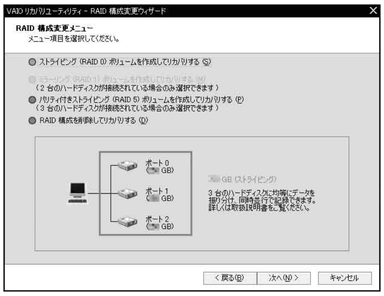
ヒント

ポート0/1、ポート2/3の組み合わせでのRAID構成が推奨です。

7 RAID構成の種類を選択して、[次へ]をクリックする。

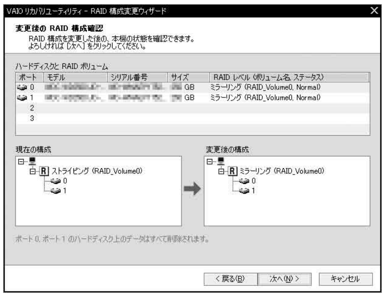
ヒント

複数台のハードディスクを搭載したモデルをお買い上げのお客様は、本機に同梱している、選択された仕様を記載した印刷物をご覧になり、お買い上げ時の設定をご確認ください。



「変更後のRAID構成確認」画面が表示されます。

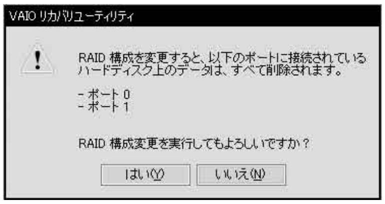
8 変更後のRAID構成を確認し、[次へ]をクリックする。



!ご注意

RAIDのボリューム名は作成時に自動的に設定されます。英数字とアンダーバーのみを使用し、16文字以内となります。使用できない文字に変更した場合、不具合が出る場合があります。

9 [はい]をクリックする。



「RAID構成を変更しています。しばらくお待ちください。」というメッセージが表示され、RAID構成の変更が開始されます。

RAID構成の変更が完了すると、「RAID構成の変更が完了しました。」という画面が表示されます。

10 [再起動]をクリックします。

終了確認の画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

本機をセットアップする
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
インターネット
増設／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／主な仕様／注意事項

11 **再度、「リカバリウィザード」画面が表示されるので、[次へ]をクリックする。**

!ご注意

RAID構成の変更後は、[RAID構成変更]をクリックせず、[次へ]をクリックして手順を進めてください。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

12 **「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(109ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。**

RAID構成をRAID 10に変更する

RAID構成をRAID 10に変更する場合は、次の手順に従います。

!ご注意

ここで誤った操作を行うとそれ以前あったデータがすべて失われてしまう可能性があるため、必ず「リカバリディスクの作成」と「バックアップ」を行うようにしてください。RAID 10は4台のハードディスクを必要とするため、4台のハードディスクのデータが失われます。

1 **電源ボタンを押して本機の電源を入れる。**

2 **VAIOロゴ画面でF2キーを押す。**

3 **BIOSセットアップメニューを表示し、AdvancedメニューでRAID Configurationを[Hide]から[Show]に変更する。**

4 **F10キーを押し、Yキーを押して再起動する。**

5 **VAIOロゴ画面でF2キーを押す。**

6 **BIOS Setupが表示される前に「Ctrl+I」を押すメッセージが表示されたら、Ctrlキーを押しながらIキーを押す。**

Option ROMのメニュー画面が表示されます。

7 **"3. Reset Disks to Non-RAID"を選択してリセットしたいハードディスクをスペースキーを押して選択する。**

8 **ハードディスクのデータが消去されることを確認するメッセージが表示されるので、消去することに問題がなければ、Yキーを押す。**

9 **メニュー画面から"1. Create RAID Volume"を選択する。**

10 **Enterキーを1度押し、「RAID Level」にて↓キーを押して「RAID10」を選択しEnterキーを押す。**

!ご注意

RAIDのボリューム名は作成時に自動的に設定されます。英数字とアンダーバーのみを使用し、16文字以内となります。使用できない文字に変更した場合、不具合が出る場合があります。

11 **スペースキーを押して4台のハードディスクを選択して最後にEnterキーを押す。**

12 Enterキーを押し、「Create Volume」を選択してEnterキーを押す。

13 ハードディスクのデータが消去されることを確認するメッセージが表示されるので、消去しても問題がなければ、Yキーを押す。

メニュー画面に「RAID Volume: RAID 10」が表示されていれば正常に作成されています。正常に作成されていなければ、手順7からやり直してください。

14 「Exit」を選択してEnterキーを押す。

15 F2キーを押し、BIOSセットアップメニューに入る。

16 F5キーを押し、Yキーを押す。

17 「リカバリディスク」をドライブに入れ「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行う。

18 F10キーを押し、Yキーを押す。

19 「本機をお買い上げ時の状態に戻す」（109ページ）の手順4に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」（120ページ）をご覧ください。

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルで調べる

「バイオ電子マニュアル」の［Q&Aで調べる］をご覧ください。

見るには

［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］をクリックしてください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールでも、ハードウェアをチェックできます。起動するには、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［ハードウェア診断ツール］の順にポインタを合わせ、［ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

Windowsの使いかたや疑問について

「ヘルプとサポートセンターを見る」（143ページ）をご覧ください。

3 インターネットで調べる

「VAIOカスタマーリンクホームページ」で確認できます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンク」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを調べられます。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(144ページ)をご覧ください。

4 電話で問い合わせる

1 〜 3の方法でも問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

平日:10時〜 21時、
土、日、祝日:10時〜 17時

バイオカスタマー登録済みのお客様で、登録された電話番号の発信者番号通知を有効に設定している場合、直接オペレーターにつながります。
詳しくは、「電話で問い合わせる」(157ページ)をご覧ください。

ソフトウェアの使いかたや疑問について

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(168ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、よくあるトラブルと解決方法についての一部をご紹介します。

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（123ページ）

- 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）
- 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- Windowsが起動しない
- 休止状態やスタンバイに移行できない

❑ パスワード（126ページ）

- BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

❑ 画面／ディスプレイ（127ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある

❑ 文字入力／キーボード（128ページ）

- 文字の入力方法がわからない
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない

❑ マウス（129ページ）

- マウスを動かしてもポインタが動かない

❑ ハードディスク（129ページ）

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクから異音がする

❑ CD ／ DVDドライブ（130ページ）

- CD ／ DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

❑ テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）（131ページ）

- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- Do VAIOでテレビの音声が出力されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない
- 録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない
- 予約したのに録画されていない
- 縞状のノイズが多い

❑ 外部機器からの録画（135ページ）

- アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない
- 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）（136ページ）

- FeliCa機能が使えない

❑ エラーメッセージ（137ページ）

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

フロッピーディスクのエラーメッセージ

- フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

その他のエラーメッセージ

- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される
- 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない
- Windows 終了時に「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&Aで調べる]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（37ページ）をご覧ください。

A 電源コードのプラグが本機にしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（21ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

1. 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
2. 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A キーボードが正しく接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（24ページ）をご覧ください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A 「スタート」メニューの［終了オプション］を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、［電源を切る］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、［シャットダウン］メニューから［コンピュータの電源を切る］をクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって動かない」（127ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
② それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください（111ページ）。

A 「CMOS Checksum Bad」と表示される場合、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

A 「CMOS Checksum Error」と表示される場合、BIOSの設定内容が壊れている可能性があります。
次の手順でBIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。
② F5キーを押す。
「Load Defaults?（Y/N）」というメッセージが表示されます。
③ Yキーを押す。
④ F10（Save and Exit）キーを押す。
「Exit Saving Changes?（Y/N）」というメッセージが表示されます。
⑤ Yキーを押す。
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら［OK］をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して［OK］をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／PgUpキーまたは↓／PgDnキーを押して［セーフモード］を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］の順にクリックして表示される画面の［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする。

④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティ画面を表示し、［ドライバ］タブをクリックする。

⑤ ［ドライバのロールバック］をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q Windowsが起動しない

A RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、起動しない場合があります。
このときは、以下の手順に従ってBoot Volumeの設定を変更してください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、Main（メイン）メニュー画面が表示されます。

！ご注意
本機の状態によっては、F2キーを押したあと、ただちにBIOSセットアップメニューが起動しないことがあります。

② ハードディスクを追加した場合やBIOSの設定をリセットした場合に、起動の優先順位が変更されることがあります。 Bootメニュー内の[Hard Drive Order]で、下記のようにハードディスクまたはRAID Volumeが優先順で上から表示されます。

- RAID Volume : RAID Volumeの名前（初期設定では［Volume0］です）
- RAIDではないハードディスク : ハードディスクの型番

［Hard Drive Order］の項目で OSの入っているハードディスクまたはRAID Volumeが1番上にない場合、上になるように設定を変更してください。

Q 休止状態やスタンバイに移行できない

A Do VAIOの起動中は、タイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。(アナログテレビチューナー搭載モデル)
録画中や予約録画開始数分前、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

A StationTV Digital for VAIOの起動中は、タイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。(デジタルテレビチューナー搭載モデル)
録画中や予約録画開始数分前、ディスク作成中は、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

パスワード

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった

A パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、WindowsをSafeモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンすれば、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更できます。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機とディスプレイの電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは、「接続する」(37ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイを正しく接続してください。
  接続について詳しくは、「接続する」(21ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認してください。
- ディスプレイにACアダプタが付属しているモデルをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認してください。付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。
- 電源が入った状態でディスプレイケーブルのプラグを抜き差しした場合は、いったん本機の電源を切ってから、再起動してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
[スタート]ボタンをクリックし、[終了オプション]→[電源を切る]の順にクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

① ここを確認してクリックする。

② ここをクリックする。

② 「Windowsタスクマネージャ」画面の［シャットダウン］メニューから［コンピュータの電源を切る］をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。スタンバイランプが点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A ディスプレイの明るさを調節してください。
ディスプレイの種類によって、明るさ調節の方法が異なります。
詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面に輝点・滅点（黒点）がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［できるWindows for VAIO］をクリックする。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A キーボードが正しく接続されているか確認してください（24ページ）。

A 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上の「Num Lock」ランプが消灯していないかを確認してください。
消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

マウス

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A キーボードとマウスが正しく接続されているか確認してください(24ページ)。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。
① (Windows)キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーまたは↓キーを押して[終了オプション]を選んでEnterキーを押す。
② ↑キーまたは↓キーを押して[電源を切る]を選び、Enterキーを押す。
③ 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。
それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。
① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させる。
② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」(127ページ)をご覧ください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります(99ページ)。

Q　ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A　削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A　Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（99ページ）。

Q　ハードディスクから異音がする

A　OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスクデフラグ］をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A　ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

CD ／ DVDドライブ

Q　CD ／ DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

A　ご使用のディスクがバイオで使用可能なディスクか確認してください。
使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（197ページ）をご覧ください。

A　ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。
ディスクの裏表を、逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
ディスクの挿入方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［CD ／ DVD］→［ディスクを入れる／取り出す］の順にクリックする。）

A　ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

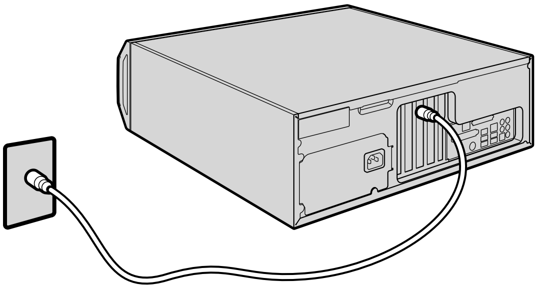
A　バイオでの動作を保証しているドライブかどうかご確認ください。
バイオでの動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）

Q テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。
アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順（30ページ）をご覧ください。



A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。
一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順（30ページ）をご覧ください。

A Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。
次の手順に従って設定を変更してください。

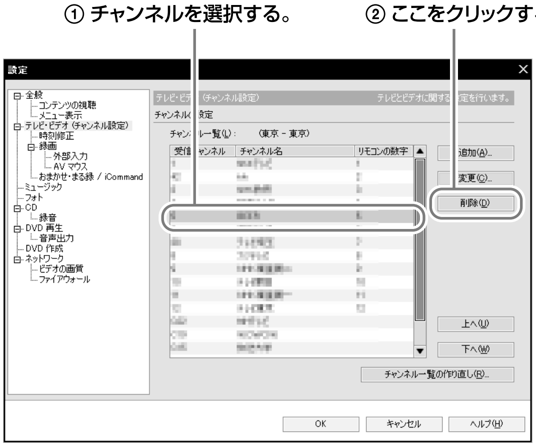
> **！ご注意**
> 「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

一部のチャンネルが映らない場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO 設定］をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、［削除］をクリックする。



④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
選択したチャンネルが一覧から削除されます。

⑤ [追加]をクリックする。
「チャンネルの追加」画面が表示されます。

⑥ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

ヒント
チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。もしご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合には「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3 ～ 6を繰り返し、設定してください。

すべてのチャンネルが映らない場合

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。

ここをクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

ここをクリックする。

⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

⑥ [次へ]をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
[検出に失敗したチャンネルを削除する]のチェックをはずすと、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常はチェックしたままにしておくことをおすすめします。

⑦ [検出に失敗したチャンネルを削除する]がチェックされていることを確認して[完了]をクリックする。

Q Do VAIOでテレビの音声が出力されない

A 「Do VAIO」画面の をクリックし、消音設定を解除してください。

A 「Sound Reality コントロール パネル」画面を確認してください。
次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
② [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
③ [Sound Reality オーディオ]をクリックする。
「Sound Reality コントロール パネル」画面が表示されます。
④ [レベル]タブをクリックする。
⑤ 「レベル」画面で、「マスター」または[WAVE]のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。

A USBスピーカーを使用していないか確認してください。
USBスピーカーでは、Do VAIOのテレビ視聴時の音声や外部入力からの映像を視聴しているときの音声は出力されません。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A Do VAIOでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高（32ビット）に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［画面／ディスプレイ］→［設定］→［ディスプレイの設定を変更する］の順にクリックする。）

Q エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スタンバイ、休止はできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。
録画終了後に再び操作してください。

Q 録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない

A 著作権保護のための信号が含まれている映像を録画しようとすると、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。
放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

Q 予約したのに録画されていない

A 次の場合、AVマウス機能を利用した予約録画（CS・BSチューナーで設定した予約録画）は実行されません。

- Do VAIOで録画予約した番組の録画中（ダブル録画対応モデルでは、両方のチューナーで予約録画が行われる場合）。
- コンピュータにログオンしていないとき。
- ハードディスクの空き容量が足りないとき。
- コンピュータが休止状態のとき。

また、動画を再生したり編集したりする他のプログラムが実行されているとき、CS・BSチューナーで設定した録画予約が実行されないことがあります。

A Do VAIOで設定した録画予約（ダブル録画対応モデルでは、両方のチューナーで予約録画が行われる場合）とAVマウス機能を利用した（CS・BSチューナーで設定した）録画予約が連続している場合、あとから開始する予約録画が行われないことがあります。このような録画予約を行うときは、先に始まる録画予約の終了時刻を早めに設定してください。

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。
スタンバイモード、または休止状態にして待機させてください。

Q 縞状のノイズが多い

A アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

A 分配していないか確認してください。
分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

外部機器からの録画

Q アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A Do VAIOで録画できます。
Do VAIOでの録画方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。
また、ビデオデッキとの接続を確認してください。ビデオデッキの接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→「接続／準備」の[ビデオデッキやCS・BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。
「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[映像]→「DVDを作る」の[撮影した素材からDVDを作る]の順にクリックする。）

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。
ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。
本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面（青い画面など）、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A Do VAIOでチャンネル設定を行っていない場合は、チャンネル設定を行ってください（53ページ）。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCa機能を使用する他のソフトウェアなどが起動しています。
使用していないソフトウェアなどは終了してください。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。
(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。
または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。
キーボードの (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて置いてください。

!ご注意
携帯電話の形状によっては、FeliCa通信ができないことがあります。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。
② [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[FeliCaポート診断ツール]の順にポインタを合わせ、[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 124ページをご覧ください。

フロッピーディスクのエラーメッセージ

Q フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

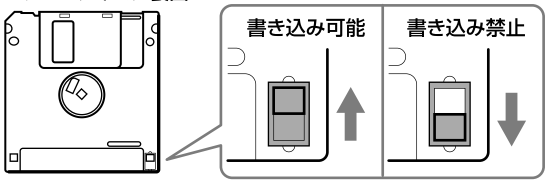
A 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクの容量の空きがありません。

容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直してください。

A 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示されたときは、タブを動かして書き込み可能にしてください。

フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

フロッピーディスク裏面



その他のエラーメッセージ

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示される

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。

次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C: ￥WINDOWS ￥I386」と入力して[OK]をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない

A 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Adobe Reader 7.0]をクリックする。

② 「Adobe Reader-使用許諾契約書」画面が表示されたら、「日本語」を選択し、[同意する]をクリックする。

③ 「Adobe Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の をクリックする。

④ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。

Q Windows 終了時に「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される

A Windows を終了するときや、Windows を再起動するときに、「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示されても、パソコンの動作に影響はありません。

詳しくは「Norton Internet Security(TM)」の製造元であるシマンテック社（172ページ）で情報が公開されていますのでご確認ください。

VAIOの最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」を利用する

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

ヒント

VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

！ご注意

- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示されたときに当バルーンをクリックする、もしくは［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［VAIO Update 2］→［VAIO Updateの設定］をクリックすることにより設定できます。

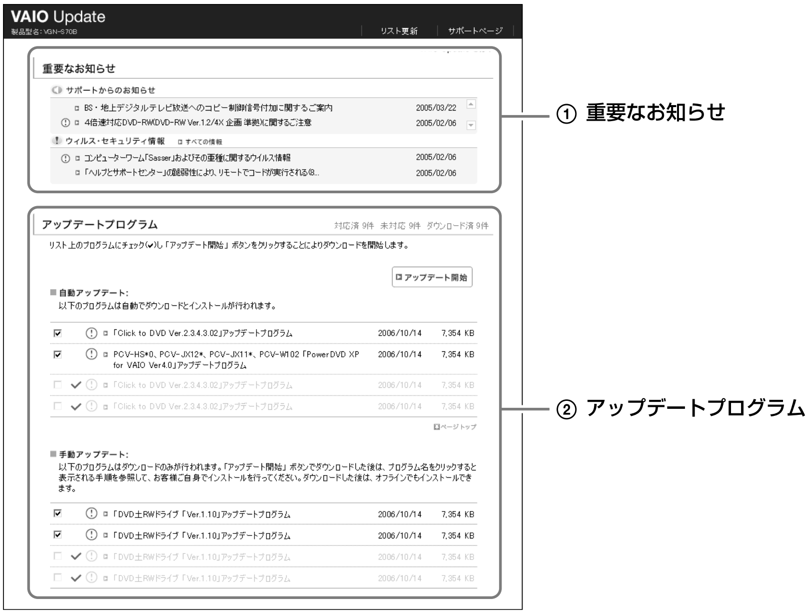
VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号、OSおよびインストールソフトウェアなどの個人情報をサーバーに送信しません 。お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためにあり、ここから個人情報への結びつけは行いません。

VAIO Updateバルーン表示画面

VAIO Update画面（前ページのバルーン表示をクリックすると表示されます）



① 重要なお知らせ

セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

② アップデートプログラム

お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、［アップデート開始］をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント

VAIO Updateで表示される内容は、お客様がご使用のバイオに必要な情報が表示されています。
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（118ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。

② 質問文を入力して情報を探したり、検索条件の設定を行うことができます。

③ 「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。

④ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にある「バイオ電子マニュアル」やソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

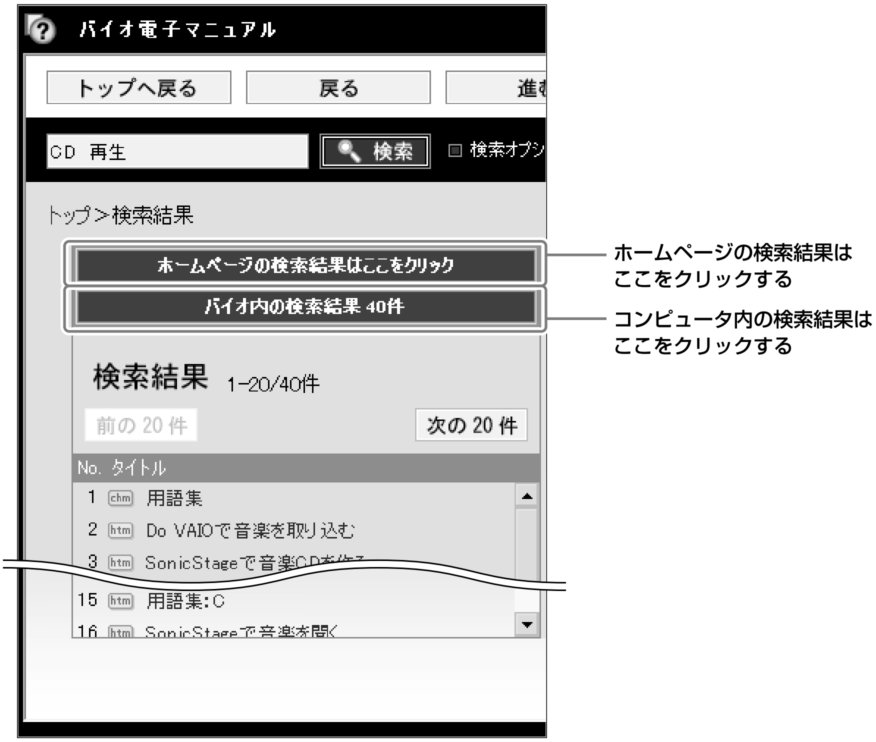
1 検索したい内容をキーワード(単語)や質問文で入力する。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。

例:「CD 再生」

2 [検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い(類似度が高い)ものから順に表示されます。



[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページの文書は別画面で表示されます。

ヘルプとサポートセンターを見る

ヘルプとサポートセンターを見るには

[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックすると「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意

本書内の「サービス・サポート」の内容は、2006年8月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Internet Explorer]をクリックする。

2 [お気に入り]をクリックして[2.VAIOサポートページ]にポインタを合わせ、[1サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

❑ 「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 デスクトップ画面の[VAIOナビ]アイコンをダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

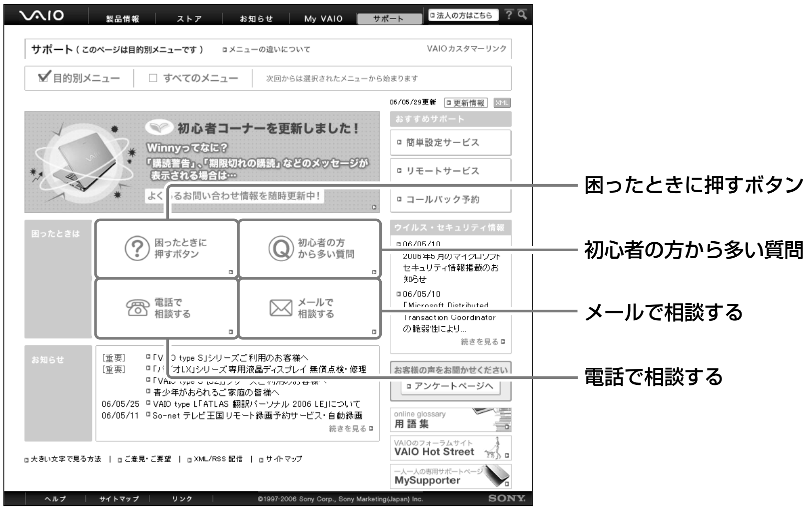
VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでは、お客様がお好きな方法で必要な情報や解決策を入手できるよう、「目的別メニュー」と「すべてのメニュー」の2つの入り口をご用意しています。

* 次回からは選択されたメニューから始まります。

目的別メニュー

「目的別メニュー」は4種類の大きなメニューで、お客様を目的のサポートメニューへご案内します。
困ったときに、どのメニューから探していいのかわからない方、パソコン初心者の方などにおすすめです。



❑ 困ったときに押すボタン

トラブル解決をしたい、アップデートプログラムをダウンロードしたいなど、困ったときの9つの対処方法をご案内しています。

❑ 初心者の方から多い質問

初心者の方からのお問い合わせの内容をわかりやすくご紹介している「初心者コーナー」へご案内しています。

❑ 電話で相談する

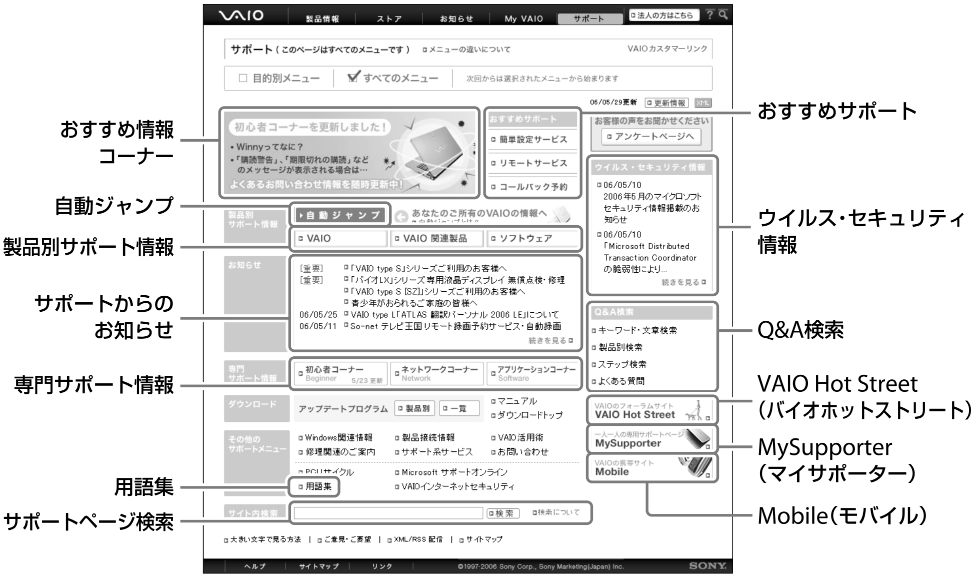
電話でのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。

❑ メールで相談する

メールでのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。
メールでのお問い合わせをなさる場合は、こちらからご利用ください。

すべてのメニュー

「すべてのメニュー」はサポートに関するすべてのメニューをわかりやすいように整理しています。
使いたいメニューにダイレクトにいきたい方におすすめです。



❑ おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

❑ 自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

❑ 製品別サポート情報

製品別にお知らせやダウンロードなどの最新サポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」をご利用いただけます。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報も紹介しています。
ご所有の製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
詳しくは、「製品別サポート情報」（148ページ）をご覧ください。

❑ サポートからのお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています（すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます）。

❑ 専門サポート情報

VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携して、サポート情報を提供する専門サポートコーナーです。
「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」の3つの専門分野に特化した情報をご提供しています。
詳しくは、「専門サポート情報」（148ページ）をご覧ください。

❑ 用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

調べかた

頭文字から探す

① 調べたい用語の頭文字をクリックする。
② 右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

❑ サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンク ホームページのサイト内検索ができます（お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます）。

❑ おすすめサポート

VAIOカスタマーリンクで特におすすめのサポートをご紹介しています。

簡単設定サービス

ホームページ上の設定ボタンをクリックするだけで、複雑なパソコン設定を自動で行ったり、設定手順を表示しながら解決へとナビゲートします。

詳しくは、「VAIO簡単設定サービス」(150ページ)をご覧ください。

リモートサービス

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどのご案内をさせていただくサービスです。

詳しくは、「VAIOリモートサービス」(154ページ)をご覧ください。

コールバック予約サービス

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げるサービスです。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(152ページ)をご覧ください。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。

バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします(専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます)。

❑ Q&A検索

Q&A検索では5つの検索機能(キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問)を使い、VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問(操作や設定、トラブル解決方法など知りたいこと)に対する回答を検索することができます。

❑ VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。

バイオを活用するための情報などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」(155ページ)をご覧ください。

❑ MySupporter(マイサポーター)

バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

❑ Mobile(モバイル)

VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。

バイオのサポート情報のほか、お楽しみコンテンツも掲載しています。

詳しくは、「携帯電話サポート」(156ページ)をご覧ください。

代表的なサポートメニュー

VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(144ページ)をご覧ください。

専門サポート情報

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、「初心者コーナー」、「ネットワークコーナー」、「アプリケーションコーナー」という3つの専門分野に特化したサポート情報をわかりやすくご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(144ページ)をご覧ください。

初心者コーナー

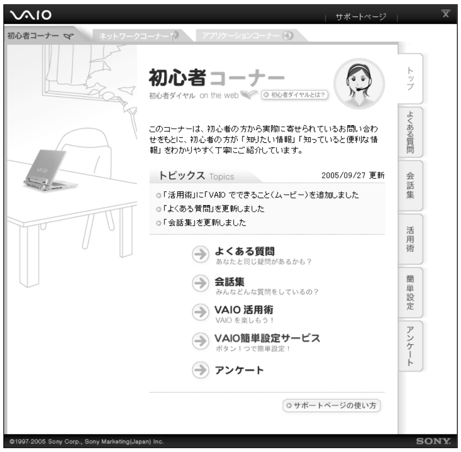
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

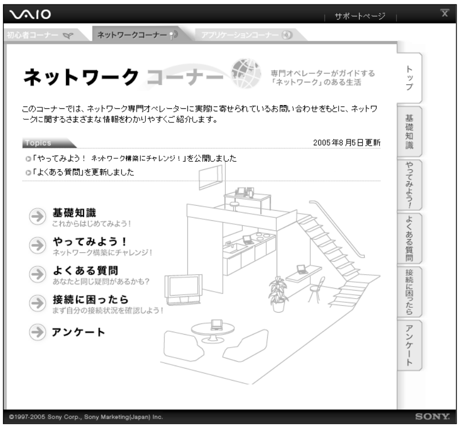
ネットワークコーナー

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

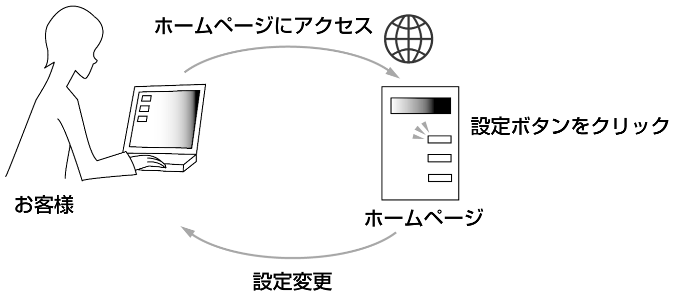
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。





VAIO簡単設定サービス

ホームページ上の設定ボタンをクリックするだけで、複雑なパソコン設定を自動で行ったり、設定手順を表示しながら解決へとナビゲートします。

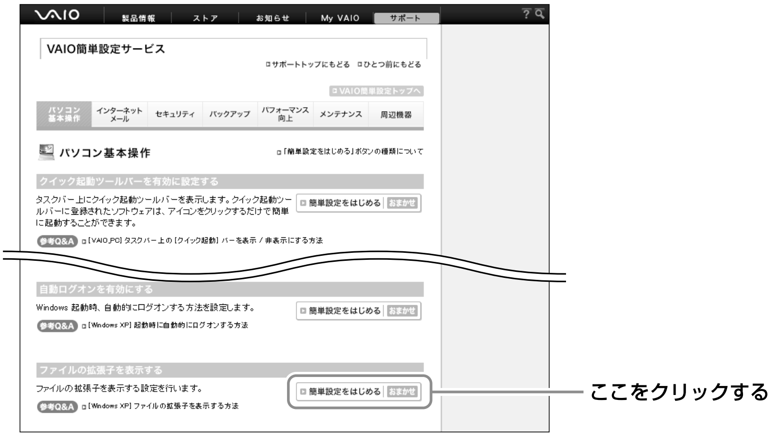


1 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIO簡単設定サービス」のページにアクセスする。

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（144ページ）をご覧ください。

2 設定したい項目の[簡単設定をはじめる]ボタンをクリックする。

ここでは、例として「ファイルの拡張子を表示する」設定を実行します。



3 「VAIO簡単設定サービス」のモジュールが自動的にダウンロードされ、設定の準備が行われる。

4 [続ける]ボタンをクリックして設定を開始すると、変更手順を表示しながら自動的に設定変更が実行される。

自動的にチェックがはずれる

5 「VAIO簡単設定サービス」が完了すると、お客様のバイオの設定が変更されています。

この例では、ファイルの拡張子が表示されるようになりました。

ファイルの拡張子が表示されている

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- 本サービスをご利用の際は、ほかのアプリケーションをすべて終了させてください。

VAIOコールバック予約サービス

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

VAIOコールバック予約サービス

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

ヒント

VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：

24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）

回答時間：

平日 10：00 ～ 21：00

土、日、祝日 10：00 ～ 17：00

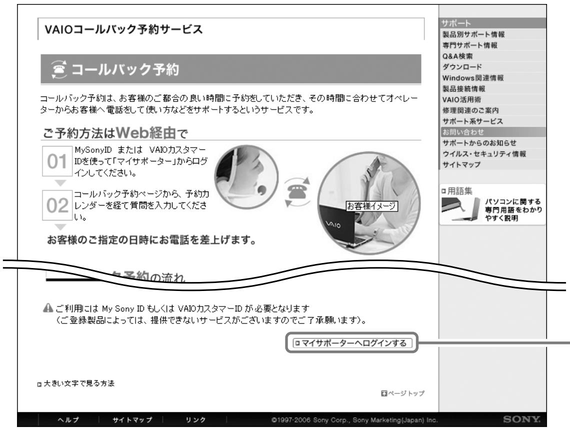
本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

!ご注意

VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

---

1 「VAIOコールバック予約サービス」説明ページにアクセスし、「マイサポーターにログインする」ボタンをクリックする。

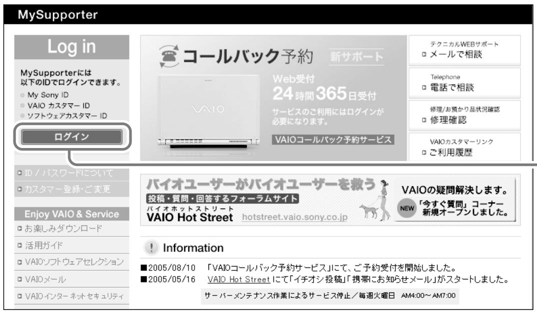


ここをクリックする

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（144ページ）をご覧ください。

---

2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。



ここをクリックする

IDは、My Sony ID　またはVAIOカスタマー IDがご利用いただけます。

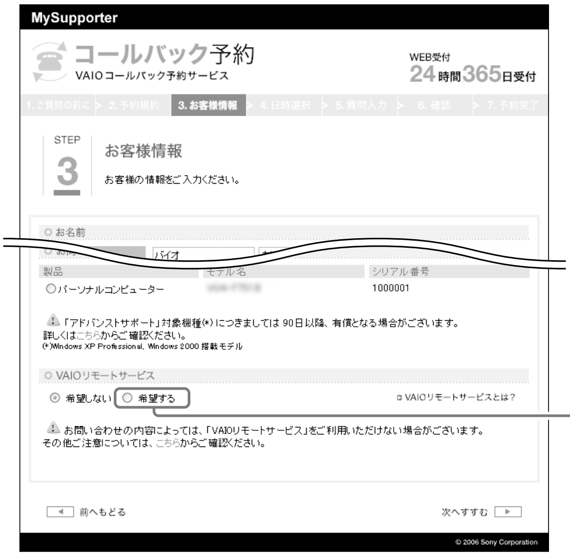
3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

4 画面に従って操作する。

ヒント

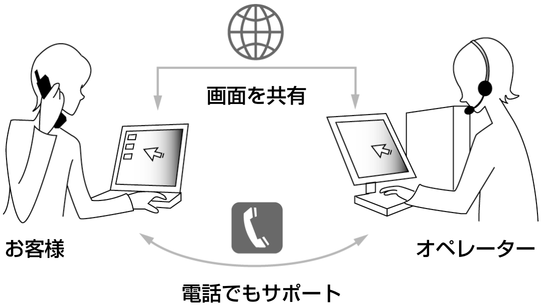
「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。



ここをクリックする

VAIOリモートサービス

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどのご案内をさせていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

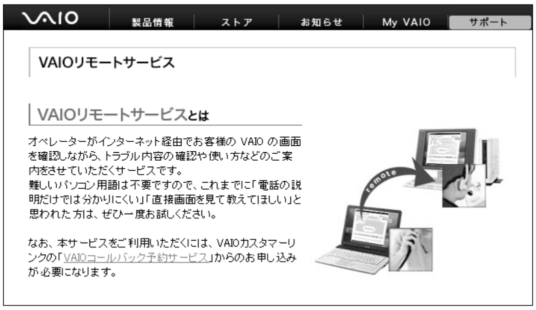


1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(152ページ)をご覧ください。

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

3 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIOリモートサービス」のページにアクセスする。



4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」(152ページ)からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)
http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

!ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話サポート

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。
「ウイルス・セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」の「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理の進み具合もご確認いただけます。詳しい操作方法については、「「修理／お預かり品状況確認」について」（163ページ）をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
（対応端末：i-mode・EZweb・Vodafone live!）
また、バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」(141ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(144ページ)を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

ヒント
VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

!ご注意
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先について

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは
カスタマー専用デスク
電話番号:(0466) 38-1410
受付時間:平日　10:00 ～ 18:00(年末年始を除く)

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
なお、バイオの使いかたについてのお問合せ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。
お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

受付時間
平日:10:00 ～ 21:00
土、日、祝日:10:00 ～ 17:00
(365日年中無休)

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について
VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ
(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「電話で相談する」(目的別メニュー)または「お問い合わせ」(すべてのメニュー)の中の[電話で相談]を選択し、電話サポートにある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況]をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント
比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日:12:00 ～ 18:00
土、日、祝日:15:00 ～ 17:00
(2006年8月現在)

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名(保証書などに記載されているものです)
② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ヒント
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)
⑤ 表示された**エラーメッセージ**
⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑨ その他お気づきの点

お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。

また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/）をご覧ください。

❑ Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。（2006年8月現在）

- **VAIOコールバック予約サービス**
  お客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」（154ページ）をご覧ください。

❑ Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合

購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から90日以降は・・・

バイオご購入日から90日を過ぎたあとも電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。

ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、「アドバンストサポートチケット」（159ページ）をご購入のうえ、ご利用ください。

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。（2006年8月現在）

- **VAIOコールバック予約サービス**
  お客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（152ページ）をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」（154ページ）をご覧ください。

ヒント

Windows XP Professional搭載モデルのサポートでは、バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします（午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます）。

* 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
* 24時間以内での返信はWindows XP Professional搭載モデルのみのサービスとなっております。

「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する技術的なお問い合わせ(使いかたのご説明など)をされる場合のメニューです。
下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ヒント
- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■チケットの種類と価格(2006年8月現在)
- チケット1枚(単品):2,100円(税抜価格2,000円)
- チケット3枚:5,250円(税抜価格5,000円)
- 1年間有効(回数フリー):10,500円(税抜価格10,000円)

■有効期間
ご購入の当日より1年間

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口
電話番号:(0466) 30-3099
受付時間:平日　10:00 ~ 21:00
　　　　　土・日・祝　10:00 ~ 17:00(365日年中無休)

支払方法

クレジットカード(VISA・MASTER・JCB、1回払いのみ可能)をご利用ください。

ヒント
ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。
代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品・キャンセル・交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口にお問い合わせください。

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介/問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(168ページ)をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は
電話番号:(0466) 30-3016
受付時間:平日　10:00 ~ 21:00
　　　　　土・日・祝　10:00 ~ 17:00

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

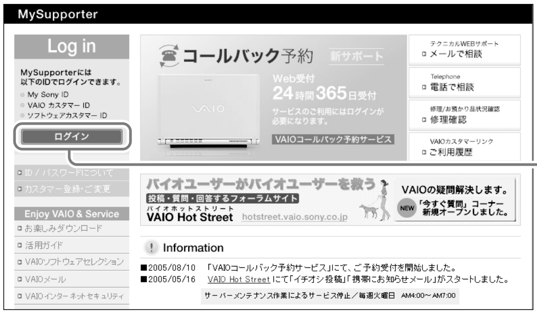
「テクニカルWebサポート」は、バイオ に関する技術的な質問をマイサポーター内から所定のフォームで入力すれば、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです(質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます)。

ヒント

このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは「カスタマー登録する」(51ページ)をご覧ください。

「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。



ここをクリックする

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(144ページ)をご覧ください。

2 [テクニカルWEBサポートメールで相談]をクリックする。

ここをクリックする

3 [新規ご利用申込]をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（144ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

点検サービスも行っております
バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

!ご注意

修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

- "メモリースティック"にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の［バイオの使いかた］をクリックして表示される情報をご覧ください。

!ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW ／ CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（166ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY
VAIOカルテ
このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。
1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030
お電話いただく前にお読みください

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

3 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：(0466) 30-3030

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/)をご覧ください。

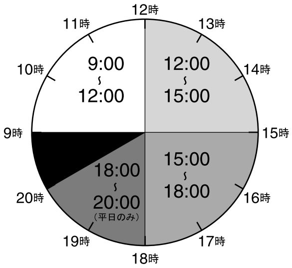
不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

ヒント

通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土日祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2006年8月現在）

4 修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。



- 9：00～12：00
- 12：00～15：00
- 15：00～18：00
- 18：00～20：00（平日のみ）

！ご注意

上記は2006年8月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。（送料はソニー負担です。）

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

！ご注意

- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。）

「修理／お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンク ホームページの「修理／お預かり品状況確認」およびVAIOカスタマーリンク モバイルの「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。
修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンク ホームページにある［修理／お預かり品状況確認］をクリックする。

コンピュータから利用する場合

VAIOカスタマーリンクホームページにある［修理/お預かり品状況確認］をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

携帯電話から利用する場合

VAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスして、“修理品状況確認”をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

2 確認画面を表示させる。

コンピュータから利用する場合

画面下の［このサービスを利用する］をクリックすると、「修理／お預かり品状況確認」画面が表示されます。

携帯電話から利用する場合

画面中の“確認ページはこちら”をクリックすると、「修理品状況確認」画面が表示されます。

ここをクリックする

3 修理受付番号と電話番号を入力し、［検索］をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無料修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
なお、VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）の用意もございます。詳しくは「各種有料サービスのご案内」（165ページ）をご覧ください。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2006年8月現在）

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（51ページ）をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。

* 対象サービスでのソニーポイントの獲得利用は、インターネット経由での購入に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム(有償)」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。

* ソニースタイルでお求めになれます。対象サービスでのソニーポイントの獲得利用はインターネット経由での購入に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。
My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

！ご注意

一部の機種では提供されません。
2006年8月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

！ご注意

- ご利用にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保険に加入済みの為、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴

- 修理回数が無制限です*
- 修理に関する自己負担金(免責金額)が不要です*
- ご自宅までのお引取り・お届けは無料です
- 修理保証金額がずっと100%です*
- 面倒な手続きは不要です
(お申し込みの際も、万一の故障の際も書類などの手続き不要)
- お申込期間が長い
(ご購入後、ベーシックなら365日、ワイドなら60日まで申込み可能)

* 代替品提供の場合を除きます(ワイド)。保証期間中に限ります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service （海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のバイオの現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意

- 対象はノートブック型バイオのみとさせていただきます。
- ご利用にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】

VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。

インターネット設定パック

インターネットの接続・設定（有線・無線）、メール設定を行います。

VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】

上記の2つがセットになったメニューです。VAIOの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。

データお引越しパック

お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。

パソコンリカバリーパック

トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。

OSアップグレード

新しいOSにアップグレード作業を行います。

ロケーションフリー設定パック

ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号　：（03）5789-3474（PHS）
受付時間　10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」
ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」
インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能(Webメール、データ保管など)も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExeclなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品提供サービス

お買い上げいただいたバイオをより快適にお使いいただくために、ご所有の製品に応じた部品や付属品の一部を有償で送付させていただくサービスをご用意しております。

ご利用にはMy Sony IDもしくはVAIOカスタマー IDが必要となります。
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/

!ご注意

ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

ヒント

本サービスの範囲外の付属品、部品購入については、お近くのSS(ソニーサービスステーション)で部品としてご注文いただくか、お買い求めいただいた販売店で部品としてご注文ください。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、VAIO本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。(対象機種に限ります。)

HDDアップグレードサービス

ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。動画を存分に楽しむためにも活用できます。

メモリーアップグレードサービス

メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。

キーボード交換サービス

標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 「アドバンストサポート」

Windows XP Professional搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。
詳しくは「「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと」(159ページ)をご覧ください。

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象はデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。 以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。 なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス
FAX番号:(0466)30-3040

!ご注意

一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(161ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

また、ご使用の機種によって付属されているソフトウェアが異なります。「本機に付属されているソフトウェア」（190ページ）もあわせてご覧ください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**
「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **画面左側の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックする。**

3 **表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Do VAIO（ドゥー・バイオ） Ver.1.6
VAIOカスタマーリンク

❑ Do VAIO（ドゥー・バイオ）バックアップツール
VAIOカスタマーリンク

❑ Image（イメージ） Converter（コンバーター） 2 Plus（プラス）
VAIOカスタマーリンク

❑ StationTV（ステイションティービー） Digital（デジタル） for（フォー） VAIO（バイオ）
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ DVgate（ディーブイゲート） Plus（プラス） Ver.2.2
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe（アドビ）(R) Premiere（プレミア）(R) Pro（プロ） 2.0 日本語版
アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/
アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関する無償電話サポートをご利用いただけます。アドビソフトウェアの操作方法は無償電話サポートの対象となりません。無償電話サポートのサポート範囲を越えるサポートにつきましては、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

!ご注意

DVgate Plus、VAIO Edit Components、Click to DVD のソニー社製品に関するサポートについてはVAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。

- ❑ **Adobe(R) Premiere(R) Elements(R) 2.0 日本語版**
  アドビ システムズ　テクニカルサポート
  電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
  受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
  （年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
  ホームページ：
  http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/
  アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関する無償電話サポートをご利用いただけます。アドビソフトウェアの操作方法は無償電話サポートの対象となりません。無償電話サポートのサポート範囲を越えるサポートにつきましては、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

!ご注意
DVgate Plus、VAIO Edit Components、Click to DVD のソニー社製品に関するサポートについてはVAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。

- ❑ **VAIO Edit Components Ver.6.0**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **Windows Media(R) Player 10**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **WinDVD for VAIO（6ch ドルビーバーチャルスピーカー /ドルビーヘッドホン対応）**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **WinDVD BD for VAIO**
  VAIOカスタマーリンク

DVD作成

- ❑ **Click to DVD Ver.2.5**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **TMPGEnc DVD Author 2.0 for VAIO**
  株式会社ペガシス　サポートセンター
  電話番号：（03）5624-2161
  受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
  （土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
  ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
  ※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。
- ❑ **TMPGEnc MPEG Editor 2.0 for VAIO**
  株式会社ペガシス　サポートセンター
  電話番号：（03）5624-2161
  受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
  （土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
  ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
  ※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。
- ❑ **TMPGEnc 4.0 XPress for VAIO**
  株式会社ペガシス　サポートセンター
  電話番号：（03）5624-2161
  受付時間：月曜～金曜：10時～ 13時、14時～ 18時
  （土曜、日曜、祝日、株式会社ペガシス指定休日を除く）
  ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
  ※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

Blu-ray作成

- ❑ **Ulead BD DiscRecorder for VAIO**
  インタービデオジャパン株式会社　テクニカルサポート
  サポート期間：製品購入後12か月間
  電話番号：（045）226-3899
  受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時30分～ 17時（夏期、年末特定休業日、祝日を除く）
  ファックス番号：（045）226-3895
  電子メール：techsupp@intervideo.co.jp
  ホームページ：
  http://www.intervideo.co.jp/support/

音楽

- ❑ **SonicStage CP**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **SonicStage Mastering Studio Ver.2.2**
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ **DigiOnSound(R)5 L.E. for VAIO（HDV対応版）**
  株式会社デジオン　サポートセンター
  電話番号：（092）833-6288
  受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
  （祝日、特別休業日を除く）
  ファックス番号：（092）833-6278
  電子メール：support@digion.com
  ホームページ：http://www.digion.com/

- ❑ **DigiOnSound(R)5 for VAIO（HDV対応版）**

  株式会社デジオン　サポートセンター
  電話番号：
  （092）833-6288
  受付時間：
  月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
  （祝日、特別休業日を除く）
  ファックス番号：
  （092）833-6278
  電子メール：
  support@digion.com
  ホームページ：
  http://www.digion.com/

静止画・写真

- ❑ **PictureGear Studio Ver.2.0**

  VAIOカスタマーリンク

- ❑ **Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 4.0 日本語版**

  アドビ システムズ株式会社　テクニカルサポート
  電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
  受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
  （年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
  ホームページ：
  http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/
  アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関する無償電話サポートをご利用いただけます。アドビソフトウェアの操作方法は無償電話サポートの対象となりません。無償電話サポートのサポート範囲を越えるサポートにつきましては、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームネットワーク

- ❑ **VAIO Media Ver.5.0**

  VAIOカスタマーリンク

- ❑ **VAIO Media Integrated Server Ver.5.0**

  VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

- ❑ **Yahoo!メッセンジャー**

  ヤフー株式会社
  ホームページ：http://ms.yahoo.co.jp/bin/messenger-ms/feedback

- ❑ **MSN(R) Messenger 7.5**

  マイクロソフト株式会社
  ホームページ：http://support.msn.com/eform.aspx?productKey=messenger&page=support_home_options_form_byemail&ct=eformts

- ❑ **Skype**

  http://www.skype.com/intl/ja/

- ❑ **ドットフォンパーソナルV（みんなでＴＶ電話スタータ）**

  ドットフォン パーソナルV　サポートセンタ
  電話番号：（0120）050506
  受付時間：9時～ 21時
  （土曜、日曜、祝日含む、年末年始除く）
  ホームページ：
  http://coden.ntt.com/ipphone/pv/

インターネット・メール

- ❑ **Microsoft(R) Outlook Express 6**

  VAIOカスタマーリンク

- ❑ **Microsoft Internet Explorer 6 (R)**

  VAIOカスタマーリンク

- ❑ **Yahoo!ツールバー**

  ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
  電子メール：
  https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
  ※上記ホームページから送信いただけます。
  ホームページ：
  http://www.yahoo.co.jp/
  http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html（Yahoo!ツールバーヘルプページ）

ISP サインアップ

❑ So-net簡単スターター

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から）札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から）仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から）東京（03）3446-7555
（携帯PHS・IP電話から）名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から）大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から）広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から）福岡（092）624-3910
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：
http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ OCNスタートパック for Windows

カスタマーズフロント
電話番号：（0120）506506
受付時間：9時～ 21時（年末・年始は除く）
ホームページ：http://www.ocn.ne.jp/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 2含む）

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは

目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

❑ Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 2含む）

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional Enterprise 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは

目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

❑ Roxio（ロキシオ） DigitalMedia（デジタルメディア） SE（エスイー） 7
ソニックサポートセンター
電話番号：（03）5232-6400
受付時間：10時～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：
http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ 駅すぱあと
ユーザーサポートセンター
電話番号（テクニカル）：（03）5373-3522
電話番号（バージョンアップ）：（03）5373-3521
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 17時（祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
ファックス番号：（03）5373-3523
電子メール：support@val.co.jp
ホームページ：http://ekiworld.net/

❑ デジタル全国地図
ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.its-mo.net/

❑ HD（エイチディ）革命/BackUp（バックアップ）（バンドル版）
株式会社アーク情報システム　サポート係
電話番号：（03）3234-9251
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3234-9252
電子メール：kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ：http://www1.ark-info-sys.co.jp/

❑ Adobe（アドビ）(R) Reader（リーダー）(R) 7.0
Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラム Adobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

❑ Norton（ノートン・） Internet（インターネット） Security（セキュリティ）(TM) 2006
SONYユーザ様用サービスページ（ユーザ登録・サポート登録・更新方法）
ホームページ：http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

❑ 筆ぐるめ Ver.13
富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：（03）5600-2551
受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時（土曜、日曜、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く）
ファックス番号：（03）3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

FeliCa関連アプリケーション

❑ かざそうFeliCa（フェリカ）
VAIOカスタマーリンク

❑ Edy（エディ） Viewer（ビューワー） V2.0
Edy救急ダイヤル
電話番号：
（0570）081-999
（0570）085-001（ナビダイヤル）
受付時間：9時30分～ 21時
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard（エスエフカード） Viewer（ビューア）
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]→[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

❑ スクリーンセーバーロック2
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。［スタート］→［すべてのプログラム］→［かざそうFeliCa］→［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

❑ かんたん登録2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。［スタート］→［すべてのプログラム］→［かざそうFeliCa］→［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。［スタート］→［すべてのプログラム］→［かざそうFeliCa］→［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。［スタート］→［すべてのプログラム］→［かざそうFeliCa］→［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

設定・ユーティリティ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ メモリースティックフォーマッタ

ソニー株式会社　テクニカルインフォメーションセンター
ホームページ：
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ バイオの設定 Ver.1.1

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows XP for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update Ver.2.1

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ Java(TM) Software

サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ：http://www.java.com/ja/

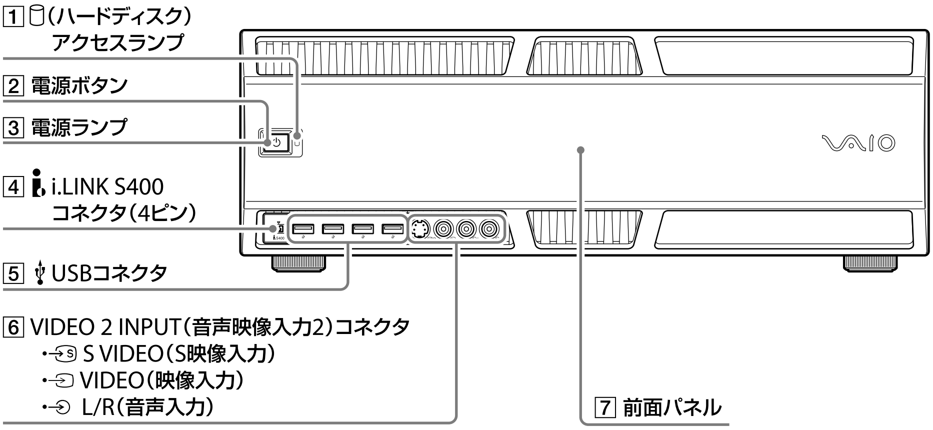
❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

前面

メインユニット



1 (ハードディスク)アクセスランプ

ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

2 電源ボタン(38ページ)

本機の電源を入れるときに押します。本機の動作中にこのボタンを押すと休止状態(41ページ)になり、電源ランプが消灯します。

3 電源ランプ(38ページ)

本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スタンバイモード(41ページ)時には、オレンジ色に点灯します。

4 i.LINK S400コネクタ(4ピン)

i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

5 USBコネクタ(27ページ、28ページ)

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

6 VIDEO 2 INPUT(音声映像入力2)コネクタ

ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

- **S VIDEO(S映像入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。VIDEOコネクタから入力された映像に比べ、よりきれいな映像を本機で見たり録画することができます。
- **VIDEO(映像入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。映像を本機で見たり録画するときに使います。
- **L/R(音声入力)：**
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

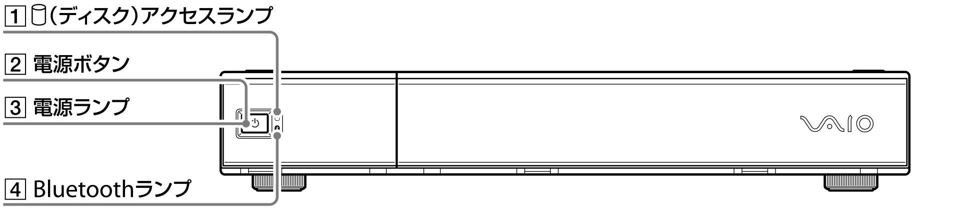
7 前面パネル

ハードディスクを増設する際(91ページ)に取りはずします。

!ご注意

前面パネルを取りはずす場合は、ツメの部分が折れることがあるので充分注意してください。

アクセスユニット



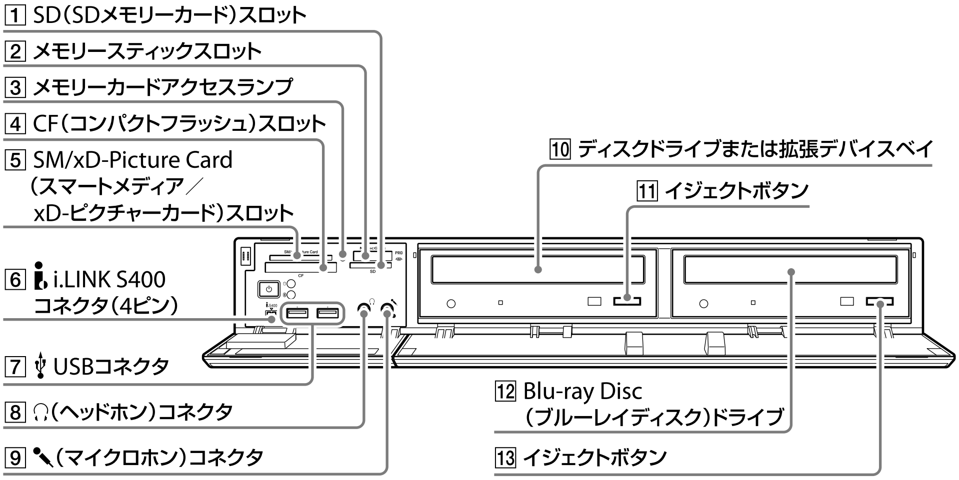
1 (ディスク)アクセスランプ
ディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

2 電源ボタン(38ページ)
本機の電源を入れるときに押します。本機の動作中にこのボタンを押すと休止状態(41ページ)になり、電源ランプが消灯します。

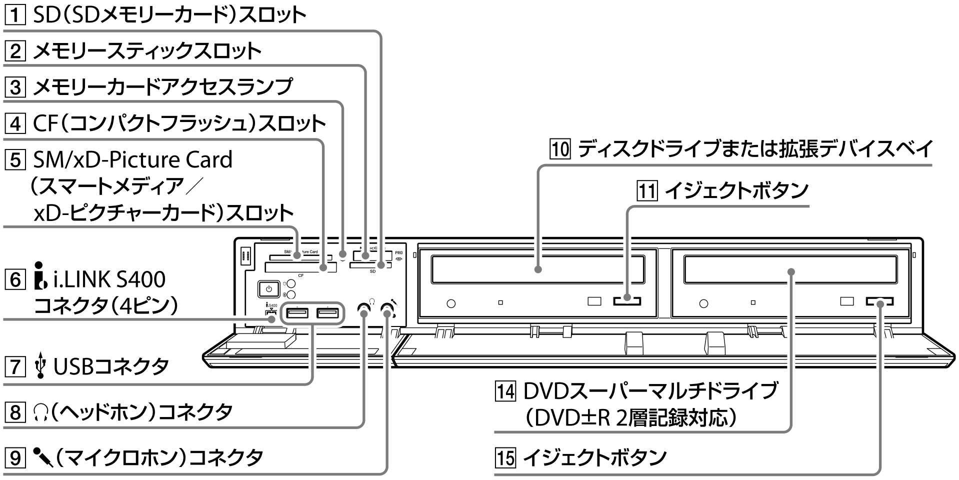
3 電源ランプ(38ページ)
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スタンバイモード(41ページ)時には、オレンジ色に点灯します。

4 Bluetoothランプ
Bluetooth対応機器が使える状態のとき、青色に点灯します。

❑ ブルーレイディスクドライブ搭載モデル



❑ ブルーレイディスクドライブ非搭載モデル



1 **SD(SDメモリーカード)スロット**

SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

2 **メモリースティックスロット**

"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント

本機のメモリースティックスロットは、メモリースティックデュオ アダプターを使用せずに"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

3 **メモリーカードアクセスランプ**

"メモリースティック"やxD-ピクチャーカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

!ご注意

データ読み出し中やデータ書き込み中に"メモリースティック"やxD-ピクチャーカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカードを取り出さないでください。

4 **CF(コンパクトフラッシュ)スロット**

コンパクトフラッシュのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

5 **SM/xD-Picture Card(スマートメディア/ xD-ピクチャーカード)スロット**

xD-ピクチャーカードやスマートメディアのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

!ご注意

xD-ピクチャーカードやスマートメディアの端子部には、直接手や金属で触れないようにしてください。端子部が露出した形状となっており、端子部が汚れていると本機で認識されない場合があります。

6 **i.LINK S400コネクタ(4ピン)**

i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

7 **USBコネクタ(27ページ、28ページ)**

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

8 **(ヘッドホン)コネクタ**

ヘッドホンやオーディオ機器をつなぎます。

9 **(マイクロホン)コネクタ**

マイクをつなぎます(ステレオ対応)。

10 **ディスクドライブまたは拡張デバイスベイ(96ページ)**

- **DVD-ROMドライブ:**
  CDやDVDのデータを読み込みます(197ページ)。以降、ドライブと略します。
- **拡張デバイスベイ:**
  IDEデバイスを増設するときに使用します。

11 **イジェクトボタン**

ディスクドライブのトレイを引き出すときに押します。

12 **Blu-ray Disc(ブルーレイディスク)ドライブ(105ページ)**

Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(197ページ)。
以降、ブルーレイディスクドライブまたはドライブと略します。

13 **イジェクトボタン**

ブルーレイディスクドライブのトレイを引き出すときに押します。

14 **DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)(105ページ)**

CDやDVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(197ページ)。
以降、DVDスーパーマルチドライブまたはドライブと略します。

15 **イジェクトボタン**

DVDスーパーマルチドライブのトレイを引き出すときに押します。

後面

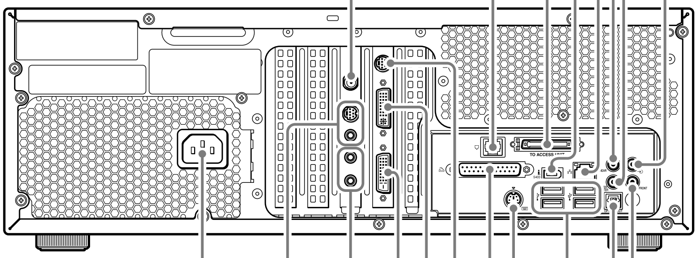
メインユニット

!ご注意

各PCIスロットに搭載されているコネクタの位置は、お買い上げの製品によって異なる場合があります。

❑ NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GTグラフィックアクセラレータモデル

1 (ライン入力)コネクタ
2 WOOFER/CENTER(ウーファー／センター)コネクタ
3 REAR(リア)コネクタ
4 LANコネクタ
5 i.LINK S400コネクタ(6ピン)
6 アクセスユニット接続用コネクタ
7 LINE(電話回線)ジャック
8 VHF／UHF(アンテナ)コネクタ



9 AC INPUT(AC電源入力)プラグ
10 VIDEO1 INPUT(映像入力1)コネクタ
・S VIDEO(S映像入力)
・VIDEO(映像入力)
11 AUDIO INPUT(音声入力)コネクタ
12 DVI-D(ディーブイアイ ディー)コネクタ(HDCP対応)
13 DVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタ
14 S映像出力／映像出力コネクタ
15 PRINTER(プリンタ)コネクタ
16 KEYBOARD(キーボード)コネクタ
17 USBコネクタ
18 OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ
19 FRONT(フロント)コネクタ

❑ NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GSグラフィックアクセラレータモデル

1 （ライン入力）コネクタ

2 WOOFER/CENTER（ウーファー／センター）コネクタ

3 REAR（リア）コネクタ

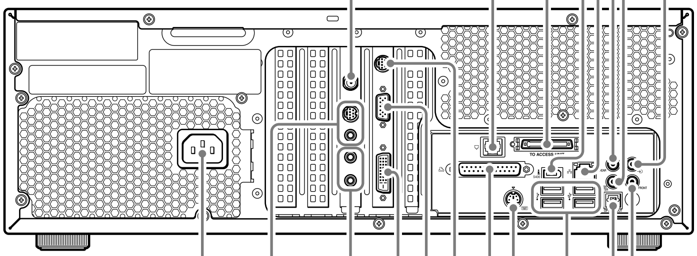
4 LANコネクタ

5 i.LINK S400コネクタ（6ピン）

6 アクセスユニット接続用コネクタ

7 LINE（電話回線）ジャック

8 VHF／UHF（アンテナ）コネクタ



9 AC INPUT（AC電源入力）プラグ

10 VIDEO1 INPUT（映像入力1）コネクタ
・S VIDEO（S映像入力）
・VIDEO（映像入力）

11 AUDIO INPUT（音声入力）コネクタ

12 DVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタ（HDCP対応）

20 モニタコネクタ

14 S映像出力／映像出力コネクタ

15 PRINTER（プリンタ）コネクタ

16 KEYBOARD（キーボード）コネクタ

17 USBコネクタ

18 OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタ

19 FRONT（フロント）コネクタ

1 ⊸(ライン入力)コネクタ
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

2 WOOFER/CENTER(ウーファー／センター)コネクタ
サラウンドスピーカーとつなぎます。

3 REAR(リア)コネクタ
サラウンドスピーカーとつなぎます。

4 LANコネクタ(26ページ)
ネットワーク(LAN)とつなぎます。

!ご注意
LANコネクタには指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しないでください。お買い上げ時にはLANコネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。LANコネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

5 i.LINK S400コネクタ(6ピン)
i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意
デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

6 アクセスユニット接続用コネクタ(36ページ)
メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルでアクセスユニットと接続します。

7 LINE(電話回線)ジャック(26ページ)
壁の電話回線とつなぎます。

8 VHF ／ UHF(アンテナ)コネクタ(30ページ)
アンテナをつなぎます。

9 AC INPUT(AC電源入力)プラグ(37ページ)
付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

10 VIDEO1 INPUT(映像入力1)コネクタ(33ページ)
- S VIDEO(S映像入力)：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。VIDEOコネクタから入力された映像に比べ、よりきれいな映像を本機で見たり録画することができます。
- VIDEO(映像入力)：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。映像を本機で見たり録画するときに使います。

11 AUDIO INPUT(音声入力)コネクタ(33ページ)
ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

12 DVI-D(ディーブイアイ ディー)コネクタ(HDCP対応)(21ページ)
デジタルディスプレイをつなぎます。

13 DVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタ(21ページ)
ディスプレイをつなぎます。

!ご注意
NVIDIA(R) GeForce(R) 7600 GTグラフィックアクセラレータモデルをお使いの場合、HDCP規格に対応したディスプレイはDVI-D(ディーブイアイ ディー)コネクタへ接続してください。本機DVI-I(ディーブイアイ アイ)コネクタは、HDCP規格に対応しておりません。

14 S映像出力／映像出力コネクタ
テレビにつなぎます。

!ご注意
S映像出力／映像出力コネクタにテレビを接続して映像を表示する場合、「StationTV Digital」ソフトウェアの映像は表示できません。

ヒント
ビデオ接続用変換ケーブル(付属)を取り付けると、S映像出力／映像出力コネクタに映像ケーブルを接続することができます。

15 PRINTER(プリンタ)コネクタ
別売りのプリンタやスキャナなどをつなぎます。

16 KEYBOARD(キーボード)コネクタ
別売りのPS/2キーボードをつなぎます。

17 USBコネクタ(27ページ、28ページ)
USB規格に対応した機器をつなぎます。

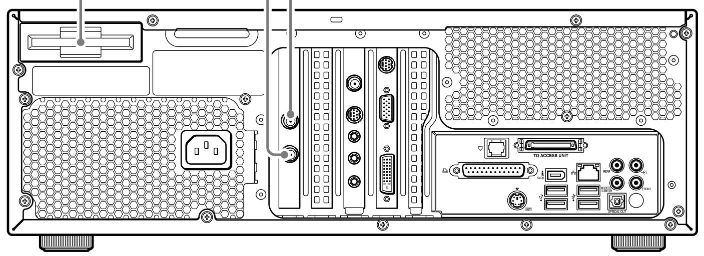
ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

18 OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ
AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

19 FRONT(フロント)コネクタ(23ページ)
付属のアクティブスピーカー、サラウンドスピーカーなどとつなぎます。

20 モニタコネクタ(22ページ)
ディスプレイをつなぎます。

❑ デジタルテレビチューナー搭載モデル

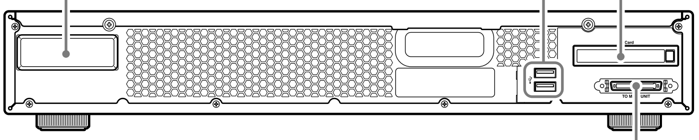


1 **BS ／ 110度CS IF入力コネクタ(31ページ)**
BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナをつなぎます。

2 **地上デジタル入力コネクタ(31ページ)**
地上デジタル放送のアンテナをつなぎます。

3 **B-CASカード挿入口(32ページ)**
B-CASカードを抜き差しします。

アクセスユニット



1 **Bluetoothアンテナカバー**
Bluetoothアンテナが内蔵されています。

!ご注意
Bluetooth機能を使って通信するときは、Bluetoothアンテナカバーを覆わないでください。通信の妨げになります。

2 **USBコネクタ(27ページ、28ページ)**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

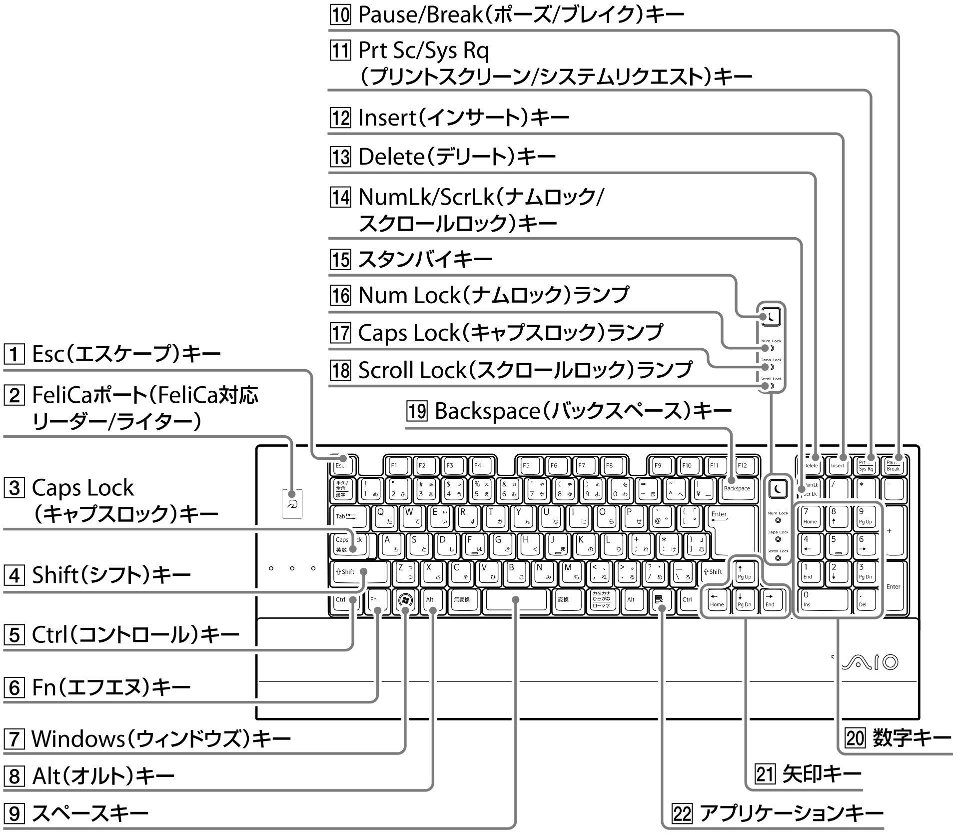
ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

3 **PC Card(PCカード)スロット**
PCカードを取り付けます。

4 **メインユニット接続用コネクタ(36ページ)**
メインユニット-アクセスユニット接続ケーブルでメインユニットと接続します。

キーボードの各部名称

表面



1 **Esc(エスケープ)キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

2 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)**

FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

3 **Caps Lock(キャプスロック)キー**

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にあるCaps Lock(キャプスロック)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。
もう1度、Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押すと、Caps Lock(キャプスロック)ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

4 **Shift(シフト)キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。キーボード右上のCaps Lock(キャプスロック)ランプがついている状態で、このキーを押しながら文字キーを押した場合は、小文字を入力できます。

5 **Ctrl(コントロール)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 **Fn(エフエヌ)キー**

キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 **Windows(ウィンドウズ)キー**

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

8 **Alt(オルト)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

9 **スペースキー**

文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

10 **Pause/Break(ポーズ/ブレイク)キー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

11 Prt Sc/Sys Rq
（プリントスクリーン/システムリクエスト）キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

12 Insert（インサート）キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

13 Delete（デリート）キー

画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

14 NumLk/ScrLk
（ナムロック/スクロールロック）キー

このキーが押されて有効になっているときは数字キーで数字が入力できます。

15 スタンバイキー

本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードに切り換わります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します。

16 Num Lock（ナムロック）ランプ

Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合に点灯します。

17 Caps Lock（キャプスロック）ランプ

Caps Lock（キャプスロック）が有効になっている場合に点灯します。

18 Scroll Lock（スクロールロック）ランプ

Scroll Lock（スクロールロック）が有効になっている場合に点灯します。

19 Backspace（バックスペース）キー

画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

20 数字キー

NumLk（ナムロック）キーを押し、キーボード右上のNum Lock（ナムロック）ランプが点灯しているときは、数字を入力できます。

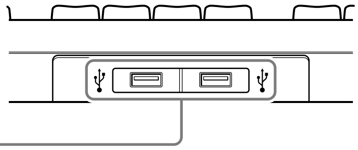
21 矢印キー

画面上のカーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示するときなどに使います。

22 アプリケーションキー

マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

背面



1 USBコネクタ

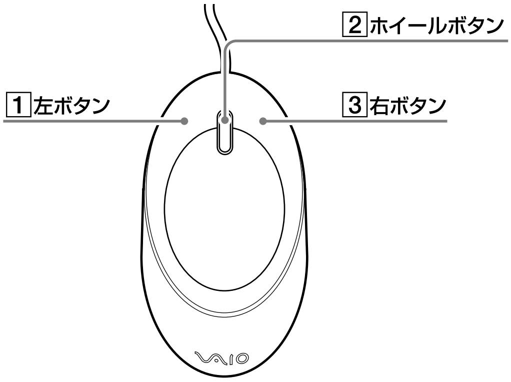
1 USBコネクタ

付属のマウスやUSB規格に対応した機器をつなぎます。

！ご注意

キーボード背面のUSBコネクタは、USB2.0規格のHigh-speedに対応していません。USB2.0規格のHigh-speed機器を使用する場合は、本体側のUSBコネクタに接続してください。

マウスの各部名称



1 **左ボタン**

文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**

ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**

文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

レーザーマウスとは

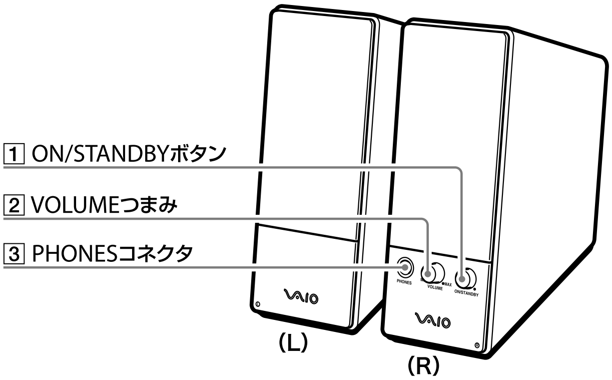
レーザーマウスは、マウス底面からの高解像度レーザーにより照らし出されている陰影をセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。
ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材(ガラスなど)
- 光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

!ご注意

- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面(机、紙、マウスパッドなど)でマウスを操作してみてください(上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります)。
- レーザーマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

スピーカーの各部名称



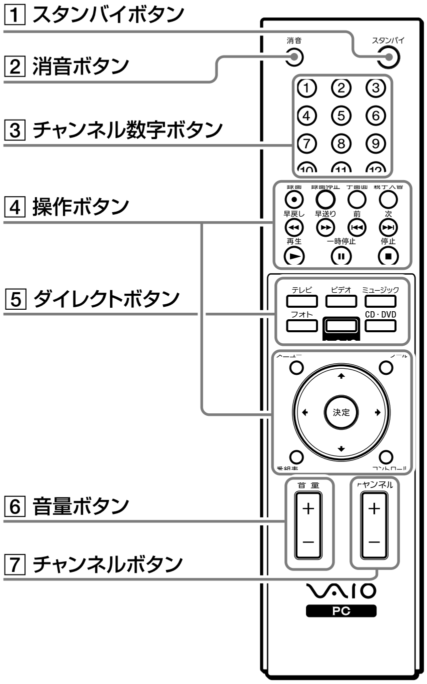
1 ON/STANDBYボタン
電源を入れます。

2 VOLUMEつまみ
音量を調節します。

3 PHONESコネクタ
市販のヘッドホンをつなぎます。

リモコンの各部名称（テレビチューナー搭載モデル）

アナログテレビチューナー搭載モデル



1 **スタンバイボタン**
本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します（41ページ）。

2 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 **チャンネル数字ボタン**
チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

4 **操作ボタン**
ソフトウェアの操作に使用します。
上下左右ボタンに突起がついています。

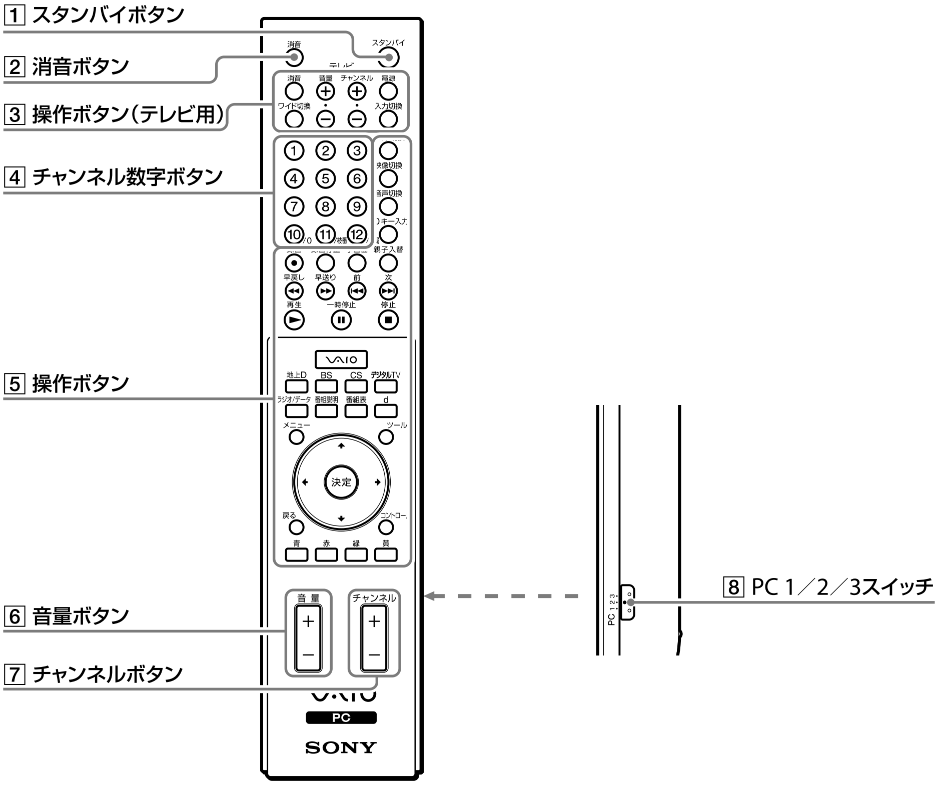
- メニューボタン
  コンテンツ一覧メニューを表示したり非表示にしたりします。
- ツールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、コンテンツを操作するための操作メニューを表示したり非表示にしたりします。
- 番組表ボタン
  番組表を表示します。
- コントロールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、再生操作ボタンを表示したり非表示にします。
- 上、下（↑、↓）ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左（←）ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右（→）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央（決定）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します（コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します）。

5 **ダイレクトボタン**
目的に合ったDo VAIOの機能を簡単に表示します。

6 **音量ボタン**
音量を調節します。

7 **チャンネルボタン**
テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。

デジタルテレビチューナー搭載モデル



1 **スタンバイボタン**
本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します(41ページ)。

2 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 **操作ボタン(テレビ用)**
市販のテレビの操作に使用します。
リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビを操作することができます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]→[リモコンで市販のテレビを操作する]の順にクリックする。)

4 **チャンネル数字ボタン**
チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

5 **操作ボタン**
ソフトウェアの操作に使用します。
上下左右ボタンに突起が付いています。

- メニューボタン
  コンテンツ一覧メニューを表示したり非表示にしたりします。
- ツールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、コンテンツを操作するための操作メニューを表示したり非表示にしたりします。
- 番組表ボタン
  番組表を表示します。
- コントロールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、再生操作ボタンを表示したり非表示にします。
- 上、下(↑、↓)ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左(←)ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右(→)ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央(決定)ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します(コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します)。

6 **音量ボタン**
音量を調節します。

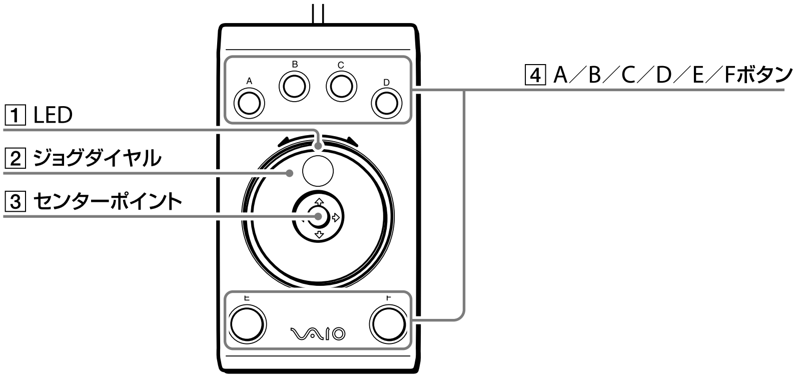
7 **チャンネルボタン**
本機のソフトウェアでテレビを見ている場合に、チャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。
接続しているテレビのチャンネルを選択する場合は、3 操作ボタン(テレビ用)のチャンネルボタンを利用してください。

8 **PC 1 ／ 2 ／ 3スイッチ**
「リモコンの設定」で設定した番号に合わせます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]→[リモコンの設定を変更する]の順にクリックする。)
初期設定は「PC-2」になっています。

ヒント
リモコンの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]の順にクリックする。)

ジョグコントローラーの各部名称
（ジョグコントローラー付属モデル）

「Adobe Premiere」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェアを使って映像の編集をしたり、「WinDVD for VAIO」ソフトウェアを使って映像の再生をしたりするときに便利なジョグコントローラーです。
お使いのソフトウェアに応じて、それぞれのボタンに特定の機能が自動的に設定されます。



1 **LED**
ジョグコントローラーを本機に接続したとき、青色に点灯して、操作可能なことを示します。

2 **ジョグダイヤル**
左右に回転させることができます。
主にコマ送りを行うときに使用します。
1クリックが1コマに対応しています。

3 **センターポイント**
上下左右に動かすことと、垂直押し（下に押すこと）ができます。
映像の再生や音量調節などに使用します。

ヒント
お使いのソフトウェアによっては、センターポイントを右や左に2度押すことによって、再生スピードをより高速にすることができます。

4 **A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ Fボタン**
お使いになるソフトウェアによって機能が変わります。

ソフトウェアを複数同時にお使いになっている場合は、最前面のソフトウェアのみ操作することができます。現在お使いのソフトウェア以外を操作したい場合は、目的のソフトウェアをクリックしてください。

ヒント
ジョグコントローラーの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ジョグコントローラー]をクリックする。）

登録されているソフトウェア

「VAIO USB Jog Utility」を使用することで操作設定内容を変更したり、使用できるソフトウェアを追加したりすることができます。
標準で登録されているソフトウェアは下記のとおりです。

- Adobe Premiere Pro（動画編集・加工）／ Elements（動画編集・加工）
- DVgate Plus（デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集）
- TMPGEnc XPress for VAIO（MPEGソフトエンコーダー）
- TMPGEnc DVD Author for VAIO（DVD-Video編集）
- TMPGEnc MPEG Editor for VAIO（MPEGカット編集）
- DigiOnSound for VAIO（サウンド編集）
- WinDVD for VAIO（DVD再生）

主な仕様

VGC-RM90PS・RM90S・RM90CPSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

シリーズ			type R	
モデル			VGC-RM70DPL4	VGC-RM50L9・RM50
OS			Microsoft® Windows® XP Professional (Service Pack 2)	Microsoft® Windows® XP Home Edition (Service Pack 2)
プロセッサー[*1*2]	名称		インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6600 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6300 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)
	動作周波数		2.40 GHz	1.86 GHz
	キャッシュメモリー	1次	64KB	
		2次	4MB	2MB
	システムバス		1066MHz	
チップセット			インテル® P965 Express チップセット	
メインメモリー	標準/最大		1GB(512MB×2)/3GB	
	メモリーバス		DDR2 SDRAM,DDR2 667対応(667MHz動作)デュアルチャンネル転送対応[*3]	
	スロット数(空き)		DIMMスロット(240ピン)×4(2)	
表示機能	グラフィックアクセラレーター		NVIDIA® GeForce® 7600 GT	NVIDIA® GeForce® 7600 GS
	ビデオメモリー		256MB(GDDR3 SDRAM)	256MB(DDR2 SDRAM)
	液晶表示装置(本体/専用ディスプレイ)		24型 SDM-P246W	19型 SDM-G96D、 ディスプレイ無しから選択可能
	表示モード[*4]	本体/専用ディスプレイ	最大1677万色　WUXGA　1920×1200	最大1620万色　SXGA　1280×1024
		DVI接続時	最大約1677万色(1920×1200,1680×1050,1600×1200,1280×1024,1280×768,1024×768,800×600)	
		アナログRGB接続時	最大1677万色(2048×1536,1920×1200,1920×1080,1680×1050,1600×1200,1360×768,1280×1024, 1280×768,1024×768,800×600)	
テレビ機能	デジタルチューナー		地上・BS・110度CSデジタルチューナー×1	−
	アナログチューナー		アナログチューナー×2	
記憶装置	ハードディスクドライブ[*5]		約500GB(250GB×2台)(Serial ATA/300,7200回転/分) (HDDリカバリー領域最大約8GB(出荷時)/ C:約50GB/D:残り[*6])	約400GB(200GB×2台)(Serial ATA/300,7200回転/分) (HDDリカバリー領域最大約8GB(出荷時)/ C:約50GB/D:残り[*6])
	記録時間[*7]	MPEG映像	高画質 約118.5時間/標準 約230.5時間/長時間 約357時間	高画質 約92時間/標準 約178.5時間/長時間 約276.5時間
		デジタル放送	BSデジタルハイビジョン 約38.5時間/地上デジタル ハイビジョン 約44時間/デジタル標準画質放送 約84時間	−
		DV映像	約31.5時間	約24.5時間
		HDV映像	約34.5時間	約26.5時間
	BD/DVD/CDドライブ[*8*9]	ドライブ	ブルーレイディスクドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)
		最大読みだし速度	●BD[*10]:約2倍速(BD-ROMの場合) ●DVD:約8倍速(DVD-ROMの場合) ●CD:約32倍速(CD-ROMの場合)	●DVD:約16倍速(DVD-ROMの場合) ●CD:約40倍速(CD-ROMの場合)
		最大書きこみ速度	●BD-RE:約2倍速(2層)、約2倍速(1層)[*11] ●BD-R:約2倍速(2層)、約2倍速(1層)[*11] ●DVD+R:約4倍速(2層),約8倍速(1層)[*12] ●DVD+RW:約8倍速 ●DVD-R:約4倍速(2層),約8倍速(1層)[*13*14] ●DVD-RW:約6倍速[*15] ●DVD-RAM:約5倍速[*16] ●CD-R:約24倍速 ●CD-RW:約16倍速	●DVD+R:約8倍速(2層),約16倍速(1層)[*12] ●DVD+RW:約8倍速 ●DVD-R:約8倍速(2層),約16倍速(1層)[*13*14] ●DVD-RW:約6倍速[*15] ●DVD-RAM:約5倍速[*16] ●CD-R:約40倍速 ●CD-RW:約24倍速
主な外部接続端子 本体	USB		Hi-Speed USB (USB 2.0)×12	
	i.LINK(IEEE1394)		4ピン(S400)×2、6ピン(S400)×1	
	ネットワーク(LAN)		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T×1	
	ディスプレイ出力[*17]	デジタル	DVI-D(HDCP対応[*18])×1(最大約1677万色、最大解像度1920×1200)[*19]	
		アナログ	DVI-I(アナログ、DVI共用)×1(最大約1677万色、アナログ 最大解像度2048×1536)[*19*20*21]	ミニD-sub 15ピン×1(最大約1677万色、アナログ最大 解像度2048×1536)[*19]
	ビデオ入力[*22]		ビデオ×2 、Sビデオ×2	
	ビデオ出力[*22]		ビデオ×1(Sビデオ共用特殊端子)[*19]	
	オーディオ入力		●ステレオ、ピンジャック×2(ビデオ入力用) ●ステレオ、ミニジャック×1(PCオーディオ用)	
	オーディオ出力		●フロント：ステレオ、ミニジャック×1 ●リア：ステレオ、ミニジャック×1 ●サブウーファー /センター：ミニジャック×1、アクティブスピーカー用	
	光デジタル音声出力		角型×1[*23]	
	ヘッドホン出力		ステレオ、ミニジャック×1	
	マイク入力		ステレオ、ミニジャック×1	
	TVアンテナ入力/B-CASカードスロット		地上アナログアンテナ入力(F型同軸)端子×1 BS・110度CSデジタルアンテナ入力(F型同軸)端子×1 地上デジタルアンテナ入力(F型同軸)端子×1 B-CASカードスロット×1	地上アナログアンテナ入力(F型同軸)端子×1
	モデム用モジュラージャック[*24]		LINE×1(最大56kbps(V.92およびV.90対応)/最大14.4kbps(FAX時))	
	パラレルポート		D-sub 25ピン×1	
	キーボード		PS/2、miniDIN×1	
ワイヤレス通信			内蔵(Bluetooth 2.0+EDR準拠)	
FeliCaポート(非接触ICカードリーダー /ライター)			搭載(キーボードに内蔵)	

シリーズ		type R	
モデル		VGC-RM70DPL4	VGC-RM50L9・RM50
メモリースティックスロット*25		メモリースティック(標準/Duoサイズ対応、メモリースティックPRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応)×1	
その他対応メモリーカードスロット		SDメモリーカード*26*27/マルチメディアカード(MMC)×1、スマートメディア/xD - ピクチャーカード×1、コンパクトフラッシュ™×1	
PCカードスロット		Type II×1*28	
拡張スロット(空きスロット数)		PCI×2(0)、PCI Express x4×1(1)*29、PCI Express x16×1(0)	PCI×2(1)*30、PCI Express x4×1(1)*29、PCI Express x16×1(0)
拡張ベイ(空きベイ数)		3.5インチ(ハードディスク用)×4(2)、5インチ×2(1)	
オーディオ機能		DSD対応高音質サウンドチップ「Sound Reality™」(インテル® High Definition Audio準拠)	
スピーカー /アンプ		アクティブスピーカー (前面ヘッドホン端子装備)、防磁型(JEITA)、ステレオ：最大出力5W×5W(JEITA)	
キーボード		FeliCaポート付きキーボード(USB)	
マウス/ポインティングデバイス		スクロール機能付きレーザーマウス(USB)	
主な付属品		取扱説明書、電源ケーブル、キーボード、マウス、VAIO用マルチリモコン RM-DTU2、リモコン受光ユニット(USB 2m)、メインユニット-アクセスユニット接続ケーブル、テレビアンテナ接続ケーブル(3.6m)×2、B-CASカード、ビデオ接続用変換ケーブル、USBジョグコントローラー、アクセスユニット縦置用スタンド	取扱説明書、電源ケーブル、キーボード、マウス、VAIO用マルチリモコン RM-VC10W、リモコン受光ユニット(USB 2m)、メインユニット-アクセスユニット接続ケーブル、テレビアンテナ接続ケーブル(3.6m)×1、ビデオ接続用変換ケーブル、アクセスユニット縦置用スタンド
電源		AC100V±10% /50 ～ 60Hz	
消費電力	通常時	約135W(最大約595W)	約120W(最大約595W)
	スタンバイ時	約4W	
定格消費電流		8A	
温湿度条件		動作時10 ～ 35℃ ,40 ～ 80%(ただし結露しないこと) 保存時-20 ～ 60℃ (ただし結露しないこと)	
外形寸法		メインユニット 約 幅430mm×高さ140mm×奥行440.5mm アクセスユニット 約 430mm×高さ64mm×奥行290.5mm (突起部含まず)	
質量		メインユニット 約15kg / アクセスユニット 約6kg	
対応増設メモリーモジュール(別売)		—*31	

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。
*2 VAIOは、インテル®バーチャライゼーション・テクノロジーには対応しておりません。
*3 シングルチャンネル(2枚1組でない)転送はパフォーマンスが不足する場合があります。デュアルチャンネル(2枚1組)転送でお使いください。
*4 本体から出力可能な表示モードです。外部ディスプレイによっては表示できないモードがあります。
*5 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*6 RAID 0(ストライピング)に設定されています。
*7 記録可能な映像の時間は、映像の内容や使用状況によって多少前後することがあります。
*8 本機のドライブは8cmディスクの書きこみには対応しておりません。
*9 使用するディスクによっては一部の記録/再生に対応していない場合があります。
*10 著作権保護されたブルーレイディスクを継続的にお楽しみいただくためには、AACSキーの更新が必要となります。更新の際にはインターネット接続が必要となります。
*11 BD-R Ver. 1.1(1層 25GB、2層 50GB)、BD-RE Ver. 2.1(1層 25GB、2層 50GB)の書きこみに対応しています。BD-RE 1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用になれません。
*12 DVD+R DL(Double Layer)の書きこみは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。
*13 DVD-R DL(Dual Layer)の書きこみは、「Dual Layer DVD-R」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。
*14 DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0/2.1」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*15 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*16 DVD-RAM Ver.1(片面2.6GB)の書きこみには対応しておりません。DVD-RAM Ver. 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*17 本体から出力可能な表示モードです。ディスプレイにより表示できないモードがあります。本機のディスプレイ端子は、付属の専用ディスプレイで動作を確認しています。また、別売のソニー製ディスプレイでの動作確認状況は、「ソニー・コンピューターディスプレイホームページ」をご覧ください。
*18 著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。HDCP規格への対応を事前にご確認ください。
*19 ディスプレイ2台とテレビを接続することができますが、同時に映像を出力できるのは、2つのモニタのみです。3台同時出力はできません。
*20 アナログディスプレイの接続にはDVI-I/RGB変換アダプタ(別売)が必要です。
*21 DVI-I端子はHDCPに非対応です。HDCP対応ディスプレイはDVI-D端子側に接続してください。
*22 ビデオ入力または出力を行うには、AVケーブルVMC-20FR(別売)などをご利用ください。
*23 本機は一般のCDプレーヤー・MDデッキと同様に、SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に準拠した信号を出力します。
*24 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応しておりません。
*25 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表 www.sony.co.jp/mstaiou」をご確認ください。
*26 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
*27 SDHCメモリーカードには対応しておりません。
*28 CF型通信カードなど、一部の16bitカードには対応しておりません。
*29 ボード長31.4cmまでのPCI Expressボードが装備可能です。
*30 ボード長17cmまでのPCIボードを装備可能です。
*31 部品提供サービス(有償)を行っております。詳細はこちらをご覧下さい。
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/ ※カスタマー登録が必要となります。

テレビチューナー

■MPEGハードウェアエンコーダーボード

モデル	VGC-RM70DPL4・RM50シリーズ
共通仕様	●ビデオキャプチャー機能(ビデオ入力→リアルタイム変換機能)、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 ●TVチューナー (VHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV C13～C63ch*1、ステレオ/2カ国語)*2 ●録画モード(選択可能)： 高画質モード(MPEG2 8Mbps 720×480 30fps) 約17分/1GB 標準モード(MPEG2 4Mbps 720×480 30fps) 約33分/1GB 長時間モード(MPEG2 2.5Mbps 352×480 30fps) 約52分/1GB ●録音形式： MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ
(DNR)ノイズリダクション	○
三次元Y/C分離回路	○
ゴーストリダクション機能	○
タイムベースコレクター	○
アナログテレビチューナー	2チューナー

*1 CATVの受信はサービス(放送)の行われている地域でのみ可能です。CATVを受信するには使用する機種ごとにCATV会社との受信契約が必要です。なお、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画はできません。詳しくはその地域のCATV会社にお問い合わせ下さい。
*2 BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーで受信できません。

■地上・BS・110度CSデジタルチューナー

モデル	VGC-RM70DPL4
共通仕様	●地上・BS・110度CSデジタルテレビ放送受信機能 ●デジタル放送録画機能(著作権保護機能) ●録画モード： 地上デジタル放送(約21Mbps) 約6分/1GB BS・110度CSデジタル放送(約24Mbps) 約5.5分/1GB デジタル標準画質放送(約11Mbps) 約12分/1GB

本機に付属されているソフトウェア

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。
□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。
－：ご使用の機種には付属されておりません。

	VGC-RM90PS・RM90CPS	VGC-RM90S	VGC-RM70DP	VGC-RM50
AVエンターテインメント				
Do VAIO Ver.1.6	○	○	○	○
Do VAIOバックアップツール	○	○	○	○
Image Converter 2 Plus	○	○	○	○
StationTV Digital for VAIO	○／－*	○／－*	○	－
ビデオ編集・再生				
DVgate Plus Ver.2.2	○	○	○	○
Adobe(R) Premiere(R) Pro 2.0 日本語版	○	－	○	－
Adobe(R) Premiere(R) Elements(R) 2.0 日本語版	－	○	－	○
VAIO Edit Components Ver.6.0	○	○	○	○
Windows Media(R) Player 10	○	○	○	○
WinDVD for VAIO（6ch ドルビーバーチャルスピーカー / ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○	○
WinDVD BD for VAIO	○／－*	○／－*	○	－
DVD作成				
Click to DVD Ver.2.5	○	○	○	○
TMPGEnc DVD Author 2.0 for VAIO	○	○	○	○
TMPGEnc MPEG Editor 2.0 for VAIO	○	○	○	○
TMPGEnc 4.0 XPress for VAIO	○	○	○	○
Blu-ray作成				
Ulead BD DiscRecorder for VAIO	○／－*	○／－*	○	－
音楽				
SonicStage CP	○	○	○	○
SonicStage Mastering Studio Ver.2.2	○	○	○	○
DigiOnSound(R)5 L.E. for VAIO（HDV対応版）	－	○	－	○
DigiOnSound(R)5 for VAIO（HDV対応版）	○	－	○	－
静止画・写真				
PictureGear Studio Ver.2.0	○	○	○	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 4.0 日本語版	□	□	□	□
ホームネットワーク				
VAIO Media Ver.5.0	○	○	○	○
VAIO Media Integrated Server Ver.5.0	○	○	○	○
コミュニケーション				
Yahoo!メッセンジャー	○	○	○	○
MSN(R) Messenger 7.5	○	○	○	○
Skype	○	○	○	○
ドットフォンパーソナルV（みんなでＴＶ電話スタータ）	○	○	○	○
インターネット・メール				
Microsoft(R) Outlook Express 6	○	○	○	○
Microsoft Internet Explorer 6 (R)	○	○	○	○

	VGC-RM90PS・RM90CPS	VGC-RM90S	VGC-RM70DP	VGC-RM50
Yahoo!ツールバー	○	○	○	○
ISP サインアップ				
So-net簡単スターター	○	○	○	○
OCNスタートパック for Windows	○	○	○	○
ワープロ・表計算				
Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 2含む）	○／－*	○／－*	－	－
Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 2含む）	○／－*	○／－*	－	－
実用ツール				
Roxio DigitalMedia SE 7	○	○	○	○
駅すぱあと	○	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○	○
HD革命/BackUp（バンドル版）	○	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 7.0	○	○	○	○
Norton Internet Security(TM) 2006	○	○	○	○
実用ツール（暮らし役立ちパック）				
筆ぐるめ Ver.13	○	○	○	○
FeliCa（フェリカ）				
かざそうFeliCa	○	○	○	○
Edy Viewer V2.0	○	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○	○
スクリーンセーバーロック2	○	○	○	○
かんたん登録2	○	○	○	○
FeliCaブラウザエクステンション	○	○	○	○
かざしてログオン	○	○	○	○
かざポン for VAIO	○	○	○	○
パーソナルシェルター	○	○	○	○
設定・ユーティリティ				
VAIOナビ	○	○	○	○
メモリースティックフォーマッタ	○	○	○	○
バイオの設定 Ver.1.1	○	○	○	○
サポート・ヘルプ				
バイオ電子マニュアル	○	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2	○	○	○	○
できるWindows XP for VAIO	○	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○	○
VAIO Update Ver.2.1	○	○	○	○
その他				
Java(TM) Software	○	○	○	○
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。
- ハードディスクの増設に対応したモデルをお使いの場合には、増設用のハードディスクドライブベイに増設したハードディスクのみ取りはずすことができます。

ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

Do VAIOについて（アナログテレビチューナー搭載モデル）

本機へアナログ入力するときのご注意

「DVgate Plus」ソフトウェアまたはDo VAIOを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

ヒント

「DVgate Plus」ソフトウェアを使って、本機にアナログ入力ができるのはDV-アナログ入出力切り替えツール搭載モデルのみです。

- 取り込む動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のVIDEO1 INPUTコネクタまたは本機前面のVIDEO 2 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

ケーブルテレビを受信するときのご注意

ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送（サービス）が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

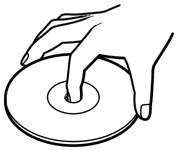
システムの復元をご使用になるときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。その場合、Do VAIOの設定が失われることがあります。

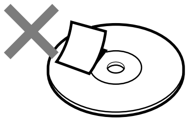
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。



- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

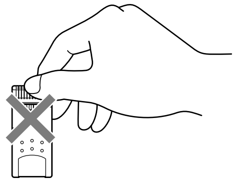


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。



- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ” 使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット（初期化）してからご使用ください。
機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

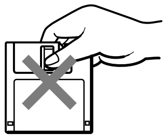
xD-ピクチャーカードをお使いになるときのご注意

xD-ピクチャーカードは端子部が露出した形状となっていますので、端子部には直接手や金属で触れないようご注意ください。xD-ピクチャーカードの端子部が汚れていると、本機で認識されない場合があります。端子が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。
なお、xD-ピクチャーカードと同様に端子部が露出した形状になっているメモリーカードも、同じようにご注意ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

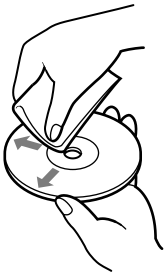
- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

！ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（いずれも有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

ブルーレイディスクドライブ（ブルーレイディスクドライブ搭載モデル）

ディスクの種類	使用の可・不可
Blu-ray Disc Recordable Format ver1.1 （以下 BD-R ／ BD-R1.1）	◎ *7
Blu-ray Disc Rewritable Format ver2.1 （以下 BD-RE ／ BD-RE2.1）	◎ *7
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
CD-R ／ RW	◎

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
VIDEO CD	○

DVD-ROMドライブ（DVD-ROMドライブ搭載モデル）

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	○
DVD-R DL（Dual Layer）	○
DVD+R ／ RW	○
DVD-R ／ RW	○
DVD-RAM	×
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	○
VIDEO CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。DVD-R DLを用いて作成したディスクは他の機器で読めない場合があります。書き込みができるソフトウェアは「Roxio DigitalMedia（ロキシオ デジタルメディア）」ソフトウェアのみです。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。また、DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

*7 BD-R 1.1（1層 25G、2層 50G）、BD-RE 2.1（1層 25G、2層 50G）の書き込みに対応しています。
BD-RE 1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 8cmディスクアダプタには対応していません。8cmディスクを再生する場合は横置きにしてご使用ください。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- データ形式での追記は、付属の「Roxio DigitalMedia」ソフトウェアにより可能です。なお、追記にて記録したデータは、他のDVDドライブでは読み出せない場合があります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 推奨するディスクについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- 録画したデジタル放送の番組をCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAMやBD-REに移動（ムーブ）することができます（デジタルチューナー搭載モデル）。
- CPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAMに移動（ムーブ）した番組の再生には、インターネットに接続している必要があります。
- 著作権保護されたブルーレイディスクを継続的にお楽しみいただくためには、AACSキーの更新が必要となります。更新の際にはインターネット接続が必要です（ブルーレイディスクドライブ搭載モデル）。
- HDMI、DVIなどのデジタル接続をする場合、接続するディスプレイが、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は著作権保護されたブルーレイディスクの映像を表示できません。
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。

* CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R DL ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ REは、BD-RE 1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。
- 録画したデジタル放送の番組を移動（ムーブ）したCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAMは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。また、DVD-RW（VRモード）再生対応のプレーヤーでも、CPRM対応のDVD-RWに移動（ムーブ）して記録したことのあるディスクは、再生できないなどの制限があります（デジタルチューナー搭載モデル）。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスを操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しない。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しない。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしない。

索引

【ア行】

アクセスユニット 175, 180
　接続 36
アクセスユニット接続用コネクタ
　............... 179
アクティブスピーカー
　............... 16, 38, 184
　ACアダプタ 16, 23
　接続 23
　電源コード 16
アドバンストサポート
　............... 158, 159, 166
アナログ入力 193
アフターサービス 167
アプリケーションキー 182
アンテナ 30
アンテナコネクタ 30, 179
アンテナ接続ケーブル 17, 30
イジェクトボタン 176
インターネット 79
インターネットサービスプロバイダ
　............... 79
ウイルス 82, 147, 165
ウーファー／センターコネクタ
　............... 179
ウーファーコネクタ 179
映像出力コネクタ 35, 179
映像入力1コネクタ 179
映像入力コネクタ 174, 179
エラーメッセージ
　トラブル 137
音楽
　再生 65
　作成 66
　取り込む 64
音声映像入力2コネクタ 174
音声入力コネクタ 34, 174, 179

【カ行】

外部機器からの録画
　トラブル 135
拡張デバイスベイ 176
　取り付ける 96
　取りはずす 98
拡張ボード
　PCI 84
　PCI Express x4 84
　空きスロット 84
　種類 84
　増設する 84
　取り付ける 84
　取りはずす 86
各部の説明 174
カスタマー登録 51, 157
画面
　トラブル 127
カルテ 17, 161
キーボード 16, 181
　お手入れ 196
　接続 24
　トラブル 128
キーボードコネクタ 179
起動
　トラブル 123
休止状態 41
ケーブル 17
　アンテナ接続ケーブル 17
　電源コード 17
　メインユニット-アクセス
　　ユニット接続ケーブル 17
結露 192
コンパクトフラッシュスロット
　............... 176
コンピュータウイルス 82

【サ行】

最適化 111
写真
　アルバムを作る 71
　再生 70
　取り込む 68
省電力機能 41
　休止状態 41
　スタンバイモード 41
ジョグコントローラー
　............... 16, 35, 187
スタンド 17
スタンバイ 41
スタンバイキー 41, 182
スタンバイモード 41
スピーカー 184
セキュリティ 82, 147, 159, 165
接続 21
　ADSL 26
　AVマウス 34
　BSチューナー 33
　CATV 26
　CSチューナー 33
　FTTH 26
　ISDN回線 27
　アクセスユニット 36
　アクティブスピーカー 23
　アンテナ 30
　キーボード 24
　ジョグコントローラー 35
　ディスプレイ 21
　テレビ 35
　電源コード 37
　電話回線 26
　ビデオデッキ 33
　マウス 24
　メインユニット 36
　リモコン用受光ユニット 28
設置 18
センターコネクタ 179
ソフトウェア 168
　不正コピー禁止について 194
　付属ソフトウェア 168

【タ行】

断片化 111
地上デジタル入力コネクタ
　............... 31, 180
ディスク
　お手入れ 196
　取り扱いについて 193
ディスクアクセスランプ 175
ディスクドライブ 176
　イジェクトボタン 176
ディスプレイ
　接続 21
　トラブル 127
　取り扱いについて 192
テクニカルWebサポート 158
デバイス
　増設する 96
　取り付ける 96
　取りはずす 98

デフラグ 111
テレビ 35
　Do VAIO 59
　再生する 62
　チャンネル設定 53
　見る 59
　録画予約する 60
テレビ再生／録画
　トラブル 131
テレビボタン 59
テレホンコード 26
　取りはずす 27
電源
　電源ボタン 38, 174, 175
　電源ランプ 38, 174, 175
　電源を入れる 38
　電源を切る 39
　トラブル 123
電源コード 17, 37
電話回線 26, 79
　LINEジャック 26, 179
　電話回線ジャック 26, 179
ドライバ 84
トラブル 118, 120
　CD ／ DVDドライブ 130
　FeliCaポート 136
　エラーメッセージ 137
　外部機器からの録画 135
　画面／ディスプレイ 127
　テレビ再生／録画 131
　電源／起動 123
　ハードディスク 129
　パスワード 126
　マウス 129
　文字入力／キーボード 128

【ハ行】

パーティション 111
パーティションサイズを変更する 111
ハードディスク
　Serial ATA 91
　増設する 91
　データ消去について 196
　トラブル 129
　取り扱いについて 192
　取り付ける 91
　取りはずす 96
　バックアップをとる 193
ハードディスクアクセスランプ 174
パームレスト 16, 25
バイオ電子マニュアル 58, 118
バイオホットストリート 147, 155
パスワード
　トラブル 126
光デジタル出力コネクタ 179
光ファイバー 80
ビデオ接続用変換ケーブル 17
ビデオデッキ 33
付属ソフトウェア 168
付属品 16
プリンタコネクタ 179
ブルーレイディスクドライブ 176
フロッピーディスク
　取り扱いについて 194
プロバイダ 79
フロントコネクタ 179
ヘッドホンコネクタ 176
保証書 167

【マ行】

マイクロホンコネクタ 176
マイサポーター 147
マウス 16, 183
　お手入れ 195
　接続 24
　トラブル 129
　左ボタン 183
　ホイールボタン 183
　右ボタン 183
メインユニット 174, 177
　接続 36
メインユニット-アクセスユニット
　　接続ケーブル 17, 36
メインユニット接続用コネクタ 180
メッセージ 137
メモリ
　増設する 86
　取り付ける 87
　取りはずす 90
　メモリモジュール 87
メモリーカードアクセスランプ 176
メモリースティック
　取り扱いについて 193
メモリースティックスロット 176
メモリモジュール
　増設する 86
　取り付ける 87
　取りはずす 90
文字入力
　トラブル 128
モニタコネクタ 179
モバイル 147, 156

【ヤ行】

有料サービス 165

【ラ行】

ライン入力コネクタ 179
リアコネクタ 179
リカバリ 99
　RAID構成変更 113
リカバリディスク 104
　作成 104
リカバリ領域 99
　削除 112
リモコン 16, 184
　準備する 29
リモコン用受光ユニット 16, 28
レーザーマウス 183

【A】

AC INPUTプラグ 179
AC電源入力プラグ 179
ADSL 26, 80
Altキー 181
AUDIO INPUTコネクタ 34, 179
AVマウス 34
　接続 34

【B】

B-CASカード 17, 32
B-CASカード挿入口 180
Backspaceキー 182
BIOS 102, 124
Blu-ray Discドライブ 176
Bluetoothアンテナカバー 180
Bluetoothランプ 175
BS ／ 110度CS IF入力コネクタ 31, 180
BSチューナー 33

【C】

Caps Lockキー 181
Caps Lockランプ 182
CATV 26
CATVインターネット 80
CD
　再生 65
　作成 66
　取り込む 64
CD ／ DVDドライブ
　トラブル 130
CENTERコネクタ 179
CFスロット 176

CSチューナー 33
Ctrlキー 181

【D】
Deleteキー 182
Do VAIO 53
　基本設定 53
DVD
　再生 73
　作成 74, 77
DVD-ROMドライブ 176
DVDスーパーマルチドライブ 176
DVI-Dコネクタ 21, 179
DVI-Iコネクタ 21, 179

【E】
Escキー 181

【F】
FeliCaポート 181
　トラブル 136
Fnキー 181
FRONTコネクタ 179
FTTH 26, 80

【I】
i.LINKコネクタ 174, 176, 179
Insertキー 182
ISDN回線 27, 80
ISP 79

【K】
KEYBOARDコネクタ 179

【L】
L/Rコネクタ 174
LANコネクタ 26, 179
LINEジャック 26, 179

【N】
Norton Internet Security 48, 82
NumLk/ScrLkキー 182
Num Lockランプ 182

【O】
ON/STANDBYボタン 38, 184
OPTICAL OUTコネクタ 179

【P】
Pause/Breakキー 181
PC CARD(PCカード)スロット 180
PCI 84
PCI Express x4 84
PCカード
　取り扱いについて 194
PHONESコネクタ 184
PRINTERコネクタ 179
Prt Sc/Sys Rqキー 182

【R】
RAID 113
REARコネクタ 179

【S】
Scroll Lockランプ 182
SDスロット 176
Shiftキー 181
SMスロット 176
S VIDEOコネクタ 34, 174, 179
S映像出力コネクタ 35, 179
S映像入力コネクタ 34, 174, 179

【U】
USBコネクタ 27, 28, 174, 176, 179, 180, 182

【V】
VAIO Update 139
VAIOカスタマー登録 51
VAIOカスタマーリンク 144, 145, 158
VAIO簡単設定サービス 150
VAIOコールバック予約サービス 152
VAIOリモートサービス 154
VHF / UHFコネクタ 30, 179
VIDEO1 INPUTコネクタ 179
VIDEO 2 INPUTコネクタ 174
VIDEOコネクタ 174, 179
VOLUMEつまみ 38, 184

【W】
Windows 158
　準備する 42
Windowsキー 181
WOOFER/CENTERコネクタ 179
WOOFERコネクタ 179

【X】
xD-Picture Cardスロット 176

商標について

- VAIOはソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate Memory Stick"("マジックゲート メモリースティック")および"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK、MEMORY STICK、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"("マジックゲート")、MAGICGATE、OpenMG、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ"i."はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- Intel、Pentium、CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPointおよびInfoPathは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- CompactFlash(TM)およびコンパクトフラッシュ (TM)は、米国SanDisk社の商標です。
- 「xD-Picture Card(TM)」および「xD-ピクチャーカード(TM)」は富士写真フイルム株式会社の商標です。
- 「ボーダフォンライブ！」は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、およびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Mutlichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford.Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況に合った解決方法を提供しています。

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能と
バイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、
総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

受付時間
平日：10時～ 21時
土、日、祝日：10時～ 17時

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～ 18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ **VAIO延長保証サービス**
1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ **VAIO設置設定サービス**
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ **VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）**
海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ **VAIOインターネットセキュリティ**
インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ **VAIOソフトウェアセレクション**
おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

© 2006 Sony Corporation / Printed in China

2-890-120-**01** (1)

2 8 9 0 1 2 0 0 1